

KENWOOD

アベニュー・オーディオ

AVENUE ▶ SJ-9PC

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。

機器を正しく、安全にご使用いただくため、使用を開始する前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」をお読みになり、十分にご理解ください。

使いかたの説明も、併せてよくお読くださるよう、お願いいたします。

また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに戻してお読みください。

本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。



MDLP



NetMD

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

B60-5130-00 01 (C) (J) (CR) 0108

本機の特長

パソコンと接続して使用するときには

□ DVD-ROM、CD-R/RWドライブ搭載

パソコンと接続したときにはDVD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブとして働きます。

□ パソコンとの接続にUSB2.0を採用

通常のUSB 1.1 (12Mbps) の40倍の転送速度を持つUSB 2.0 (480Mbps) を採用することにより、転送速度の高いDVDビデオの再生を可能にしています。

□ Net MD搭載

ミュージックアプリケーション^{ステージ} Stage Master^{マスター}をお使いになれば、パソコンのハードディスクに保存した音楽をMDに録音できます。

オーディオの機能としては

□ MP3、WMA、WAVEファイルの再生対応

オーディオCD以外にMP3形式、WMA (Windows Media Audio) 形式およびWAVE形式の音声フォーマットで録音された音楽ファイルを再生できます。

□ オーディオCD→CD-R/RW、MDへのハイスピードダビング機能

オーディオCDからCD-R/RWへ4倍速の高速録音やMDへ倍速録音ができます。

□ MDグループ管理機能

MDに録音している曲を、アルバムやアーティスト名などにグループ分けすることにより、グループごとに再生できます。

□ MDロングプレイモード対応

ATRAC 3による長時間録音、再生機能(LP2、LP4)を搭載。標準の2倍(約160分*)または4倍(約320分*)のデジタル長時間録音、再生ができます。

* : 80分ディスクを使用した場合

□ CDのテキスト情報表示機能(CDテキスト対応)

本機では、CDテキスト対応のディスクを再生すると、CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。CDテキスト対応のディスクでも表示できないものもあります。(表示できる文字数は255文字までです)

□ 放送局をオートプリセットする (エリア別FM放送局名自動表示機能)

現在お住まいの都道府県名を設定すると、その地域で受信可能なFM放送局の周波数と放送局名を自動的に記録表示することができます。

□ セパレートアンプの採用

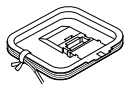
電源部を持つアンプチューナー部とプレーヤー部を分離することにより、デジタルノイズを軽減し、高音質を実現しました。

はじめにお読みください

付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

AM ループアンテナ (1個)



FM 室内アンテナ (1本)



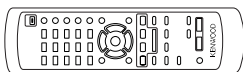
リモコン用単三乾電池 (2本)



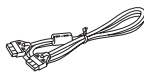
スピーカーコード (2本)



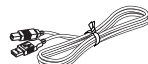
リモートコントロールユニット (1個)



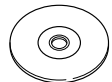
システム接続ケーブル (1本)



USBケーブル (1本)



ステージ マスター
Stage Master
CD-ROM (1枚)



ステージ マスター

ステージ マスター

Stage Master CD-ROMはミュージックアプリケーションStage Masterをパソコンに再インストールするときに使用します。

この説明書について

このオーディオシステムは、パソコンと接続して、Windows® XP を起動すると、USB オーディオ、DVD-ROM ドライブ、CD-R/RW ドライブ、Net MD として認識され、パソコンの周辺機器として使用することができます。

パソコンと接続しないときやパソコンの電源がオフのときは、従来どおりのオーディオ機器として単独で使用できます。

この取扱説明書は、パソコンと接続したときの、USB オーディオ、DVD-ROM ドライブ、CD-R/RW ドライブおよびオーディオを単独で使用したときの取り扱いの説明について記載しています。

USB オーディオ、DVD-ROM ドライブ、CD-R/RW ドライブについての説明は、本取扱説明書の「パソコンに接続して使用する」(～17～)をお読みください。

オーディオを単独で使用するときの操作については、本取扱説明書の「オーディオを単独で使用する」(～28～)をお読みください。


また、このオーディオシステムはパソコンと接続して使用したときには、ミュージックアプリケーション Stage Master ステージ マスター を使用して、パソコンの画面上でオーディオの操作を行うことができます。くわしい操作のしかたについては、クイックスタートガイドや Stage Master ステージ マスター のヘルプ画面をご覧ください。

機器を正しく、安全にご使用いただくため、使用を開始する前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」をお読みになり、十分にご理解ください。

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載の商品名、会社名はそれぞれの所有者の商標または登録商標です。

目次

 このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

本機の特長 2

はじめにお読みください

安全編

 安全上のご注意 6

接続編

接続のしかた 12

プレーヤー部とアンプチューナー部の接続 12

スピーカの接続 13

アンプチューナー部とアンテナの接続 14

他の機器(市販品)との接続 15

パソコンとの接続 16

パソコンに接続して使用する

準備編

パソコンに接続して使用する 17

PC-LINK^{リンク}について 17

DVD-ROM、CD-R/RW ドライブについて 18

各部のなまえと働き 20

本体部 20

リモコン部 22

表示部 23

操作編

ディスクの入れかた／取り出しかた 24

音の調整のしかた 25

オーディオを単独で使用する

準備編

オーディオを単独で使用する 28

オーディオシステムについて 28

再生できるディスクについて 29

CD-R/RW の録音について 30

CD の曲の収録構成と曲番号について 32

MD の曲の収録構成と曲番号について 33

MP3、WMA、WAVE 収録ディスクを作成するときの注意 34

各部のなまえと働き	36
本体部	36
リモコン部	38
表示部	40
設定モードについて	41
時刻合わせ	42

基本操作編

音を出してみましょう	43
オーディオCDを聴く	45
MP3、WMA、WAVEファイルを聴く	47
MDを聴く	52
ラジオ放送を聴く	55
放送局を自動的に記憶させる(オートプリセット)	56
記憶させていない放送局を聴く(オート選局、マニュアル選局)	58
放送局を1局ずつ記憶させる(マニュアルプリセット)	58
CDをCD-R/RWに録音する(ワンタッチエディット録音)	59
今聴いている曲を録音する(1曲録音)	62
CDをMDに録音する(ワンタッチエディット録音)	64
今聴いている曲(ファイル)を録音する(1曲録音、1ファイル録音)	67
MP3、WMA、WAVE収録ディスクのフォルダーを選んで録音する(フォルダー録音)	67
ラジオ放送、外部入力をMDに録音する	71

応用操作編

CD、MDのいろいろな再生	73
曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)	74
曲順を並べ替えて聴く(MP3、WMA、WAVEプログラム再生)	76
繰り返し聴く(リピート再生)	78
繰り返しフォルダーを聴く(フォルダーリピート再生)	80
繰り返しグループを聴く(グループリピート再生)	81
曲順を順不同に楽しむ(ランダム再生)	82
CDをMDに録音する(マニュアル録音)	84
プログラム録音(ワンタッチエディット録音)	86
CDの曲順を並べ替えてCD-R/RWに録音する	87
CDの曲順を並べ替えてMDに録音する	89

MDの編集機能	91
編集機能のタイプを選ぶ	91
グループを登録する <small>(グループ スタート)</small> (GROUP START)	93
グループを解除する <small>(グループ キャンセル)</small> (GROUP CANCEL)	95
グループの範囲を変更する <small>(グループ エディット)</small> (GROUP EDIT)	97
曲を移動する <small>(ムーブ)</small> (MOVE)	99
曲を分ける <small>(ディバイド)</small> (DIVIDE)	101
曲をつなぐ <small>(コンバイン)</small> (COMBINE)	103
1曲またはディスクの全曲を消す <small>(イレース)</small> (ERASE)	105
編集した内容を取り消す <small>(キャンセル)</small> (CANCEL)	107
CD-R/RWのファイナライズ <small>(ファイナライズ)</small> (FINALIZE)	108
CD-RWのアンファイナライズ <small>(アンファイナライズ)</small> (UNFINALIZE)	109
CD-RWの録音消去	110
外部機器ソースを聴く	112
録音レベルを調整する	113
トラック番号の設定をかえる	114
タイマーを使う	116

知っておきましょう

知っておきましょう	121
メンテナンス	121
参考	121
ディスクの取り扱いかた	123
故障かな?と思ったら	
(オーディオを単独で使用したとき)	124
メッセージ表示の一覧	128
保証とアフターサービス	132
△ 定格	133

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書(安全編)では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

交流 100 ボルト以外の電圧で 使用しない



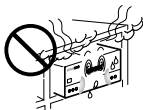
この機器は、交流 100 ボルト専用です。
指定以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

放熱に注意



設置の際は、壁から 10cm 以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。



通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない



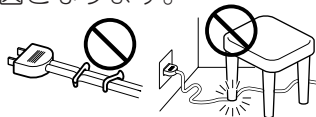
風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



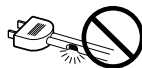
電源コードの取扱い



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステーブルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。



電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。




異常が起きた場合は



煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。




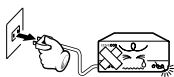
電源プラグは清潔に

 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。




落下した機器は使わない

 機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。




ケースを絶対に開けないでください

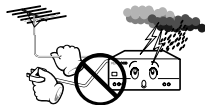
 機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。





雷が鳴り始めたら


 アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



機器の内部に水や異物を入れない


 機器の上に花瓶やコップなど水の入った容器を置かないでください。こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

 機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。


 内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



電池は放置しない


 電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。電池をあやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

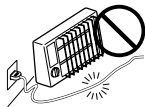
乾電池は充電しない

 乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。




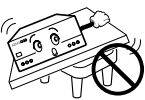
電源コードを熱器具に近付けない

-  電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。




不安定な場所には置かない

-  ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。




湿気やほこりのある場所に置かない

-  油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となります。






温度の高い場所には置かない

-  窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。




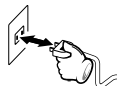
電源プラグの抜き差しは

-  ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。
-  電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

-  電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



-  電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



長期間使用しないときは



旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない

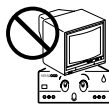


関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指定機器以外の物を乗せない



この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



アンテナ工事



アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない



この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



指をはさまない



お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない



レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

音量に気をつけて

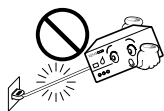


はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



電池の取扱い



電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス "+" とマイナス "-" の向き）に注意し、表示通りに入れてください。



- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。

お手入れの際は



お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、またはケンウッドのサービスセンターに費用を含めご相談ください。

内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

プレーヤー部とアンプチューナー部の接続

⚠ 注意

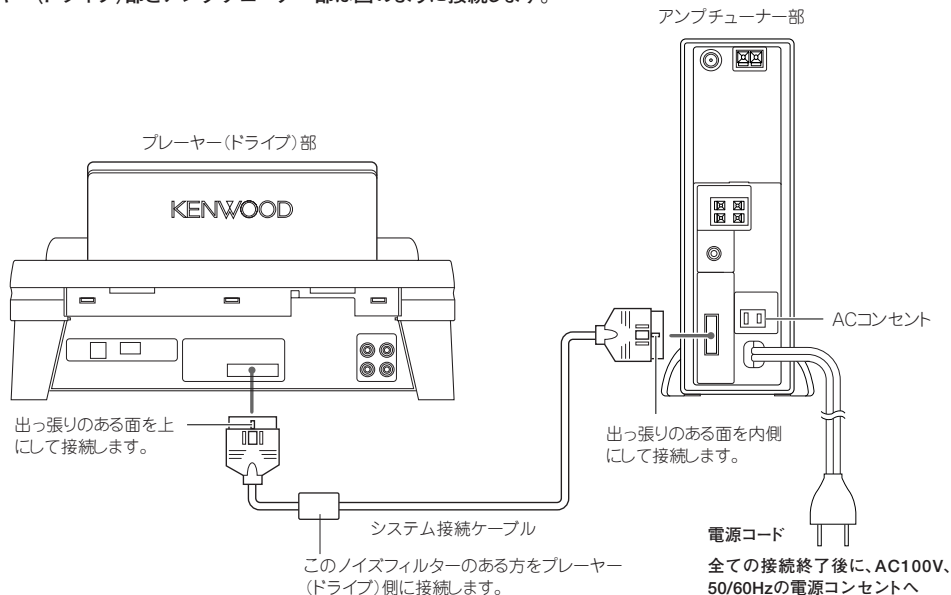
接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。
接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源を切り、電源コードを抜いてください。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障かな?と思ったら...」を参照してマイコンをリセットしてください。-📖



プレーヤー(ドライブ)部とアンプチューナー部は図のように接続します。

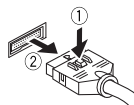


システム接続ケーブルの接続について

[接続]



[取り外し]



- システム接続ケーブルは、カチツと音がするまでまっすぐに差し込み、確実にロックしてください。
- システム接続ケーブルを外すときは、電源をスタンバイにして、電源コードを電源コンセントから抜いてから、[取り外し]図の①を押しながら②の方向にまっすぐに引き出します。

⚠ 警告 ACコンセント

背面のACコンセントに接続する装置の消費電力の合計が指定値を超えないようにしてください。火災の原因になります。
電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。
また、供給電力以内であっても、テレビなど電源を入れたときに大電流が流れる機器は使用しないでください。

スピーカーの接続

△注意

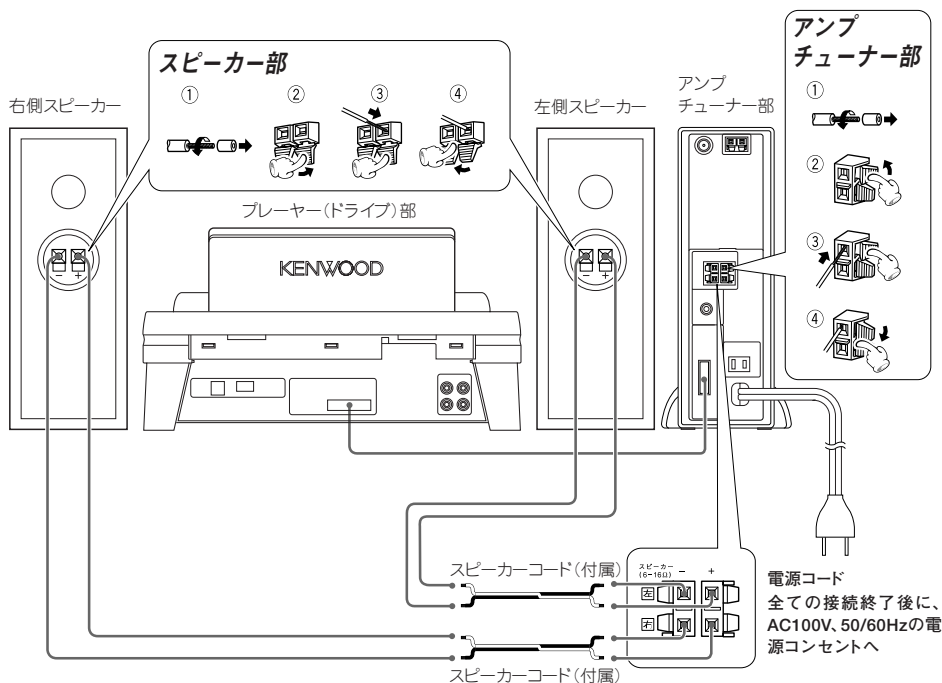
接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。
接続したコード類を抜くときは、事前に必ず電源を切り、電源コードを抜いてください。

スピーカーは図のように接続します。

- スピーカーコードの十とーは絶対にショートさせないでください。保護回路が働き、音が出なくなります。
- 極性プラス、マイナスを間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。



- 全ての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因になります。



スピーカー設置位置とテレビについてのご注意

- 本機のスピーカーは、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再び電源をオンにしてください。テレビの自己消磁機能により、色ムラが改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、テレビからスピーカーを離して設置してください。
- 近くに磁石など磁気を生ずるものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラが発生することがありますので、設置の際はご注意ください。
- テレビからの電磁波の誘導作用により、本機の電源がオフ(スタンバイ)のときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してください。

アンプチューナー部とアンテナの接続

△注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。
接続したコード類を抜くときは、事前に必ず電源を切り、電源コードを抜いてください。

アンテナは図のように接続します。

付属アンテナの接続

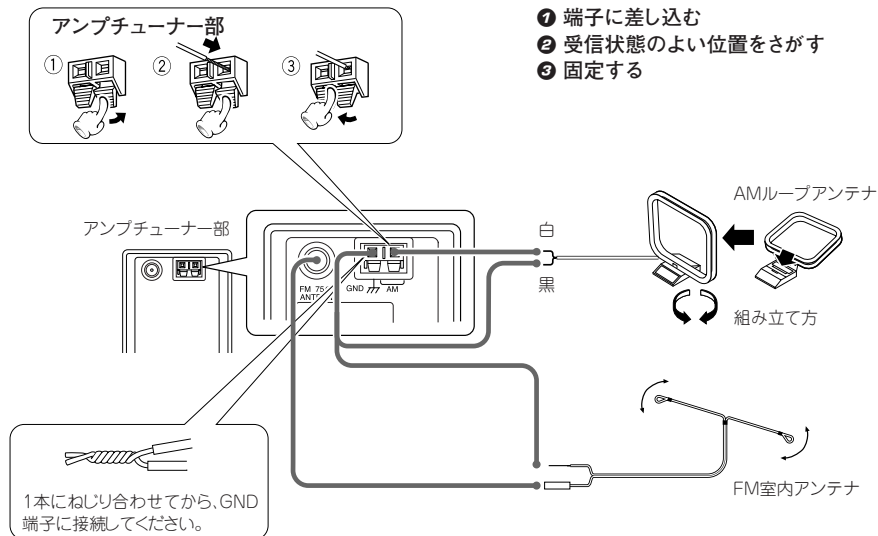
AMループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、パソコン(本体、ACアダプター)、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

FM室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ(市販)の接続をお勧めします。

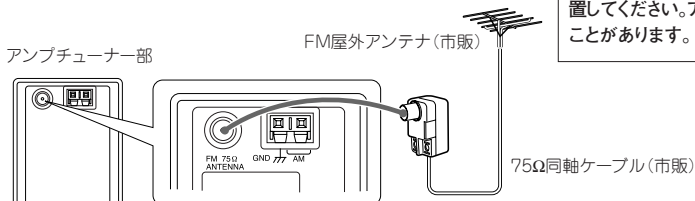
- ① 端子に差し込む
- ② 受信状態のよい位置をさがす
- ③ 固定する



受信状態が悪いときは

FM屋外アンテナ(市販品)との接続

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続するときは、FM室内アンテナは取り外してください。



△注意 屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

他の機器(市販品)との接続

⚠注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。
 接続したコード類を抜くときは、事前に必ず電源を切り、電源コードを抜いてください。

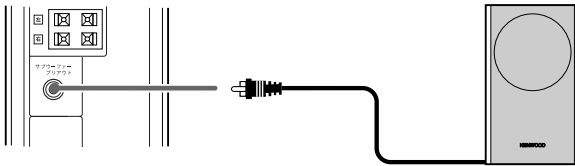
機器は図のように接続します。

サブウーファー(ケンウッド社製SW-1010)(別売)との接続

サブウーファーを使用すると重低音を力強く再生することができます。

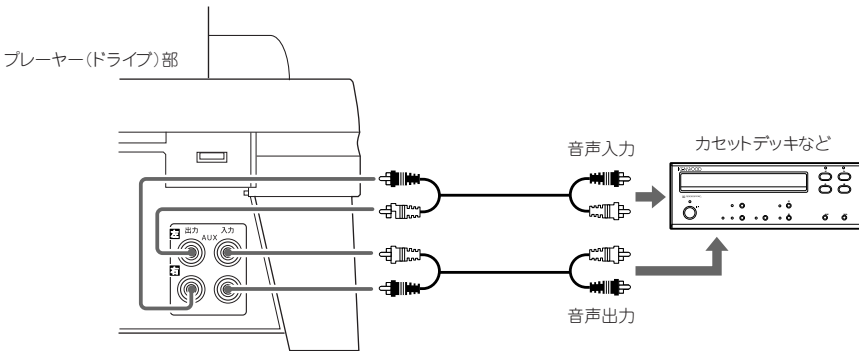
アンプチューナー部

サブウーファー



外部ソース(音源)機器との接続

プレーヤー(ドライブ)部背面のAUX(入力/出力)端子を使って、カセットデッキなどを接続することができます。



はじめにお読みください

接続編

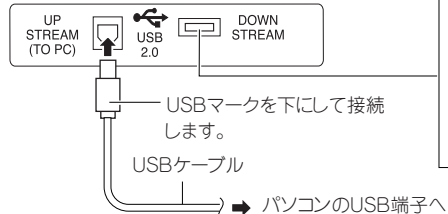
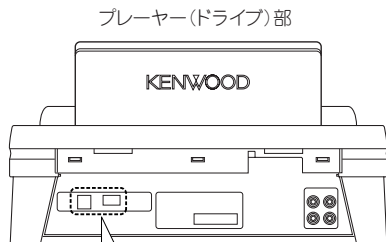


関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。

パソコンとの接続

パソコンのUSB端子と本機(プレーヤー部)のUSB端子間を付属のUSBケーブルで接続します。

USBハブを使用すると正常に動作しないことがあります。接続はUSBハブやUSB機器を経由せずに、直接USB端子同士を接続してください。



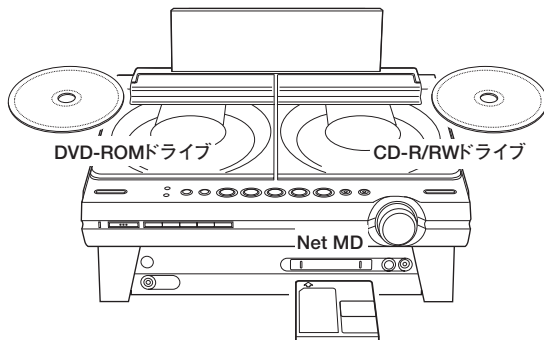
他のUSB機器(USB2.0またはUSB 1.1対応機器)を本機(プレーヤー部)を経由してパソコンに接続するときに使用します。接続したUSB機器は、パソコンと本機(プレーヤー部)がUSBケーブルで接続しているときにパソコンの周辺機器として使用することができます。ただし、オーディオの電源プラグがコンセントに差し込まれていない状態では、接続したUSB機器はパソコンの周辺機器として使用することはできません。



Windows[®]が起動した状態でもUSBケーブルを接続することができます。オーディオの電源プラグをコンセントに差し込んでからUSBケーブルを接続します。

リンク PC-LINKについて

パソコンと接続してWindows^{ウィンドウズ}を起動すると、オーディオ部は自動的に電源がオンになり、USBオーディオ、DVD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、Net MD^{リンク}としてパソコンに認識されます。この状態をPC-LINK状態とよびます。ただし、オーディオ単独で録音などの動作中のときは動作終了後にPC-LINK状態となります。パソコンの電源をオフにするとオーディオの電源もスタンバイ状態となります。



リンク PC-LINK状態の表示について

本機の表示部には“PC-LINK”^{リンク}と表示します。ただし、volume^{ボリューム}つまみで音量調整などの操作をしたときには、その操作の表示にかわります。

PC-LINK



PC-LINK^{リンク}状態では、プログラムタイマー、スリープタイマーの各種のタイマーやオートパワーセーブ(A.P.S.)は働きません。

リンク PC-LINK状態の再生音について

CD、DVDビデオの再生音とラジオ放送、MDや外部接続機器のオーディオの再生音には次のような違いがあります。CDやDVDビデオを再生するときには、オーディオ部はパソコンのドライブとして機能するため、読み取った音声信号はパソコンに送られ必要に応じて信号処理を行い再びオーディオ部に戻してスピーカーから音を出します。ラジオ放送、MDの再生、外部接続機器の再生はパソコンで操作をしますが、音声信号はオーディオ部分で処理しスピーカーから音を出します。よって、CD、DVDの再生音やパソコンのハードディスクに保存した音楽ファイルの再生音はパソコンの音声の管理となり、パソコンの音の設定のしかたによってはオーディオのスピーカーから音が出なかったり、小さい音しか出ないことがあります。

- パソコンの音の設定で消音が選ばれているときは、再生音は出ません。
- パソコンの音の設定で音量が低く設定されていると、オーディオのvolume^{ボリューム}つまみで調整しても、音量が上がらない場合があります。
ラジオ放送、MDや外部接続機器の再生音は、パソコンの操作や警告音等とミックスされてオーディオのスピーカーから出ますが、これらオーディオの再生音のみスピーカーから出すこともできます。→[27]

時刻の設定について

PC-LINK^{リンク}状態では、オーディオ部の時刻を設定することはできません。PC-LINK^{リンク}状態にする前に時刻を合わせてください。パソコンの電源を入れる前またはパソコンと接続していないときに、“時刻合わせ” (→[42]) の操作を行って時刻を合わせてください。

設定した時刻は、PC-LINK^{リンク}状態ではオーディオ部に表示させることはできません。時刻を設定しないでミュージックアプリケーションStage MaSterでタイマーを設定しても、タイマーを動作させることはできません。

DVD-ROM、CD-R/RWDライブについて

オーディオ部はPC-LINKのときパソコンのDVD-ROM、CD-R/RWDライブとして機能するので、オーディオCDの再生はもちろん、CD-ROM、DVD-ROMなどのデータの読み込み、CD-R/RWへのデータの書き込みをすることができます。また、DVDビデオ再生ソフトウェアを使用することにより、DVDビデオを再生することができます。

読み取りできるフォーマットについて


各ドライブでは以下のディスクのフォーマットのデータを読みとることができます。フォーマットによっては読みとり用のソフトウェアが必要なものがあります。

DVD-ROMドライブ

- DVD-ROM
- DVD VIDEO
- CD-ROM
- オーディオCD (CD-DA)*
- CD-R
- CD-RW
- CD-TEXT
- CD-ROM XA
- CD-I
- PHOTO CD
- VIDEO CD
- CD EXTRA

CD-R/RWDライブ

- CD-ROM
- オーディオCD (CD-DA)*
- CD-R
- CD-RW
- CD-TEXT
- CD-ROM XA
- CD-I
- PHOTO CD
- CD EXTRA
- VIDEO CD

* ディスクレーベル面に  などのマークが入っている一般に市販されている、音楽が収録されているCD

CD-R/RWに書き込みができるフォーマットについては、CD-R/RWライティングソフトウェアの説明書やヘルプ画面をご覧ください。

記録できるCD-R/RWについて

CD-R/RWDライブでは以下のロゴマークのついたCD-R/RWに書き込むことができます。

CD-R
(パソコン用)



CD-RW
(パソコン用)



High Speed CD-RW
(パソコン用)



音楽用CD-R



音楽用CD-RW



"DIGITAL AUDIO" の文字がある

- CD-RWに4倍を超える速度で書き込むには、High Speed CD-RWを使用する必要があります。ただし、High Speed CD-RWには4倍より低い速度では書き込むことはできません。
- 高速での書き込みを行う場合には、その書き込み速度に対応したディスクを使用してください。
- オーディオ単独で使ったときには、パソコン用のCD-R/RWには録音することはできません。録音できるディスクについては、「本機で録音できるCD-R/RWについて」(→39)をご覧ください。





ディスクの特性により録音できないディスクがあります。本機では以下のメーカー、ブランドのCD-R/RWディスクにおいて動作確認をしています(2001年11月現在)。

- CD-R : ソニー、太陽誘電 (That's)、富士写真フイルム、日立マクセル、三井化学、三菱化学、IMATION、TDK
- CD-RW : 三菱化学、ヤマハ、リコー、ARITA、CURSOR、Media Service、MR. DATA、RiTEC、TDK
- CD-RW High Speed : 日立マクセル、三菱化学、ヤマハ、リコー、MEMOREX TELEX
- 音楽用 CD-R : ソニー、太陽誘電 (That's)、日本ビクター、日立マクセル、三井化学、三菱化学、AXIA (アクシア)、TDK
- 音楽用 CD-RW : ソニー、日本マランツ、三菱化学、リコー、TDK

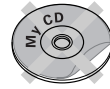
記録できるCD-R/RWの規格: CD-R (Orange Book Part II 規格ディスク)
CD-RW (Orange Book Part III、Orange Book Part III Volume 2 規格ディスク)
"Orange Book"とは、CD-R/RWに関する規格内容を記述した本、およびその規格そのものを示します。

DVD-ROMドライブのリージョンコード(地域番号)について

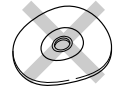
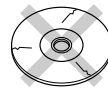
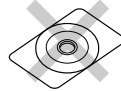
多くのDVDビデオでは、再生できる地域を限定するためのディスクにリージョンコードが設定されています。また、DVD-ROMドライブ側にもリージョンコードの設定があり、DVDビデオはディスクのリージョンコードとドライブ側のリージョンコードが適合しないと再生することができません。このシステムのDVD-ROMドライブは、DVDビデオのディスクを入れるとディスクに合ったリージョンコードに自動的に設定されます。このリージョンコードの設定は4回まで自動的に切りかわりますが、それ以降は4回目に設定されたリージョンコードに固定され、そのリージョンコード適合したディスクや地域制限のないディスクだけが再生できなくなります。


 ディスクのリージョンコードはディスクのジャケットに表示されています。日本にはリージョンコード"2"が割り当てられています。DVD-ROMドライブがリージョンコード2で設定されているときは、ディスクのジャケットに 、 および  のように"2"の含む表示があるディスクはリージョンコード"2"のまま再生します。

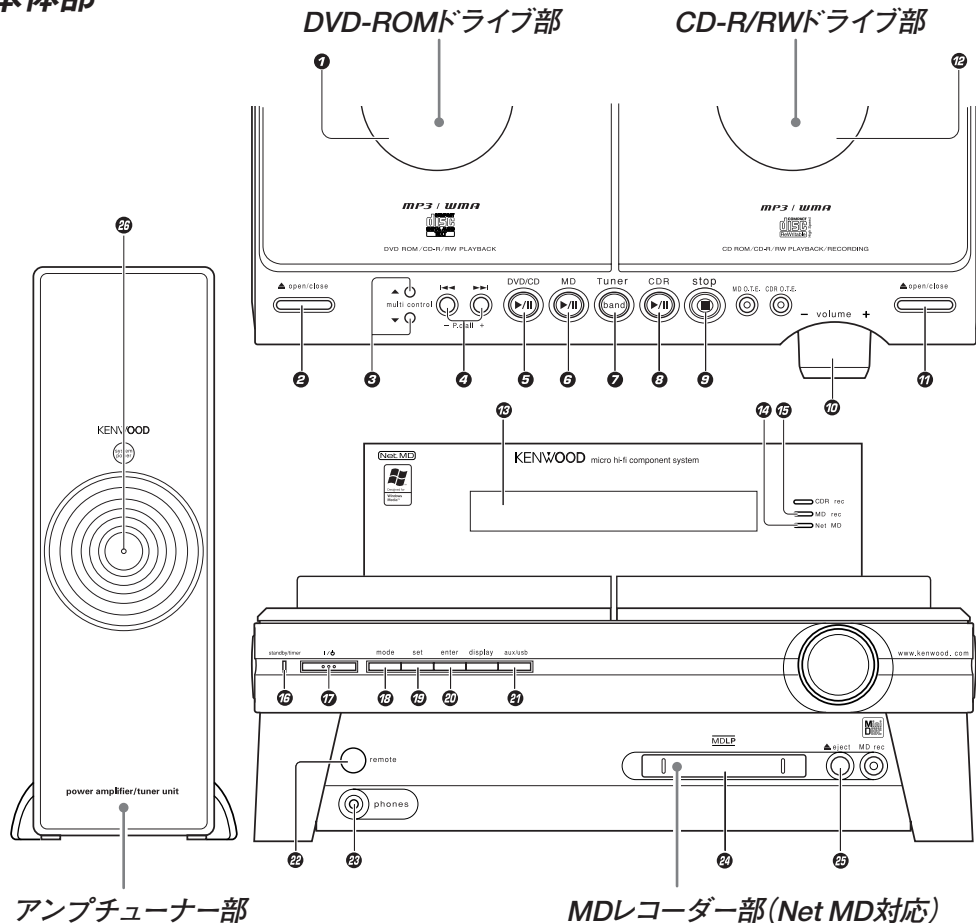
ラベルなどを貼りつけたディスクはご使用にならないでください。故障の原因となります。



変形CD(星形、ハート形、カード形等)、ひび割れがある、大きくそったディスク、ディスク保護のためのスタビライザー等は、ご使用にならないでください。故障の原因となります。



本体部



設置場所について

振動に影響されるような場所には設置しないでください。

⚠ 設置上のご注意

アンプチューナー部は上図のように縦置きで使用してください。横置きで使用すると、放熱が妨げられ内部に熱がこもり、火災の原因となります。

⚠ 使用上のご注意

DVD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブのカバーの開閉は必ず **▲open/close** キーを押して行ってください。カバーを直接手で開閉すると故障の原因となります。特にディスクが回転しているときに、カバーを手で開けるとディスクが飛び出て、けがの原因となることがあります。

スタンバイ状態について

プレーヤー部の **スタンバイ** タイマーインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。

- ① **カバー (DVD-ROMドライブ)**
 ② **カバー開閉 (▲open/close) キー**
 DVD-ROMドライブのカバーを開閉するときに使います。 → [24]
- ③ **multi control (▲、▼) キー**
 各種設定の選択に使います。
- ④ **◀◀▶▶/P.callキー**
 Stage Masterで各ディスクの再生中は、曲またはファイルのスキップに使います。ラジオ受信中は、放送局の選局に使います。
- ⑤ **DVD/CD ▶/II (再生/一時停止) キー**
 Stage MasterのCD再生タブを開きます。CD再生タブが開いているときは、再生/一時停止キーとしてはたつきません。
- ⑥ **MD ▶/II (再生/一時停止) キー**
 Stage MasterのAudio Inputタブを開き、Net MD画面を表示します。Audio Inputタブが開いているときは、再生/一時停止キーとしてはたつきません。
- ⑦ **Tuner/bandキー**
 Stage MasterのAudio Inputタブを開き、TUNER画面を表示します。Audio Inputタブが開いているときは、放送バンドを切り換えます。
- ⑧ **CDR▶/II (再生/一時停止) キー**
 Stage MasterのCD再生タブを開きます。CD再生タブが開いているときは、再生/一時停止キーとしてはたつきません。
- ⑨ **stop■キー**
 Stage Masterで各ディスクの再生中は、再生を停止します。
- ⑩ **volume (+、-) つまみ**
 音量を調整するときに使います。 → [25]
- ⑪ **カバー開閉 (▲open/close) キー**
 CD-R/RWDドライブのカバーを開閉するときに使います。 → [24]
- ⑫ **カバー (CD-R/RWDドライブ)**
 ⑬ **表示部** → [23]
- ⑭ **Net MDインジケータ**
 PC-LINK時に点灯します。
- ⑮ **MD recインジケータ**
 MDヘファイルをチェックアウトしているときに点灯します。
- ⑯ **standby/timerインジケータ**
 電源オンのとき : 点灯
 電源オフ(スタンバイ)のとき : 点灯
- ⑰ **I/○キー**
 電源をオフにするときに使います。
- ⑱ **modeキー**
 設定モードにするとき、設定モードを解除するときに使います。 → [23] → [26] → [27]
- ⑲ **setキー**
 設定の選択や確定に使います。 → [23] → [26] → [27]
- ⑳ **enterキー**
 選択内容の確定に使います。 → [23] → [26] → [27]

- ㉑ **aux/usbキー**
 Stage MasterのAudio Inputタブを開き、AUX画面を表示します。
- ㉒ **リモコン受光部**
- ㉓ **phones端子**
 ステレオミニプラグのヘッドホン(別売)を接続します。
- ㉔ **MD挿入口**
- ㉕ **MD取出し (▲eject) キー**
 MDを取り出すときに使います。 → [24]
- ㉖ **システムインジケータ**
 電源オンのとき : 点灯
 電源オフ(スタンバイ)のとき : 消灯


WinDVDを使用するときに操作できるキー

- ④ **◀◀▶▶/P.callキー**
 チャプターの飛び越しに使用します。
- ⑤ **DVD/CD ▶/II (再生/一時停止) キー**
 再生一時停止および一時停止を解除するときに使います。
- ⑨ **stop■キー**
 再生を停止します。
- ㉖ **enterキー**
 再生を開始するときや、メニュー画面で選択したメニューの確定に使用します。

オーディオの電源をオフにするには

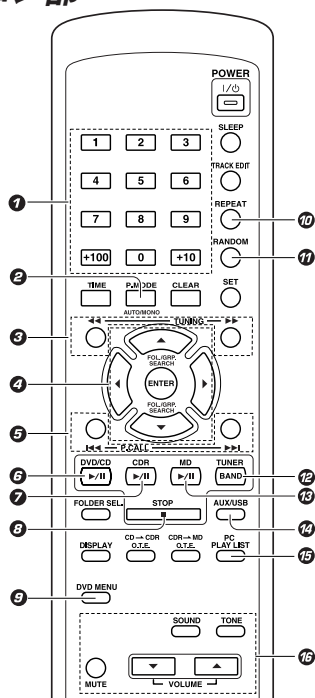
PC-LINK状態でオーディオの電源のみオフ(スタンバイ)にするには、次の操作を行ってください。

1. I/○キーを押す
 - "POWER OFF OK?"と"PC-LINK"が交互に表示されます。
2. 上記の表示中に、もう一度I/○キーを押して電源をオフにする

 オーディオ単独で使用する際の電源のオフのしかたは、→ [43] ページをご覧ください。

CD-R/RWDドライブ、MDレコーダーで記録(録音)中でも電源はオフにすることはできませんが、記録したデータは破壊されそのディスクは再生できなくなることがあります。

リモコン部



- ② **AUTO/MONOキー**
オート モノ
 Stage MasterのTUNER画面で、AUTO/MONOを切り換えるときにつかいます。
- ④ **曲/ファイル選択キー**
▲、▼キー
ステージン マスター
 Stage MasterのLibraryタブの階層表示で、カーソルを上下に移動するときに使います。
◀、▶キー
ステージン マスター
 Stage MasterのLibraryタブの階層表示で、カーソルを左右に移動するときに使います。
ENTERキー
ステージン マスター
 Stage MasterのLibraryタブで、再生する曲またはファイルの確定に使います。
- ⑤ **◀◀、▶▶キー**
ステージン マスター
 Stage Masterで各ディスクの再生中は、曲またはファイルのスキップに使います。ラジオ受信中は、放送局の選局に使います。
- ⑥ **DVD/CD ▶/|| (再生/一時停止)キー**
ステージン マスター
 Stage MasterのCD再生タブを開きます。CD再生タブが開いているときは、再生/一時停止キーとしてはたります。
- ⑦ **CDR ▶/|| (再生/一時停止)キー**
ステージン マスター
 Stage MasterのCD再生タブを開きます。CD再生タブが開いているときは、再生/一時停止キーとしてはたります。

- ⑧ **STOP■ (停止)キー**
ストップ
 Stage Masterで各ディスクの再生中は、再生を停止します。
- ⑩ **REPEATキー**
リピート
 Stage Masterのリピート再生モードを切り換えるときに使います。
- ⑪ **RANDOMキー**
ランダム
 Stage Masterのランダム再生モードを切り換えるときに使います。
- ⑫ **TUNER/BAND キー**
チューナー
 Stage MasterのAudio Inputタブを開き、TUNER画面を表示します。Audio Inputタブが開いているときは、放送バンドを切り換えます。
- ⑬ **MD ▶/|| (再生/一時停止)キー**
ステージン マスター
 Stage MasterのAudio Inputタブを開き、Net MD画面を表示します。Audio Inputタブが開いているときは、再生/一時停止キーとしてはたります。
- ⑭ **AUX/USBキー**
オーディオ インプット
 Stage MasterのAudio Inputタブを開き、AUX画面を表示します。
- ⑮ **PC PLAY LISTキー**
プレイリスト
 Stage MasterのLibraryタブを開きます。
- ⑯ **音量、音質関連キー**
SOUNDキー
サウンド
 S.DIRECT、N.B.1、N.B.2を選ぶときに使います。→ [26]
TONEキー
トーン
 低音域、中音域、高音域の音質調整に使います。→ [26]
MUTEキー
ミュート
 一時的に音を消すときに使います。→ [25]
VOLUMEキー
ボリューム
 音量、音質の調整に使います。→ [25]

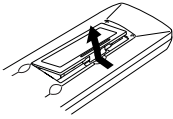
WinDVDを使用するときに操作できるキー

- ① **数字入力キー**
 数字入力キーとしてはたります。
- ② **◀◀、▶▶ キー**
 早送り、早戻しに使います。
- ③ **メニュー選択キー**
▲、▼、◀、▶ キー
 メニューの選択に使います。
ENTERキー
 再生を開始するときや、メニュー画面で選択したメニューの確定に使います。
- ④ **◀◀、▶▶ キー**
 チャプターの飛び越しに使います。
- ⑤ **DVD/CD▶/|| (再生/一時停止)キー**
 再生一時停止および一時停止を解除するときに使います。
- ⑥ **STOP■ (停止)キー**
ストップ
 再生を停止します。
- ⑦ **DVD MENUキー**
 メニュー画面を表示します。

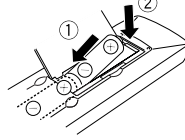
リモコンの使いかた

電池の入れかた

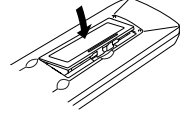
① カバーを開く



② 電池を入れる



③ カバーを閉める



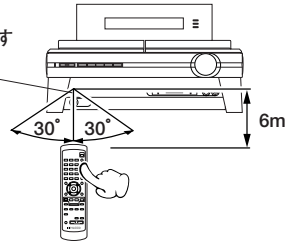
● 単三乾電池2個を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

ステージ マスター
Stage Masterを起動したり操作するときにキーを押します。

操作範囲のめやす

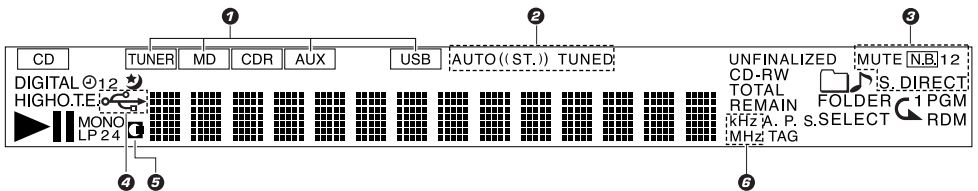
リモコン受光部



● リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔を空けて確実に押してください。

- 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがありますのでご了承ください。
- 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

表示部



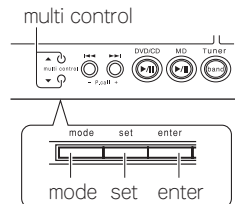
- ① 入力表示
(TUNER, MD, AUX, USB)
- ② チューナー関連表示
- ③ 音質調整関連表示
(N.B.1, N.B.2, S.DIRECT)
- ④ USBマーク
PC-LINK時に点灯します。
- ⑤ MD表示 (MD)
MDが挿入されているときに点灯します。
- ⑥ 放送周波数単位

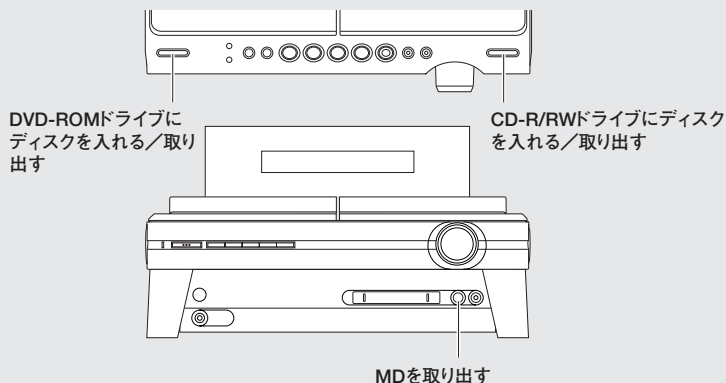
- PC-LINK時は、関連するものだけが点灯します。

表示部の明るさの調整について (DIMMER)

本機の表示部の明るさをお好みによって切り換えることができます。

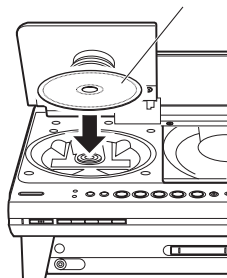
- ① modeキーを押す
- ② multi controlキーを押して "DIMMER?"を選び、setキーを押す
- ③ multi controlキーを押して "LOW(暗い)"または"HIGH(明るい)"を選び、setキーまたはenterキーを押す





CD、DVDの入れかた／取り出しかた

レーベル面を上にする



入れかた

- ① カバー開閉(▲)キーを押してカバーを開ける
- ② ディスクを入れる
- ③ カバー開閉(▲)キーを押してカバーを閉める

カバーは直接手で閉めないでください。無理にカバーを閉めると故障の原因となります。

- 左側がDVD-ROMドライブ用のカバー開閉(▲)キー、右側がCD-R/RWドライブ用のカバー開閉(▲)キーです。
- 8cmのディスクを入れることもできます。

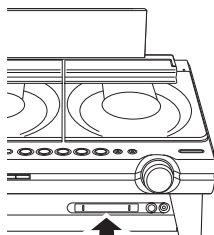
取り出しかた

カバー開閉(▲)キーを押してカバーを開け、ディスクを取り出します。

データ記録面には、触れないでください

ソフトウェアによっては、使用中開閉キーの操作ではカバーを開けることができないものがあります。ソフトウェアの操作によってカバーを開けて、ディスクを取り出してください。ソフトウェアの説明書などをご覧ください。

MDの入れかた／取り出しかた



入れかた

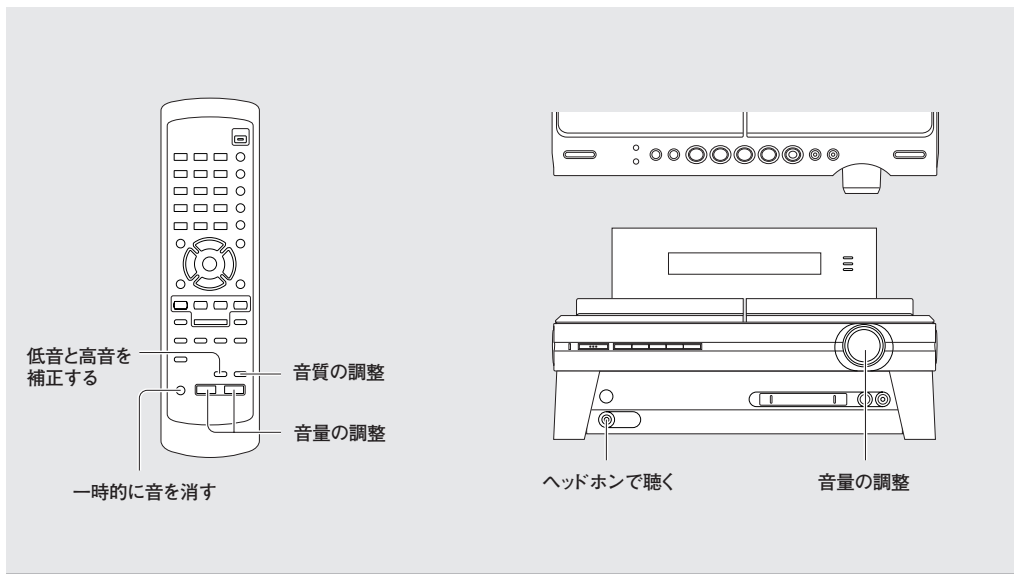
MDの方向をよく確認して挿入します。

取り出しかた

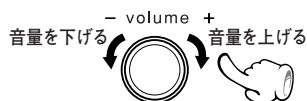
▲イジェクト ejectキーを押して取り出します。

電源がオフ(スタンバイ)状態のときは、MDの出し入れはできません。スタンバイ状態のときに無理にMDを入れないでください。故障の原因となります。





音量を調整する



本体の ボリューム つまみを左右に回して調整します。

- リモコンの ボリューム VOLUME キーでも同様の操作ができます。
- 表示部に目安の数字を表示します。

音量の表示

VOLUME 17



パソコン側の音の設定で、消音を選ばれているとCD、DVDビデオの再生音は出ません。

パソコン側の音の設定で、音量が低く設定しているとCD、DVDビデオの再生音は調整しても音量が上がらない場合があります。

一時的に音を消す (MUTE)

リモコンのみ



- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

ヘッドホンで聴く

- ① ヘッドホンのプラグを ヘッドホン phones端子に差し込む



- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

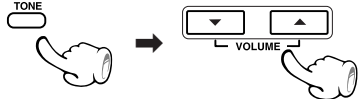
- ② ボリューム volumeつまみまたはリモコンの ボリューム VOLUMEキーで音量を調整する

音質の調整 (TONE)

リモコンのみ

低音域 (BASS)、中音域 (MID)、高音域 (TREBLE) の調整ができます。調整をした場合は N.B. (ナチュラルバス) 効果は解除されます。

- ① TONE キーを押して "BASS" の設定にする
VOLUME キーで好みのレベルを設定してください。



BASS +2

- ② "BASS" 表示中に TONE キーを押して "MID" の設定にする

VOLUME キーで好みのレベルを設定してください。

- ③ "MID" 表示中に TONE キーを押して "TREBLE" の設定にする

VOLUME キーで好みのレベルを設定してください。

- ④ TONE キーを押して、調整を終了する

- BASS、MID、TREBLE ともに -4 ~ +4 の範囲で調整できます。

低音と高音を補正する (N.B. : Natural Bass circuit)

リモコンのみ



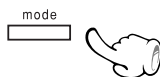
押すたびに表示が切り換わります。

- ▶ "N.B.1" 音量に応じて低音と高音を強調します。
- "N.B.2" 低音のみ強調します。
- "S.DIRECT" CD や MD などソース (音源) の音を、本機の音質調整回路を通さずに、なるべく原音に忠実に聴くことができます。
- 消灯 音質調整された音を聴くことができます。

バランスの調整 (BALANCE)

左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

- ① mode キーを押す

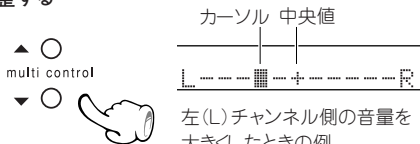


- ② multi control キーを押して "BALANCE?" を選び、set キーを押す



- S.DIRECT を選んでいるときは、調整できません。"X" と表示されます。

- ③ multi control キーを押して、左右のバランスを調整する




- ▲ (アップ) キーで右 (R) チャンネル側、▼ (ダウン) キーで左 (L) チャンネル側にカーソルを調整します。バランス中央値は "+" と表示しています。

- ④ set または enter キーを押す

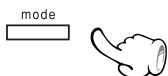


オーディオの再生音のみスピーカーから出す

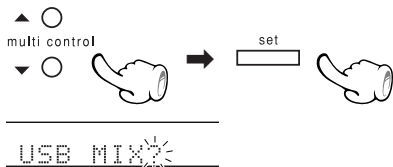
ラジオ放送、MDや外部接続機器を聴いているときにパソコンの操作、警告音等をこれらのオーディオ再生音とミックスして一緒にスピーカーから出すか出さないかを切り換えることができます。初期設定は"ON"^{オン}(ミックスして出す)に設定されています。

 CDやDVDビデオの再生のときは再生音とパソコンの操作、警告音等はミックスしてスピーカーから出ます。オーディオ部の設定では、再生音のみ出すようにすることはできません。

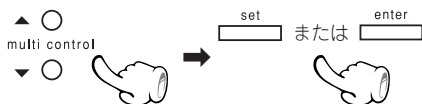
① ^{モード} modeキーを押す



② ^{マルチ コントロール} multi controlキーを押して"USB MIX?"^{セット}を選び、setキーを押す



③ ^{マルチ コントロール} multi controlキーを押して"ON"^{オン}または"OFF"^{オフ}を選び、setキーまたはenterキーを押す



押すたびに表示が切り換わります。

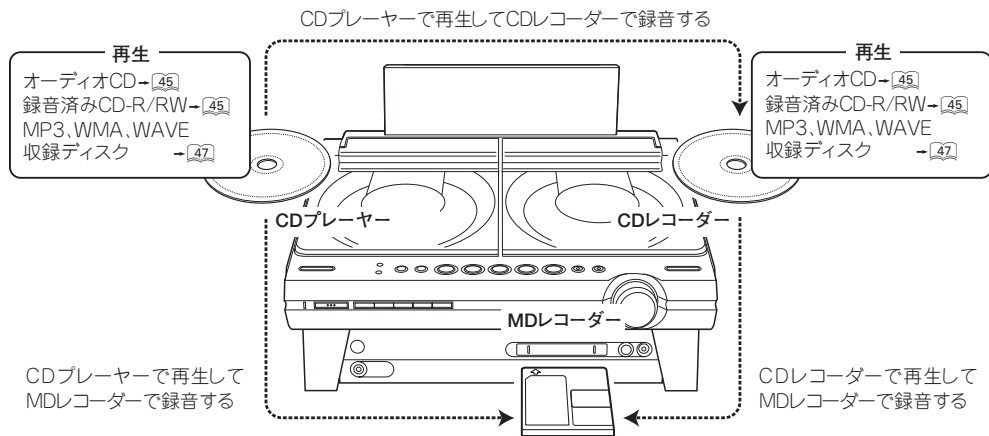
- ▶ ^{オン} ON パソコンからの音がミックスされて出ます。
- ▶ ^{オフ} OFF パソコンからの音は出ません。

^{オン} ONのとき MIX OFF>ON

^{オフ} OFFのとき MIX>OFF ON

オーディオシステムについて

オーディオを単独で使用するときはCDプレーヤー、CDレコーダーおよびMDレコーダーとして働きます。CDプレーヤーおよびCDレコーダーはオーディオCD*やMP3、WMA、WAVE収録ディスクを再生することができます。また、CDレコーダーはオーディオCDをCD-R/RW (CD-RおよびCD-RW)に録音することができます。MDレコーダーは、MDの再生および録音することができます。ラジオ放送を聴いたり、MDに録音することもできます。



* ディスクレーベル面に [45] などのマークが入っている一般に市販されている、音楽が収録されているCD

録音について

本機のCDを録音する機能にはディスクの全曲または1曲録音など簡単な操作で録音できるワンタッチエディット録音とマニュアル録音があります。オーディオCDをMDに録音するときには、デジタル信号のまま録音するデジタル録音とアナログ信号に一度変換して録音するアナログ録音を選ぶことができます。

再生装置 (再生ディスク)	録音装置	CDレコーダー	MDレコーダー
CDプレーヤー	オーディオCD	ワンタッチエディット録音 → [59] (デジタル録音*1)	マニュアル録音 → [84] (アナログ録音)
	MP3、WMA、 WAVE ディスク		マニュアル録音 → [84] (アナログ録音)
CDレコーダー	オーディオCD		ワンタッチエディット録音 → [64] (デジタル*2 / アナログ録音選択可) マニュアル録音 → [84] (デジタル / アナログ選択可)
	MP3、WMA、 WAVE ディスク		ワンタッチエディット録音 → [64] (アナログ録音) マニュアル録音 → [84] (アナログ録音)
ラジオ放送、外部入力			アナログ録音 → [71]

*1 4倍速デジタル録音で録音します。

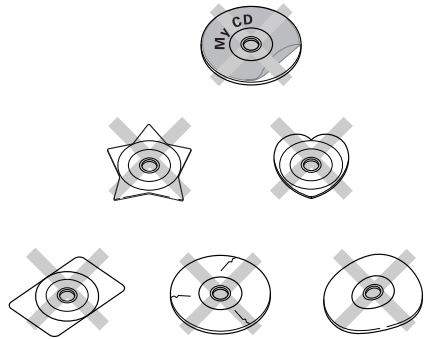
*2 デジタル録音では倍速録音と通常速録音が選べます。



- 本機ではCD-R/RWにはオーディオCDと同じデジタル信号形式で録音します。
- 本機では、オーディオCDなどからMP3、WMA、WAVEフォーマットで録音することや、MP3、WMA、WAVE収録ディスクからMP3、WMA、WAVEフォーマットのままで録音することはできません。

ラベルなどを貼りつけたディスクはご使用にならないでください。故障の原因となります。

変形CD(星形、ハート形、カード形等)、ひび割れがある、大きくそったディスク、ディスク保護のためのスタビライザー等は、ご使用にならないでください。故障の原因となります。



再生できるディスクについて

CDプレーヤー

- オーディオCD (CD-DA)
- オーディオCDと同じデジタル信号形式で録音したファイナライズ処理されたCD-R/RW
- MP3、WMA、WAVE収録ディスク (CD-R/RWディスクも含む)
- CD EXTRAディスクの音声部のみ

CDレコーダー

- オーディオCD (CD-DA)
- オーディオCDと同じデジタル信号形式で録音したCD-R/RW
- MP3、WMA、WAVE収録ディスク (CD-R/RWディスクも含む)
- CD EXTRAディスクの音声部のみ

- MP3、WMA、WAVEファイルが収録されているディスクでも、MP3、WMA、WAVEファイル以外の他のデータが収録されていると再生できない場合があります。
- 本機以外のCDレコーダー、CD-R/RWドライブで録音したCD-R/RWは、ディスクの特性や、レコーダー側の記録特性(ピックアップ等)の違いにより本機で再生できないことがあります。
- 著作権管理が有効に設定されているWMAファイルは再生できません。
- DVDビデオは、オーディオを単独で使用するときは再生できません。DVDビデオを再生するときは、パソコンのDVDビデオ再生ソフトウェアを使用してください。

マルチセッションディスクの再生について

複数のセッションで分けられたディスクは、オーディオを単独で使ったときにはセッションまたはディスクが再生できない場合があります。数回に分けてトラックアットワンスでディスクに書き込みを行ったマルチセッションCD-R/RWディスクもこれに含まれます。

- 第1セッションがオーディオCD (CD-DA) 形式である場合は、第2セッション以降に記録されているMP3、WMA、WAVEファイルは再生できません。
- 第1セッションがMP3、WMA、WAVEファイルが記録されている場合は、第2セッション以降のオーディオCD (CD-DA) 形式のセッションは再生できません。
- 第1セッションがオーディオCD (CD-DA) やMP3、WMA、WAVEファイル以外の形式のデータが記録されている場合は、このディスクは再生できない場合があります。

CD-R/RWの録音について

CDレコーダーにより音楽用CD-R/RW (CD-RまたはCD-RW)に、オーディオCDなどのデジタル信号を圧縮することなく、市販されているオーディオCDと同等の高音質の録音をすることができます。

CD-RとCD-RWについて

CD-RとCD-RWには以下の違いがあります。

CD-R (Compact Disc Recordable) (追記型)

追記型のCD-Rは、ディスクの録音可能時間まで追加録音できますが、一度録音された曲は消去することができません。また、ファイナライズ処理(→108)後は本機のCDプレーヤーを含め、他のCDプレーヤー*で再生することができますようになりますが、一切の追加録音はできなくなります。

*..... 機器によっては再生できない場合があります。

CD-RW (Compact Disc Rewritable) (書き換え型)

書き換え型のCD-RWは、ディスクの録音可能時間まで追加録音できるうえ、一度録音した曲を消去して再録音することができるため、繰り返し録音することができます。また、CD-RWもファイナライズ処理(→108)後は追加録音をすることができなくなりますが、ファイナライズ処理前に戻す(アンファイナライズ処理→109)ことができます。つまり、ファイナライズされたCD-RWでもアンファイナライズ処理をすることで、再び追加録音ができる状態に戻すことができます。しかし、CD-RWはファイナライズ処理をしても、一般のCDプレーヤーでは再生することができません。CD-RW対応の機器で再生することができます。

本機で録音できるCD-R/RWについて

録音できるディスク

オーディオを単独で使したときに録音できるのは、音楽用CD-R/RWのディスクです。音楽用CD-R/RWには、以下のマークが表示されています。パソコン用のCD-R/RWおよびパソコン用のCD-RW High Speedには録音できません。

音楽用CD-R



音楽用CD-RW



CD-R
(パソコン用)



CD-RW
(パソコン用)



CD-RW High Speed
(パソコン用)



音楽用には "DIGITAL AUDIO" の文字があり、パソコン用には "DIGITAL AUDIO" はありません。

音楽用CD-R/RWでも、ディスクの特性により録音できないディスクもあります。本機では以下のメーカー、ブランドの音楽用CD-R/RWディスクにおいて動作確認をしています(2001年11月現在)。

音楽用 CD-R : ソニー、太陽誘電 (That's)、日本ビクター、日立マクセル、三井化学、三菱化学、AXIA (アクシア)、TDK

音楽用 CD-RW : ソニー、日本マランツ、三菱化学、リコー、TDK

他のレコーダーやCD-R/RWライティングソフトウェアで録音したディスクへの録音

本機以外のオーディオ用CDレコーダーで録音したCD-R/RWは、レコーダー側の記録形式、ピックアップ等の特性の違いにより本機では追加録音ができないことがあります。Stage MasterやCD-R/RWライティングソフトウェアで録音した音楽用CD-R/RWは、記録形式の違いによりオーディオ単独で使用したときの録音操作では追加録音できません。また、ファイナライズ、アンファイナライズや消去もできません。パソコンで使用した音楽用CD-RWをオーディオ単独使用で録音するときは、CD-R/RWライティングソフトウェアでディスクを消去してから録音してください。ただし、記録しているデータはすべて消去されます。

ファイナライズ(FINALIZE)について

ファイナライズとは、本機のCDレコーダーで録音したCD-R/RWを本機のCDプレーヤー*1、および他のCD-R/RW対応機器で再生できるようにするための最終処理のことです。

ファイナライズ処理後

CD-R 本機のCDプレーヤー、および他のCDプレーヤー*2で再生できるようになります。通常の音楽CDと同じような状態になりますので、追加録音などが一切できなくなります。

CD-RW 本機のCDプレーヤー、および他のCD-RW対応機器*3で再生できるようになります。基本的にCD-Rと同様、追加録音、消去などができなくなりますが、アンファイナライズ処理(-110)をすることでファイナライズ処理をする前に戻すことができます。

	ファイナライズ処理前		ファイナライズ処理後	
	CD-R	CD-RW	CD-R	CD-RW
本機のCDプレーヤーで聴く	× 不可能	× 不可能	○ 可能	○ 可能
ディスクをセットしたときの表示部	CD NO DISC	CD NO DISC	可能	可能
本機のCDレコーダーで聴く	○ 可能	○ 可能	○ 可能	○ 可能
ディスクをセットしたときの表示部	CD-R	CD-RW	CD	FINALIZED CD-RW
追加録音 (録音可能時間まで)	○ 可能	○ 可能	× 不可能	× *4 不可能
消去 -110	× 不可能	○ 可能	× 不可能	× *4 不可能

*1 本機のCDプレーヤーはCD-R/RWの再生に対応しています。

*2 CD-RはオーディオCDに比べて、ディスクの反射率が低く、一部のCDプレーヤーでは再生できない場合があります。ディスク特性、汚れ、キズまたはプレーヤーのピックアップの汚れ、結露等により再生できない場合があります。また、ピックアップの波長の違い等により、一部のDVDプレーヤーで再生できない場合があります。

*3 機器によっては再生できない場合があります。

*4 アンファイナライズ処理後可能になります。

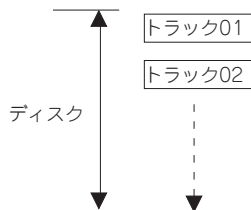
ディスクに録音できる最多曲数について

CD-R/RWには最多で99曲まで録音することができます。残り時間があっても99曲を越えて録音することはできません。また、1曲あたりの最短録音時間は4秒間です。

CDの曲の収録構成と曲番号について

オーディオCD

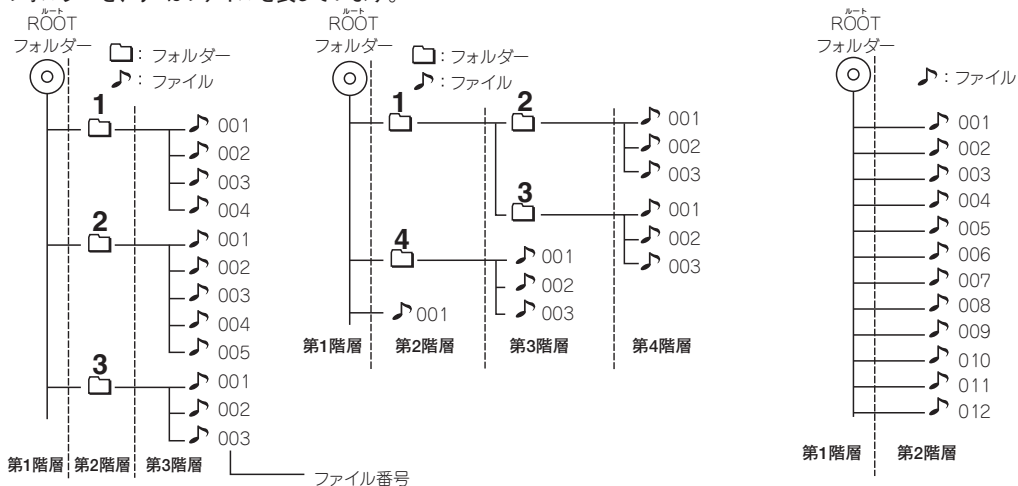
オーディオCDおよび本機で録音したCD-R/RWでは、収録されている各曲はトラック番号が付けられています。ディスクを再生するとトラック番号順に再生します。



●トラック番号は01～99の2桁の数字で表示されます。

MP3、WMA、WAVE収録ディスク

MP3、WMA、WAVE収録ディスクでは、ファイル(曲に相当)は通常、アルバムやアーティスト名などのタイトルをつけたフォルダーに含まれています。これらのディスクは下図に示すようないろいろな階層構造(ツリー構造)を持っています。"□"はフォルダーを、"♪"はファイルを表しています。



ファイル番号

本機では、MP3、WMA、WAVEファイルが収録されているディスクは、フォルダーとファイルが書き込まれた順で、ファイル再生の順番が決定されます。ファイルには各フォルダーごとに"001"から順にファイル番号がつけます。上図のフォルダーにつけた番号は、書き込まれた順番を表しています(再生中にはファイル番号は表示しますが、フォルダー番号は表示しません)。

タイトル表示

MP3、WMA、WAVE収録ディスクはフォルダータイトルやファイルタイトルを付けておくと、聴きたいフォルダーやファイルを選択するときに便利です。

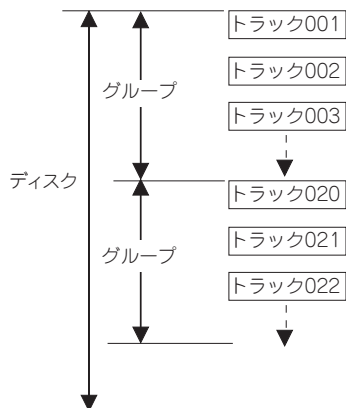
ROOTフォルダー : "ROOT"と表示します。

フォルダータイトル : 各フォルダーにつけられたタイトルです。

ファイルタイトル : 各ファイルにつけられたタイトルです。

MDの曲の収録構成と曲番号について

本機には、MDグループ管理機能があります。録音した曲を、1枚のディスクの中でアルバム別やアーティスト別などにグループ分けをすることができます。数枚のCDを1枚のMDに長時間録音で録音したときなど、グループ分けをすると聴きたいグループを選択して再生することができます。




タイトルの表示

ディスクタイトル: MDにつけられたタイトルです。

グループタイトル: 各グループにつけられたタイトルです。

トラックタイトル: 各曲につけられたタイトルです。

 オーディオ単独での機能ではMDにタイトルを入力することはできません。ミュージックアプリケーション^{ステージ} Masterでタイトルを入力してください。

MP3、WMA、WAVE収録ディスクを作成するときの注意

メディア、フォーマットについて

使用するメディア：CD-R/RW

フォーマット：ISO9660 level 1およびlevel2 (Juliet*以外の拡張フォーマットは除く)

* Juliet (ジュリエット)：マイクロソフトによるISO9660拡張フォーマット。ISO9660 level 1との互換性を保持したまま、64文字までのファイル名を付けられる。

MP3またはWMAに圧縮するとき

MP3またはWMAファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートを次のように設定してください。

MP3ファイルのとき：推奨128kbps (32kbps～320kbps)

WMAファイルのとき：推奨128kbps (64kbps～160kbps)

●本機は、32kHz、44.1kHz (推奨)、48kHzのサンプリング周波数に対応しています。

WAVEファイルに変換するとき

WAVEファイルは、サンプリング周波数44.1kHz、量子化16ビット、2チャンネルで変換してください。

フォルダー分けをするとき

MP3またはWMAファイルは、高音質の音声ファイルを圧縮するため、オーディオCDの数倍の曲数を1枚のメディアに収録させることができます。複数のジャンルやアーティストの曲を1枚のCD-R/RWに収録するときは、ジャンルやアーティスト、アルバム別のフォルダーに分けてから収録すると、フォルダーを選んでファイルを再生するフォルダーサーチ、フォルダーセレクトで再生をするとき便利です。ただし、ディスクのフォルダー数やフォルダー構成によって、時間がかかる場合があります。フォルダー数を30位に抑えることをお奨めします。

●書き込みソフトによっては、意図した順番に書き込まれない場合もあります。

フォルダー、ファイル名を付けるとき

各名称は、半角英字のA～Z、半角数字の0～9、半角の_ (アンダースコア) を使って付けます。

また、ファイル名には、必ず".mp3" (MP3ファイル)、".wma" (WMAファイル)、".wav" (WAVEファイル) の拡張子を付けます。

●MP3、WMA、WAVE以外のファイルに".mp3"、".wma"、".wav"の拡張子を付けしないでください。本機で再生できるファイルと誤認識され、大きな雑音が出てスピーカーが破損したり耳に悪い影響を与える恐れがあります。

フォルダー名やファイル名を付けるときのヒント

MP3、WMAまたはWAVEファイルが収録されているディスクを本機で再生すると、フォルダーとファイルが書き込まれた順に曲が再生されます。フォルダー名やファイル名の頭に"01"～"99"などと再生する順番に番号を入力してから書き込むと、再生する順番を設定できます。

●書き込みソフトによっては、意図した順番に書き込まれない場合もあります。

TAG情報^{タグ}について

MP3またはWMAの圧縮ソフトによっては、それぞれのファイルのTAG情報^{タグ}として、タイトルやアーティスト名などの情報を音声ファイルといっしょに収録^{タグ}することができます。

本機では、収録されたTAG情報^{タグ} (タイトル・アーティスト名などの情報) を表示させることができますが、本機で表示させるタイトル・アーティスト名は半角英数字を使って入力してください。

ファイルの確認

MP3、WMAまたはWAVEファイルをCD-R/RWに書き込む前に、書き込みをする機器（パソコンなど）でそれぞれのファイルが正しく再生されることを確認してください。

●パソコンにインストールされているCD-R/RWライティングソフトウェアを使用した場合は、確認する必要はありません。

CD-R/RWに書き込むとき

オーディオ単独で使したときに再生できる書き込み方式は、ディスクアットワンス、トラックアットワンス、パケットライト方式です。トラックアットワンスで書き込みを行ったメディアは必ずクローズセッションをしてください。

また、セッションアットワンス方式で書き込みを行ったメディアも再生できますが、セッションの作り方によっては再生できないセッションがあります。詳しくは、「マルチセッションディスクの再生について」(→[29](#))をご覧ください。

その他、以下の点を考慮して書き込みを行ってください。

- 書き込みソフトによっては、書き込まれたフォルダー名やファイル名が正しく表示されない場合があります。
- 本機で再生するMP3、WMAおよびWAVE以外のファイルやフォルダーなどを書き込まないようにしてください。
- MP3、WMAまたはWAVEファイルをCD-R/RWに書き込むときは、10セッション以内で書き込むことをおすすめします。
- MP3、WMAまたはWAVEファイルとオーディオCDの曲を1枚のCD-R/RWに書き込むと再生できない場合があります。各書き込み方式の詳細については、CD-R/RWライティングソフトウェアの説明書またはヘルプ画面をご覧ください。

本機で再生する前に

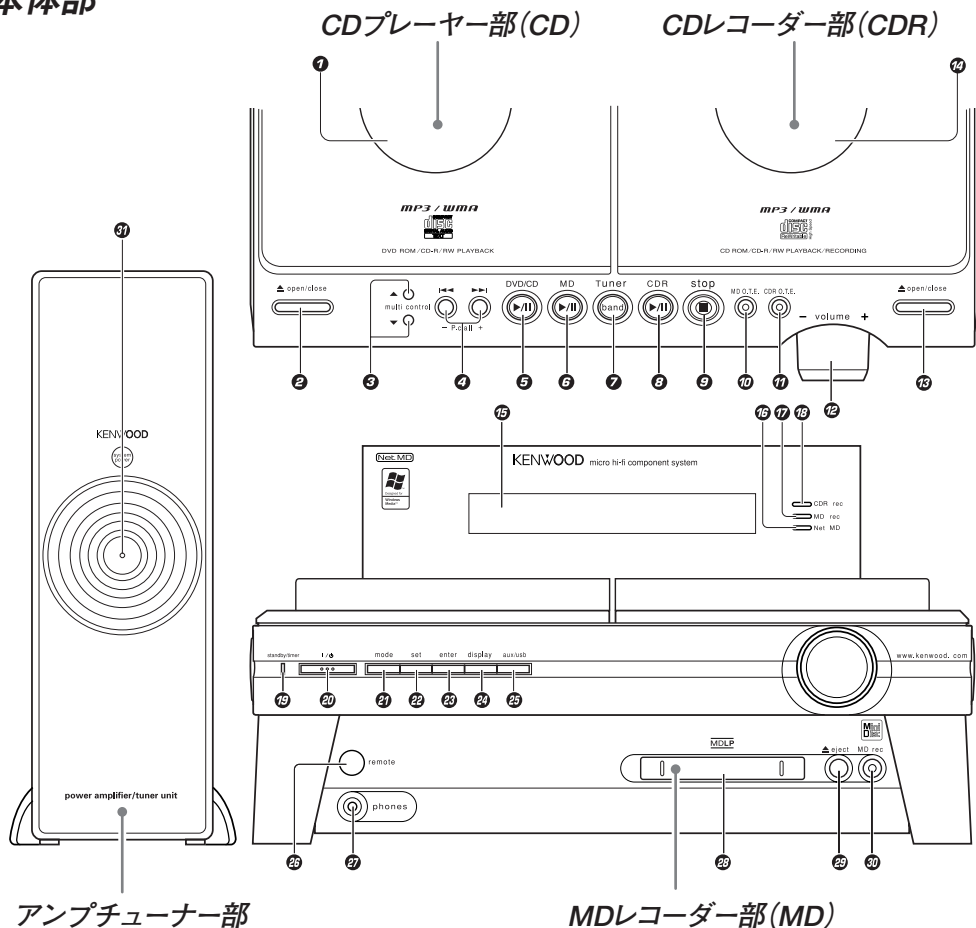
書き込んだCD-R/RWを本機で再生する前に、書き込みをした機器（パソコンなど）でそれぞれのファイルが正しく再生されることを確認してください。

●パソコンにインストールされているCD-R/RWライティングソフトウェアを使用した場合は、確認する必要はありません。

本体部

オーディオを単独で使用する

準備編



アンプチューナー部

MDレコーダー部(MD)

設置場所について

振動に影響されるような場所には設置しないでください。

▲設置上のご注意

アンプチューナー部は上図のように縦置きで使用してください。横置きで使用すると、放熱が妨げられ内部に熱がこもり、火災の原因となります。

▲使用上のご注意

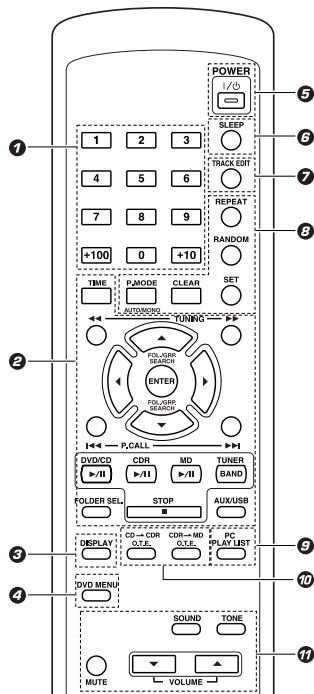
CDプレーヤー、CDレコーダーのカバーの開閉は必ず ▲open/closeキーを押して行ってください。カバーを直接手で開閉すると故障の原因となります。特にディスクが回転しているときに、カバーを手で開けるとディスクが飛び出て、けがの原因となることがあります。

スタンバイ状態について

プレーヤー部のstandby/timerインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

- ① **カバー(CDプレーヤー)**
 ② **カバー開閉(△open/close)キー**
 CDプレーヤーのカバーを開閉するときに使います。
 →[45]→[47]
- ③ **multi control(▲、▼)キー**
 各種設定の選択、時刻合わせ、タイマー予約に使います。
 CDプレーヤー、CDレコーダーでMP3、WMA、WAVE収録
 フォルダー操作中のとき、フォルダー選択に使用します。
 →[49]→[50]→[51]
 MDレコーダーでグループ操作中のとき、グループの選択
 に使います。→[54]
- ④ **◀◀、▶▶/P.callキー**
 CDプレーヤー、CDレコーダー、MDレコーダーで再生中
 のとき、曲のスキップに使います。→[46]→[53]
 CDプレーヤー、CDレコーダーでMP3、WMA、WAVE収
 録ディスクを再生中のとき、ファイルのスキップに使いま
 す。→[48]
 放送受信中のとき、プリセットした放送局の選択に使いま
 す。→[55]
- ⑤ **DVD/CD ▶/II(再生/一時停止)キー**
 電源オンのとき、入力がCDに切り換わります。→[45]→[47]
 電源オフ(スタンバイ)のとき、システム電源をオンにし
 て、CDプレーヤーで再生するときに使います。
 CD入力のとき、再生/一時停止に使います。→[46]→[48]
- ⑥ **MD ▶/II(再生/一時停止)キー**
 電源オンのとき、入力がMDに切り換わります。→[52]
 電源オフ(スタンバイ)のとき、システム電源をオンにし
 て、MDレコーダーで再生するときに使います。
 MD入力のとき、再生/一時停止に使います。→[53]
- ⑦ **Tuner/bandキー**
 電源オンのとき、入力がTUNERに切り換わります。→[55]
 電源オフ(スタンバイ)のとき、システム電源をオンにし
 て、放送局を受信します。
 放送受信中のとき、放送バンドを切り換えます。→[55]
- ⑧ **CDR ▶/II(再生/一時停止)キー**
 電源オンのとき、入力がCDRに切り換わります。→[45]→[47]
 電源オフ(スタンバイ)のとき、システム電源をオンにし
 て、CDレコーダーで再生するときに使います。
 CDR入力のとき、再生/一時停止に使います。→[46]→[48]
- ⑨ **stop■キー**
 電源オフ(スタンバイ)のとき、5秒間の時計表示をします。
 →[42]
 CDプレーヤー、CDレコーダー、MDレコーダーで再生中
 のとき、再生を停止します。→[46]→[48]→[53]
 CDレコーダー、MDレコーダーで録音中のとき、録音を停
 止します。→[61]→[66]→[72]
 放送受信中のとき、オート選局動作を止めるときに使いま
 す。→[58]
- ⑩ **MD O.T.E.キー**
 CDレコーダーでCDを再生中に押すと再生中の曲やファイ
 ルだけを、CD停止中に押すとCD全曲またはフォルダー中の
 全曲を、MDにワンタッチで録音します。→[65]→[67]→[90]
- ⑪ **CDR O.T.E.キー**
 CDを再生中に押すと再生中の曲だけを、CD停止中に押
 すとCD全曲を、CD-R/RWにワンタッチで録音します。
 →[60]→[88]
- ⑫ **volumeつまみ**
 音量を調整するときに使います。→[43]
- ⑬ **カバー開閉(△open/close)キー**
 CDレコーダーのカバーを開閉するときに使います。→[45]→[47]
- ⑭ **カバー(CDレコーダー)**
- ⑮ **表示部**
 →[40]
- ⑯ **Net MDインジケータ**
 オーディオ単独では使用しません。
- ⑰ **MD recインジケータ**
 MDレコーダーで録音中に点灯し、録音一時停止中は点
 滅します。→[72]→[85]
- ⑱ **CDR recインジケータ**
 CDレコーダーで録音中に点灯します。
- ⑲ **standby/timerインジケータ**
 電源オンのとき、消灯します。
 電源オフ(スタンバイ)のとき、点灯します。
 タイマースタンバイ状態のとき、オレンジ色の点灯します。
 →[116]
- ⑳ **I/○キー**
 電源のオン/オフ(スタンバイ)を切り換えます。→[43]
- ㉑ **modeキー**
 設定モードにするとき、設定モードを解除するときに使
 います。→[41]
- ㉒ **setキー**
 選択内容の設定や確定などに使います。→[41]
 放送受信中のとき、オートプリセットした放送局名をかえ
 るときに使います。→[56]
- ㉓ **enterキー**
 選択内容の確定に使います。
- ㉔ **displayキー**
 CDレコーダー、MDレコーダーで録音中に、再生側の表
 示と録音側の表示を切り換えるときに使います。
 →[61]→[66]
- ㉕ **aux/usb(外部入力)キー**
 AUX端子に接続した外部機器の入力ソースを再生、録
 音するときに使います。→[43]→[112]
- ㉖ **リモコン受光部**
- ㉗ **phones端子**
 ステレオミニプラグのヘッドホン(別売)を接続します。
- ㉘ **MD挿入口**
- ㉙ **MD取出し(▲eject)キー**
 MDを取り出すときに使います。→[53]
- ㉚ **MD recキー**
 MDに録音するときに使います。→[72]→[85]
- ㉛ **システムインジケータ**
 電源オンのとき、点灯します。
 電源オフ(スタンバイ)のとき、消灯します。

リモコン部



① 数字入力キー

CD、CDR、MD入力するとき、数字キーとして使います。

→ [46] - [48] - [53]

放送受信中とき、放送局を呼出すときまたはプリセットするときに使います。

→ [55] - [58]

② 基本操作キー

TIMEキー

CD、CDR、MD入力するとき、タイトル表示や、再生、録音時間表示を切り換えるときに使います。 → [46] - [48] - [53]
放送受信中とき、周波数表示と局名表示を切り換えるときに使います。

→ [56]

FOLDER SEL.キー

CDプレーヤー、CDレコーダーでMP3、WMA、WAVE収録ディスクのフォルダーを選択するときに使います。 → [50]

I◀◀、▶▶I/P.CALLキー

CDプレーヤー、CDレコーダー、MDレコーダーで再生中とき、曲のスキップに使います。 → [46] - [53]

CDプレーヤー、CDレコーダーでMP3、WMA、WAVE収録ディスクを再生中とき、ファイルのスキップに使います。

→ [48]

放送受信中とき、プリセットした放送局の選択に使います。

→ [55]

▲、▼(FOL./GRP. SEARCH)キー

CDプレーヤー、CDレコーダーでMP3、WMA、WAVEフォルダー操作中とき、フォルダー選択に使います。

→ [49] - [50] - [51]

MDレコーダーでグループ操作中とき、グループの選択に使います。

→ [54]

◀、▶キー

MP3、WMA、WAVE収録ディスクのフォルダーセレクト再生やプログラム再生のときにフォルダー選択に使います。

→ [50] - [76]

ENTERキー

選択内容の確定に使います。

◀◀、▶▶/TUNINGキー

CDプレーヤー、CDレコーダー、MDレコーダーで再生中とき、再生中の曲やファイルの早送り、早戻しに使います。

→ [46] - [48] - [53]

放送受信中とき、放送局の選択に使います。 → [58]

DVD/CD▶/II(再生/一時停止)キー → [45] - [46] - [47] - [48]

CDR▶/II(再生/一時停止)キー → [45] - [46] - [47] - [48]

MD▶/II(再生/一時停止)キー → [52] - [53]

TUNER/BANDキー

入力をTUNERに切り換えます。

→ [43]

放送バンドを切り換えます。

→ [55]

STOP■(停止)キー

電源オフ(スタンバイ)のとき、5秒間の時計表示をします。

→ [42]

CDプレーヤー、CDレコーダー、MDレコーダーで再生中とき、再生を停止します。

→ [46] - [48] - [53]

CDレコーダー、MDレコーダーで録音中とき、録音を停止します。

→ [61] - [66] - [72]

放送受信中とき、オート選局動作を止めるときに使います。

→ [58]

AUX/USB(外部入力)キー

入力ソース(音源)をAUXに切り換えます。AUX端子に接続した機器の入力ソースを再生、録音するときに使います。

→ [43] - [112]

③ DISPLAYキー

CDレコーダー、MDレコーダーで録音中に、再生側の表示と録音側の表示を切り換えるときに使います。 → [61] - [66]

④ DVD MENUキー

オーディオを単独で使用するとき、働きません。

⑤ POWER(I/O)キー

→ [43]

⑥ SLEEPキー

SLEEPタイマーを設定するときに使います。 → [120]

⑦ TRACK EDITキー

CD-R/RWのファイナライズ、CD-Rのアンファイナライズや消去などに使います。

→ [108] - [109] - [110]

MDのグループ編集やトラック編集に使います。

⑨ CD/CDR/MD再生、編集関連キー REPEATキー

CD、MDのくり返し再生するときに使います。

→ [78] → [80] → [81]

RANDOMキー

CD、MDの曲順を順不同に再生します。 → [82]

P.MODE (AUTO/MONO) キー

MP3、WMA、WAVE収録ディスクのフォルダー再生およびCDのプログラム再生などに使います。

→ [51] → [74] → [76] → [80] → [82]

MDのグループ再生およびプログラム再生などに使います。

→ [54] → [74] → [81] → [82]

放送受信中のとき、選局方法を選ぶときに使います。 → [68]

CLEARキー

CD、MDのプログラム再生のときに、プログラム内容の取り消しに使います。 → [75] → [77]

SETキー

選択内容の設定や確定などに使います。 → [41]

放送受信中のとき、オートプリセットした放送局名をかえるときに使います。 → [66]

⑩ PC PLAY LISTキー

オーディオを単独で使用するときは、働きません。

⑪ CDR/MD録音関連キー

CD→CDR O.T.E.キー

CD再生中に押すと再生中の曲だけを、CD停止中に押すとCD全曲を、CD-R/RWLにワンタッチで録音します。

→ [60] → [88]

CDR→MD O.T.E.キー

CDレコーダーでCDを再生中に押すと再生中の曲やファイルだけを、CD停止中に押すとCD全曲またはフォルダー中の全曲を、MDにワンタッチで録音します。 → [65] → [67] → [90]

⑫ 音質関連キー

SOUNDキー

S.DIRECT、N.B.1、N.B.2を選ぶときに使います。 → [44]

TONEキー

低音域、中音域、高音域の音質調整に使います。 → [44]

MUTEキー

一時的に音を消すときに使います。 → [44]

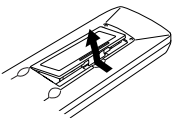
VOLUMEキー

音量、音質の調整に使います。 → [43]

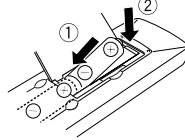
リモコンの使いかた

電池の入れかた

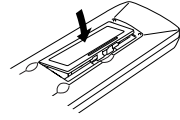
① カバーを開く



② 電池を入れる



③ カバーを閉める



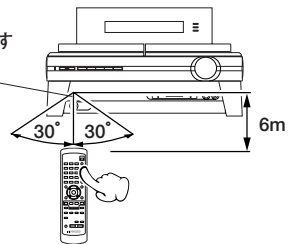
● 単三乾電池2個を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンのPOWER (I / O) キーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

操作範囲のめやす

リモコン受光部

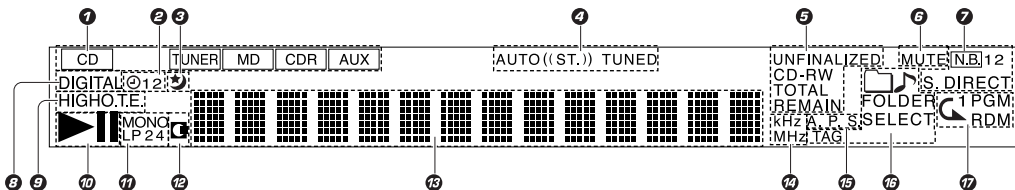


● リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。



- 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがありますのでご了承ください。
- 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

表示部



① 入力表示
(CD、TUNER、MD、CDR、AUX)

② タイマー表示 (⊙1、⊙2)

③ SLEEP表示 (☾)

④ チューナー関連表示

⑤ CD(プレーヤー、レコーダー)、MD関連表示

⑥ MUTE表示

⑦ 音質調整関連表示
(N.B.1、N.B.2、S.DIRECT)

⑧ DIGITAL録音表示

⑨ ワンタッチエディット録音関連表示
(HIGH O.T.E.、O.T.E.)

⑩ ▶(再生)、⏸(一時停止)表示

⑪ MD REC MODE表示
(LP2、LP4、MONO)

⑫ MD表示 (■)

MDが挿入されていると点灯します。挿入中、排出中、"MD
READING"表示中、"MD WRITING"表示中は点滅します。

⑬ 文字情報表示部
(入力表示、再生時間、タイトル表示など)

⑭ 放送周波数単位

⑮ A.P.S.(オートパワーセーブ)表示

⑯ MP3、WMA、WAVEファイル再生関連表示

"□"はMDグループ再生のときも点灯します。

⑰ CD(プレーヤー、レコーダー)、MD関連再生モード表示

表示部の明るさの調整について (DIMMER)

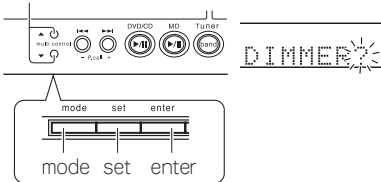
本機の表示部の明るさをお好みによって切り換えることができます。

① modeキーを押す

② multi controlキーを押して"DIMMER?"を選び、
setキーを押す

③ multi controlキーを押して"LOW(暗い)"または
"HIGH(明るい)"を選び、setキーまたはenterキー
を押す

multi control



オートパワーセーブ機能について (A.P.S.: Auto Power Save)

電源がオンで、録音も再生もしていない状態のとき、約30分
放置すると自動的に電源がオフ(スタンバイ)になる機能で
す。次の操作で、使う(ON)/使わない(OFF)を選びます。

① modeキーを押す

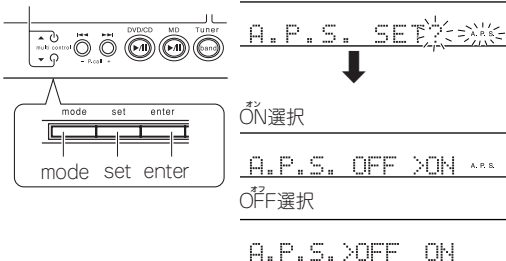
② multi controlキーを押して"A.P.S. SET?"を選び、
setキーを押す

③ multi controlキーを押して"ON"または"OFF"を
選び、setキーまたはenterキーを押す

● ソース(音源)がTUNERまたはAUXの場合、音量が"0"
のときに限りオートパワーセーブが働きます。

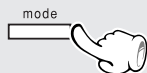
● この機能が働いているときは、表示部に"A.P.S."が点
灯します。

multi control



設定モードの選択操作

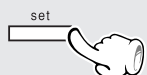
① modeキーを押す



② 設定したい項目を選ぶ



③ setキーを押す



②と③をくり返し、設定します。

- 操作中に約20秒放置するとモードの選択は解除されます。
- モードの選択中に各設定を途中でやめる場合は、もう一度modeキーを押します。
- 録音中はモードの切り換えはできません。

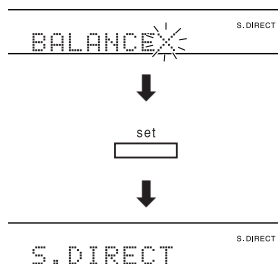
④ 押すたびに文字表示部が切り換わります。

ワンタッチディレクト モード	"O.T.E. MODE?"	- [88] - [90]
ワンタッチディレクト 速度	"O.T.E. SPEED?"	- [69] - [89]
レコーディング インプット	"MD REC INPUT?" (CDR入力するとき)	- [70]
トラック マーク	"MD TRACK MARK?" (TUNER入力以外するとき)	- [115]
オート トラック	"AUTO TRACK?" (TUNER入力するとき)	- [115]
レコーディング モード	"MD REC MODE?"	- [69] - [89]
グループ メイク	"MD GROUP MAKE?"	- [68]
テキスト	"TEXT COPY?"	- [63]
ディレクト	"ケンメイセツテイ?" (TUNER入力するとき)	- [56]
インプット	"AUX INPUT?" (AUX入力するとき)	- [112] - [113]
レコーディング ゲイン	"REC GAIN?" (AUX入力するとき)	- [113]
バランス	"BALANCE?"	- [44]
ディマー	"DIMMER?"	- [40]
オートパワーセーブ セット	"A.P.S. SET?"	- [40]
タイマー セット	"TIMER SET?"	- [117]

設定モードの表示について("X"の表示)

設定モードを選択するときの状態によっては、表示されていても選択できない項目があります。そのときは表示部に "?" の代わりに "X" が点滅します。そのまま set キーを押すと、原因、状態などが表示されます。

例: バランス調整のとき



- "BALANCE?"と表示され、"?"が点滅しているときは選択し、設定することができますが、"?"の代わりに"X"が点滅したときは選択できません。

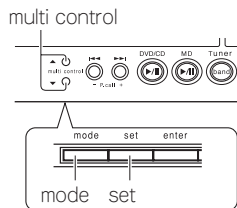
- set キーを押すと、選択できない原因、状態が表示されます。

この例での表示できない原因：

"S.DIRECT"を選択しているときは、"BALANCE"調整はできません。

本機には、時計機能がついています。タイマー機能を使う前に必ず正確な時刻を合わせてください。

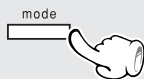
時刻を合わせた後に停電があったり、電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、時計表示にするとその時点の時刻が点滅表示されます。この場合はもう一度時刻合わせをやり直してください。



電源をオンにする

1 時刻合わせモードにする

モードキーを2秒以上押す



2 時間を合わせる

multi controlキーを押して"時"を合わせる

"時"が進む



multi control

"時"が戻る



multi control

setキーを押す

set



3 分を合わせる

multi controlキーを押して"分"を合わせる

"分"が進む



multi control

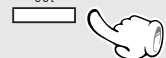
"分"が戻る



multi control

setキーを押す

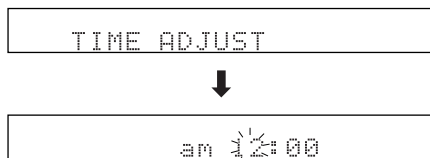
set



電源オフ(スタンバイ)のとき:

本体stop■またはリモコンのSTOP■キーを押すと5秒間だけ時計表示します。

- 時間表示が点滅を始めます。



- 1 午後1時30分に合わせる例



- 時間は12時間(am/pm)で表示されます。

2

- setキーを押すと時間が設定されて、分表示が点滅します。

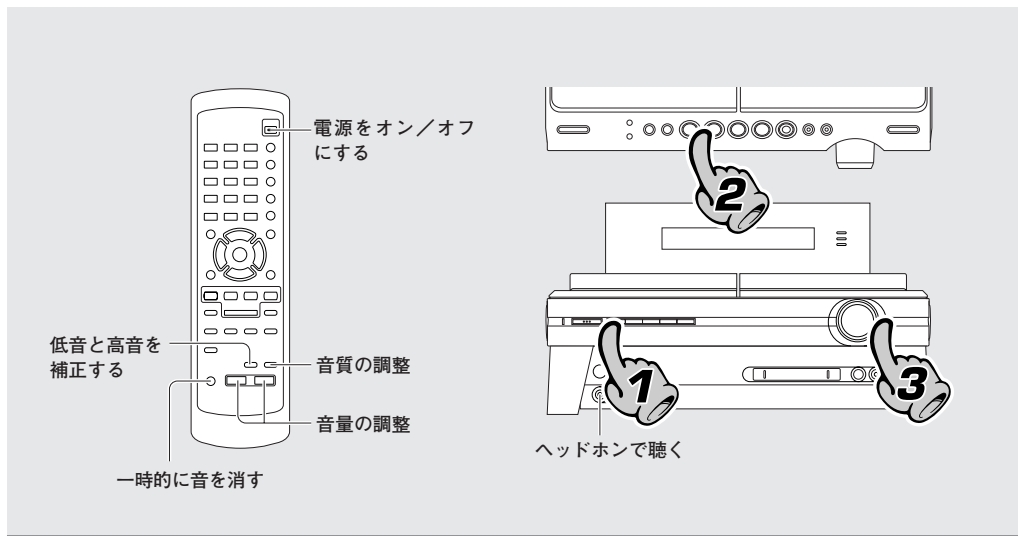
- 1 午後1時30分に合わせる例



- 間違えて押したときは、modeキーを押して最初からやり直してください。

2

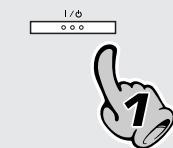
- 時報と同時にsetキーを押すと正確に時刻を設定することができます。



1 電源をオンにする(オフにする)

電源がオンのときに I/⏻ キーを押すとオフ(スタンバイ)になります。

- 電源をオンしてから数秒間は、回路保護のためミュート(音が出ない)状態になります。
- 電源がオフ(スタンバイ)のとき DVD/CD▶/||、CD▶/||、MD▶/|| または チューナー Tuner/band、aux/usb キーを押すと、電源がオンになり、その入力に切り換わり再生(受信)状態になります。(ワンタッチオペレーション機能)
- 電源をオフ(スタンバイ)にすると、I/⏻ キーを押しても電源がオフになるまで時間がかかる場合があります。しばらくすると電源がオフになります。



2 聴きたいソース(音源)を選ぶ

(入力を切り換える)

- | | |
|---------------|---|
| CDプレーヤー (CD) | : DVD/CD▶/ キーを押す |
| MDレコーダー (MD) | : MD▶/ キーを押す |
| ラジオ放送 (TUNER) | : <small>チューナー</small> Tuner/band キーを押す |
| CDレコーダー (CDR) | : CDR▶/ キーを押す |
| 外部機器 (AUX) | : aux/usb キーを押す |

- DVD/CD▶/||、MD▶/||、CD▶/|| キーを押すとディスクの再生が始まります。ディスクが入っていない場合は、"NO DISC" ディスク と表示します。

CDを選んだとき



- volume +
音量を下げる 音量を上げる



3 音量を調整する

- リモコンの ボリューム VOLUME キーでも同様の操作ができます。 音量の表示
- 表示部に目安の数字を表示します。 VOLUME 17

一時的に音を消す (MUTE)

リモコンのみ



- もう一度押しすと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

ヘッドホンで聴く

- ① ヘッドホンのプラグをphones端子に差し込む



- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

- ② volumeつまみまたはリモコンのVOLUMEキーで音量を調整する

音質の調整 (TONE)

リモコンのみ

低音域 (BASS)、中音域 (MID)、高音域 (TREBLE) の調整ができます。調整をした場合はN.B. (ナチュラルバス) 効果は解除されます。

- ① TONEキーを押して"BASS"の設定にする
VOLUMEキーでお好みのレベルを設定してください。



BASS +2

- ② "BASS"表示中にTONEキーを押して"MID"の設定にする
VOLUMEキーでお好みのレベルを設定してください。

- ③ "MID"表示中にTONEキーを押して"TREBLE"の設定にする
VOLUMEキーでお好みのレベルを設定してください。

- ④ TONEキーを押して、調整を終了する

- BASS、MID、TREBLEともに-4 ~ +4の範囲で調整できます。

低音と高音を補正する (N.B. : Natural Bass circuit)

リモコンのみ

SOUND



押すたびに表示が切り換わります。

- "N.B.1" 音量に応じて低音と高音を強調します。
- "N.B.2" 低音のみ強調します。
- "S.DIRECT" CDやMDなどソース (音源) の音を、本機の音質調整回路を通さずに、なるべく原音に忠実に聴くことができます。
- 消灯 音質調整された音を聴くことができます。

バランスの調整 (BALANCE)

左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

- ① modeキーを押す

mode



- ② multi controlキーを押して"BALANCE?"を選び、setキーを押す



BALANCE

- S.DIRECTを選んでいるときは、調整できません。"X"と表示されます。"設定モードの表示について"-41

- ③ multi controlキーを押して、左右のバランスを調整する



- ▲ (アップ) キーで右 (R) チャンネル側、▼ (ダウン) キーで左 (L) チャンネル側にカーソルを調整します。バランス中央値は "+" と表示しています。

- ④ setまたはenterキーを押す

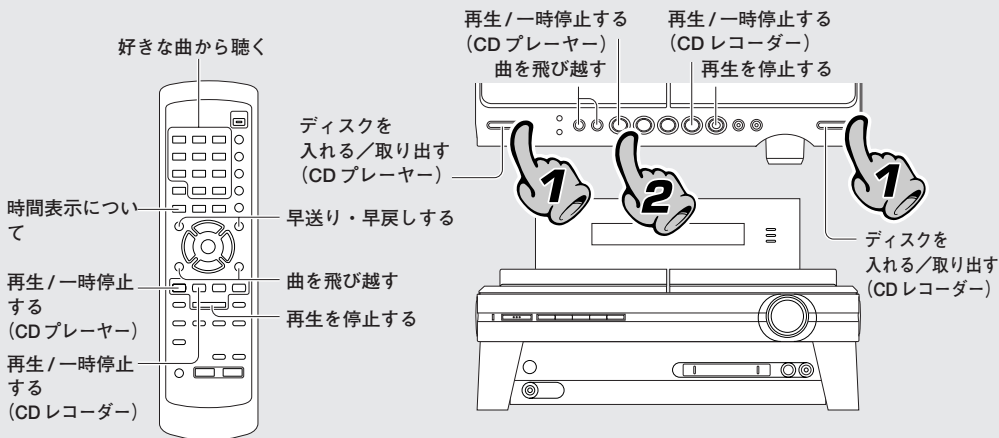
set

または

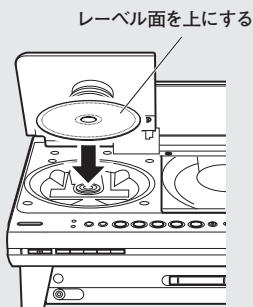
enter



CDプレーヤー、CDレコーダーのどちらでも聴くことができます。



1 ディスクを入れる



再生面には、触れないでください

- ① CDプレーヤーまたはCDレコーダーのカバー開閉(▲)キーを押してカバーを開ける
- ② ディスクを入れる
- ③ CDプレーヤーまたはCDレコーダーのカバー開閉(▲)キーを押してカバーを閉める

カバーは直接手で閉めないでください。無理にカバーを閉めると故障の原因となります。

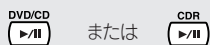
- 入力切り換えが"CD"のとき"CD READING"^{リーディング}、入力切り換えが"CDR"のとき"CDR READING"^{リーディング}としばらく点滅表示します。
- 8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。
- ファイナライズ処理をしていないCD-R/RWはCDプレーヤーでは再生できません(→31)。CDレコーダーでお聴きください。

2 再生をはじめめる(入力が"CD"、"CDR"に切り換わります)

- CDプレーヤーで再生するときはDVD/CD▶/⏮▶キーを押します。CDレコーダーで再生するときはCD▶/▶▶キーを押します。

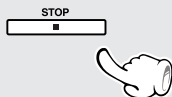


再生/一時停止する



- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を停止する



好きな曲から聴く

リモコンのみ

曲を選ぶ



数字キーを押す順序は

12曲目なら +10, 2

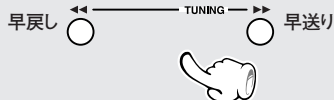
20曲目なら +10, +10, 0

- 数字キーを押すと、自動的に再生が始まります。

早送り・早戻しする

リモコンのみ

再生中にキーを押し続ける



- 手を離れたところから再生します。
- 一時停止中の早送り、早戻しは音が出ません。

CDテキスト機能について

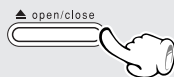
本機では、CDテキスト対応のディスクを再生すると、CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。CDテキスト対応のディスクでも表示できないものもあります。表示できる文字数は255文字までです。

曲を飛び越す



- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
- さらに手前の曲にスキップするときは素早く◀◀キーを押します。
- 停止中でも◀◀、▶▶キーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生が始まります。

ディスクを取り出す



CDプレーヤー、CDレコーダーの時間表示について(リモコンのみ)

TIMEキーを押すたびに表示が切り換わります。

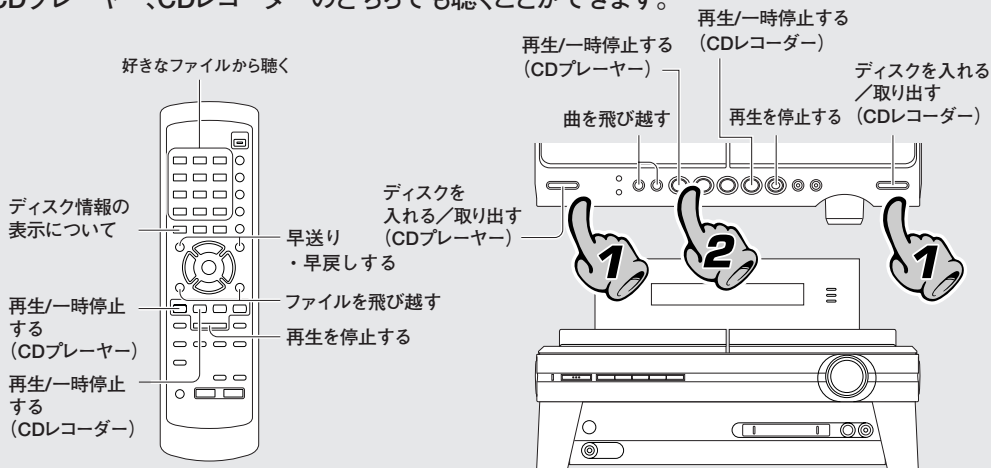
曲の経過時間	02	0:07
曲の残り時間	02	-4:53
ディスク全体の経過時間	02	5:07 TOTAL
ディスク全体の残り時間	02	-54:53 TOTAL
ディスクの録音可能残り時間	02	14:00 REMAIN
CDテキスト情報表示	02	SATISFACTI

- CDテキスト情報表示は再生中は曲のタイトルを、停止中はディスクタイトルを表示します。
- プログラム再生などで、トータル1000分以上になると" -: -:"と表示し時間表示ができません。
- CDテキスト情報表示はCDテキスト対応ディスクではない場合や、テキストデータの無いディスクの場合"....."と表示します。

MP3、WMA、WAVEファイルの再生について

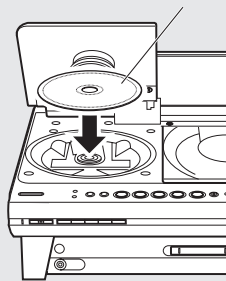
MP3、WMA、WAVE収録ディスクは階層構造を持ったフォルダーから構成されており、ファイルはフォルダーに含まれています。— 32

CDプレーヤー、CDレコーダーのどちらでも聴くことができます。



オーディオを単独で使用する

レーベル面を上にする



再生面には、触れないでください

1 ディスクを入れる

- ① CDプレーヤーまたはCDレコーダーのカバー開閉(▲)キーを押してカバーを開ける
- ② ディスクを入れる
- ③ CDプレーヤーまたはCDレコーダーのカバー開閉(▲)キーを押してカバーを閉める

カバーは直接手で閉めないでください。無理にカバーを閉めると故障の原因となります。

- 入力切り換えが"CD"のとき"CD READING"^{リーディング}と、入力切り換えが"CDR"のとき"CDR READING"としばらく点滅表示します。
- MP3、WMA、WAVE収録ディスクは、確認のため再生できるようになるまで時間がかかります。特にパケットライト方式で書き込みを行ったディスクは再生できるようになるまで時間がかかります。
- 8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。

基本操作編

2 再生をはじめる (入力が"CD"または"CDR"に切り換わります)

- CDプレーヤーで再生するときはDVD/CD/▶||キーを押します。CDレコーダーで再生するときはCDR/▶||キーを押します。



再生中のファイル番号 再生中のファイルの経過時間

- ファイルはファイル番号順で再生します。
- WMAディスクで著作権管理が有効に設定されているファイル"PROTECTED"と表示し、次のファイルが再生します。

プロテクト

DVD/CD



または

CDR

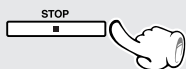


再生/一時停止する



- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を停止する



好きなファイルから聴く

リモコンのみ

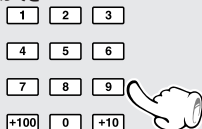
聴くファイルの含まれているフォルダーを選んでから、ファイル番号を数字キーで選ぶ

フォルダーの選びかた

フォルダーサーチでフォルダーを選ぶ → [49]

フォルダーセレクトでフォルダーを選ぶ → [60]

ファイルの選びかた



数字キーを押す順序は

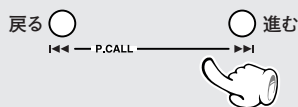
ファイル番号12を選ぶ +10, 2

ファイル番号20を選ぶ +10, +10, 0

ファイル番号213を選ぶ +100, +100, +10, 3

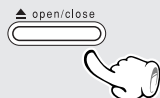
- 数字キーを押すと、自動的に再生が始まります。

ファイルを飛び越す



- 押した方向に飛び越して、選んだファイルの最初から再生します。
- 再生中に◀◀キーを押すと、そのファイルの最初に戻ります。
- さらに手前のファイルにスキップするときは素早く◀◀キーを押します。
- 停止中でも◀◀、▶▶キーを押してファイルをスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生が始まります。

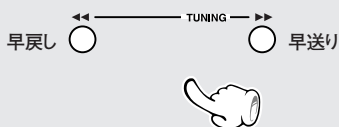
ディスクを取り出す



早送り・早戻りする

リモコンのみ

再生中にキーを押し続ける



- 手を離したところから再生します。
- 早送り(早戻し)中に次のファイル(前のファイル)になったときは通常の再生になります。

MP3, WMA, WAVE収録ディスク情報の表示について

リモコンのみ

TIMEキーを押すたびに表示が切り換わります。

停止中

時間表示

001 0:00

フォルダータイトル

My Favorite So

再生中

ファイルの経過時間

001 3:15

ファイルタイトル

001 No1.mp3

または

001 No1.wma

または

001 No1.wav

TAG情報(タイトル)

001 No1 TAG

TAG情報(アーティスト)

001 Dolphins TAG

再生中のフォルダータイトル

001 My Favorit

- ".mp3"、".wma"、".wav"はそれぞれMP3、WMA、WAVEのファイルであることを表示しています。
- TAG情報(タイトル)が表示するときは、タイトル名の前に"TITLE:"がつきます。(→[34])
- TAG情報(アーティスト)が表示するときは、アーティスト名の前に"ARTIST:"がつきます。(→[34])

フォルダーサーチして再生する

フォルダーを次々と送り(サーチ)、聴きたいフォルダータイトルを探して再生することができます。収録された順にフォルダーがサーチし、サーチしたフォルダー以降の全ファイルを再生します。

再生中または停止中に▲、▼キーを押して聴きたいフォルダータイトルを選ぶ

前のフォルダーに戻る



次のフォルダーに進む

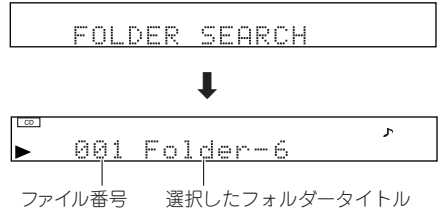
- ▲キーを押すと、前のフォルダーに戻ります。
- ▼キーを押すと、次のフォルダーに進みます。
- 本体のmulti controlキーでも操作できます。

停止中にフォルダーを選んだときは:

▶||キーを押して再生する



- "FOLDER SEARCH"と表示され、フォルダーが選択されます。



- 選択したフォルダータイトルを表示し、そのフォルダーの最初のファイルから再生が始まります(再生中に操作したとき)。
- ファイル番号は停止中に操作したときには表示しません。
- フォルダーの次の階層にファイルがないフォルダーは選択できません。
- TIMEキーを押して、ディスクについての情報を見ることができます。(→48)

- パケットライト方式で書き込みを行ったディスクはフォルダー情報の読み取りに時間がかかり、"FOLDER SEARCH"と表示される時間が長い場合があります。

ファイル"♪"およびフォルダー"□"の表示について

MP3, WMA, WAVE収録ディスク使用時、ファイル"♪"およびフォルダー"□"は次のように点灯します。

♪ : ディスクにファイルがあるときに点灯します。

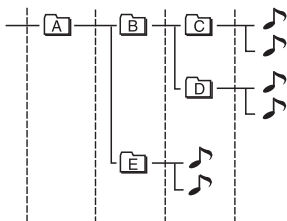
□ : 選択したフォルダーの中に別のフォルダーがあるときに点灯します。

フォルダーセレクト操作(→50)によるフォルダー選択中の表示:

♪ : 選択したフォルダーの中にファイルがあるときに点灯します。ファイルがないときは"NO FILE"と表示されます。

□ : 選択したフォルダーの中に別のフォルダーがあるときに点灯します。

(例)



フォルダーAを選択したとき、中に含まれるフォルダーはB, C, D, Eです。
フォルダーBを選択したとき、中に含まれるフォルダーはC, Dです。

フォルダーセレクトして再生する

聴きたいフォルダータイトルを選択して再生することができます。選択したフォルダー以降の全ファイルを再生します。

① FOLDER SEL.キーを押す

FOLDER SEL.



② ◀、▶および▲、▼キーを押してフォルダータイトルを選ぶ



フォルダーの選びかたは、このページの"◀、▶、▲、▼キー操作によるフォルダーの選びかた"をお読みください。

③ SETキーを押して再生する

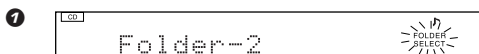


◀、▶、▲、▼キー操作によるフォルダーの選びかた

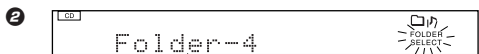
フォルダーは、次のように◀、▶、▲、▼キーの操作でフォルダーを選択します。

- ◀キーを押すと前の階層のフォルダーに戻り、▶キーを押すと次の階層のフォルダーに進みます。
- ▲キーを押すと同一階層の前のフォルダーにジャンプし、▼キーを押すと同一階層の次ぎのフォルダー側にジャンプします。本体のmulti controlキーでも操作できます。
- 選択したフォルダーの中にファイルがあるときは、"♪"が点灯し、ファイルがないときは、"NO FILE"と表示します。
- 選択したフォルダーの中に別のフォルダーがあるときは、"□"が点灯します。
- フォルダーセレクトをキャンセルしたいときは、FOLDER SEL.キーをもう一度押して、"FOLDER SELECT"を消灯させます。

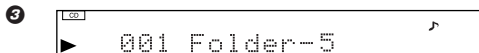
✕ ④ パケットライト方式で書き込みを行ったディスクはフォルダーが選択されるまで時間がかかる場合があります。



- "FOLDER SELECT"が点滅します。
- ROOTフォルダー以外にフォルダーがないディスクでは、手順②のキー操作はできません。SETキーを押すとディスクの全ての曲を再生します。



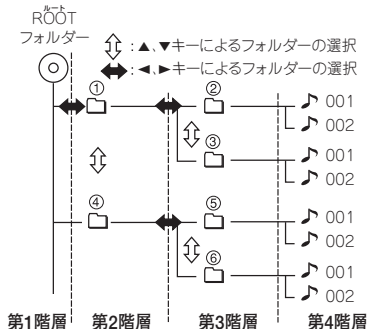
選択したフォルダーのタイトル



ファイル番号 再生中のファイルのフォルダータイトル

- 選択したフォルダーの最初のファイルから再生が始まります(フォルダーセレクトは解除になります)。
- 再生中はTIMEキーを押して、ディスクについての情報を見ることができます。(→49)

MP3, WMA, WAVE収録ディスクが下図の構成の場合、フォルダーは次のように選択します。フォルダー①から③を選ぶには▶、▼の順でキーを押します。フォルダー③から①に戻るには、◀キーを押して直接戻るか▲、◀の順でキーを押してフォルダー②を経由して戻ります。フォルダー④が選ばれているとき▲キーを押すとフォルダー①に、◀キーを押すとROOTフォルダーに戻ります。フォルダー③から⑤を選ぶときには、フォルダー①、④を経由して選びます。



聴きたいフォルダーだけを再生する(フォルダー再生モード)

聴きたいフォルダータイトルを探し、そのフォルダー内のファイルだけを再生することができます。

- ① 再生中または停止中にP.MODEキーを押して
"FOLDER"を点灯させる



- ② ▲、▼キーを押して聴きたいフォルダータイトルを
選ぶ

前のフォルダーへ戻る



次のフォルダーに進む



- ▲キーを押すと、前のフォルダーに戻ります。
- ▼キーを押すと、次のフォルダーに進みます。
- 本体のmulti controlキーでも操作できます。

停止中にフォルダーを選んだときは:

▶/IIキーを押して再生する



または



- ① 押すたびに表示が切り換わります。

"FOLDER"点灯
プログラム
"PGM"点灯 (停止中のとき)
フォルダー プログラム
"FOLDER"、"PGM"消灯

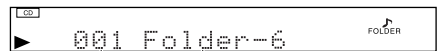
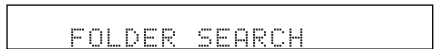


ファイル番号 現在のフォルダータイトル

- ファイル番号は停止中に操作したときには表示しません。

②

- "FOLDER SEARCH"と表示され、フォルダーが選択されます。



ファイル番号 選択したフォルダータイトル

- ファイル番号は停止中に操作したときには表示しません。
- 選択したフォルダータイトルを表示し、そのフォルダーの最初のファイルから再生が始まります。(再生中に操作したとき)
- フォルダーの次の階層にファイルがないフォルダーは選択できません。
- TIMEキーを押して、ディスクについての情報を見ることができます。(→49)
- 選択したフォルダーの再生を終了すると停止します。続けてフォルダーを選んで再生したいときは、手順②を繰り返します。

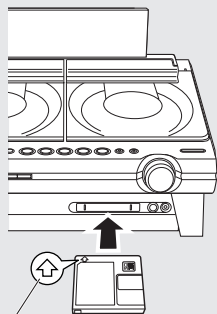
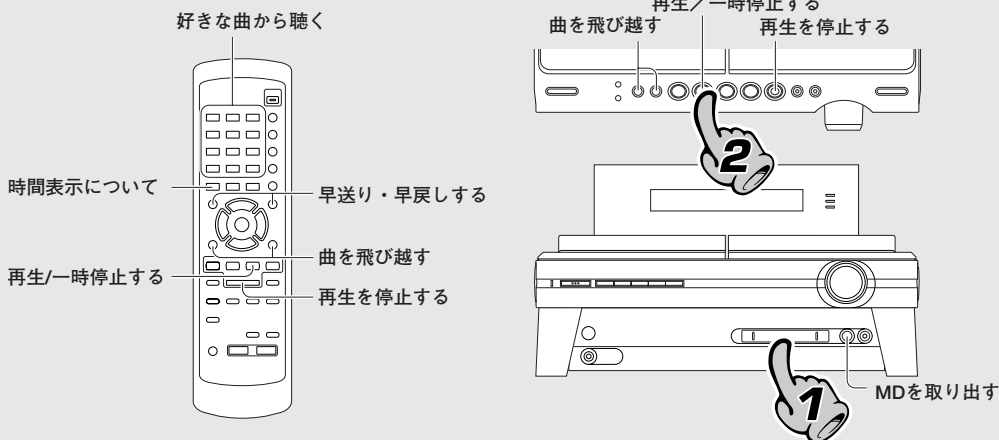
- パケットライト方式で書き込みを行ったディスクはフォルダー情報の読み取りに時間がかかり、"FOLDER SEARCH"と表示される時間が長い場合があります。

フォルダー再生モードを解除する

リモコンのみ

P.MODEキーを押して"FOLDER"表示を消灯させる





矢印の方向に入れる

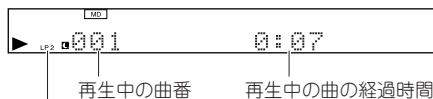
1 MDを入れる

MDの方向をよく確認して挿入してください。

- MD表示"**MD**"がしばらくの間点滅表示します。入力切り換えが"**MD**"のとき"**MD READING**"が同時にしばらくの間点滅表示します。

電源がオフ(スタンバイ)状態のときは、MDの出し入れはできません。スタンバイ状態のときに無理にMDを入れないでください。故障の原因となります。

2 再生をはじめると(入力が"MD"に切り換わります)



MDを再生するとその曲の録音モード(MD RECORDING MODE)が自動で認識され、表示します(LP2、LP4、MONO)。また、ステレオ録音モード(STEREO)のときは表示は消灯します。→[69]

再生/一時停止する



- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

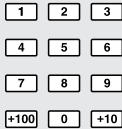
再生を停止する



好きな曲から聴く

リモコンのみ

曲を選ぶ



数字キーを押す順序は

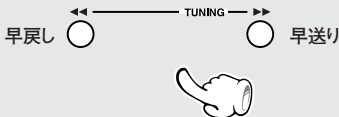
- 12曲目なら +10, 2
 20曲目なら +10, +10, 0
 213曲目なら +100, +100, +10, +10, 3

- 数字キーを押すと、自動的に再生が始まります。

早送り・早戻しする

リモコンのみ

再生中に押し続ける



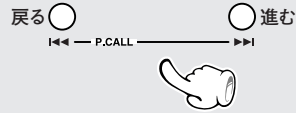
- 手を離れたところから再生します。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり音が出ません。

MDを取り出す



- MDを、取り出したまま、挿入口に放置しないでください。

曲を飛び越す



- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
- さらに手前の曲にスキップするときは素早く◀◀キーを押します。
- 停止中でも◀◀、▶▶キーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生が始まります。

MDレコーダーの時間表示について

リモコンのみ

TIMEキーを押すたびに表示が切り換わります。

曲の経過時間	002	0:07
曲の残り時間	002	-4:53
ディスク全体の経過時間 (グループ再生中はグループ全体の経過時間)	002	5:02 <small>TOTAL</small>
ディスク全体の残り時間 (グループ再生中はグループ全体の再生残り時間)	002	-54:53 <small>TOTAL</small>
録音可能残り時間 設定されている録音モード(MD RECORDING MODE)で(9)での録音可能時間を表示します。	002	14:00 <small>REMAIN</small>
タイトル表示	002 M ₁ MD tit1	

- タイトル表示は再生中はトラックタイトルを、停止中はディスクタイトルを表示します。
- タイトル表示はタイトルが入力されてないときは、"....."と表示します。
- プログラム再生などで、トータル1000分以上になると"-.:--"と表示し時間表示ができません。

オーディオ単独での機能ではMDにタイトルを入力することはできません。ミュージックアプリケーションStage Masterでタイトルを入力してください。

聴きたいグループだけを再生する(グループ再生モード)

グループを登録(→93)したMDは、聴きたいグループタイトルを探し、そのグループだけを再生することができます。

オーディオ単独での機能ではMDにタイトルを入力することはできません。ミュージックアプリケーション^{ステージ} Masterでタイトルを入力してください。

- 1 停止中にP.MODEキーを押して""(MDグループ)を点灯させる



- 2 ▲、▼キーを押して聴きたいグループタイトルを選ぶ

前のグループに戻る



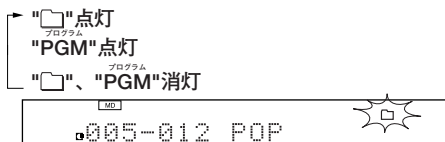
次のグループに進む

- ▲キーを押すと、前のグループに戻ります。
- ▼キーを押すと、次のグループに進みます。
- 本体のmulti controlキーでも操作できます。

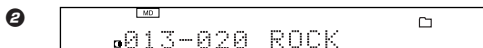
- 3 MD▶/IIキーを押して再生する



- 1 押すたびに表示が切り換わります。



グループに含まれる 現在のグループ
曲番号 タイトル



グループに含まれる 選択したグループ
曲番号 タイトル

- 選択したグループにタイトルがつけられていないときは"GROUP.."(●は2桁の数字)と表示します。

- 3
 - TIMEキーを押して、MDについての情報を見ることができます。(→93)
 - 選択したグループの再生を終了すると、そのグループの最初の曲に戻って停止します。続けてグループを選んで再生したいときは、手順②を繰り返します。
 - 再生中でも手順②の操作で、他のグループを選ぶことができます。選択したグループの最初の曲から再生が始まります。

グループ再生モードを解除する

リモコンのみ

停止中にP.MODEキーを押して""および"PGM"を消灯させる



放送局を1局ずつ記憶させる (3)

ディスプレイ表示の
切り換えについて

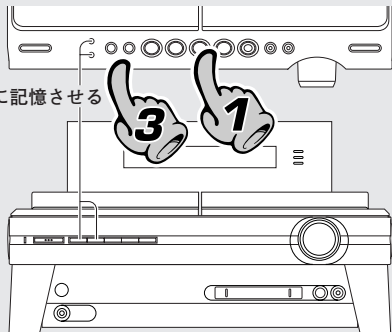
放送局を1局ずつ
記憶させる (2, 4)



放送局を自動的に記憶させる
記憶させていない放送
曲を聴く (1)
記憶させていない放送局を
聴く (2)

放送局を呼び出す/放送曲
を1局ずつ記憶させる (3)

チューナーを選ぶ/
バンドを切り換える



Tuner



1 入力をチューナーにする

放送バンドは、Tuner/bandキー押すたびに切り換わります。

FM
AM

2 放送局を記憶させる

放送局を自動的に記憶させる (オートプリセット)

- 56

お住まいの都道府県名を設定すると、お住まいの近くで受信できる放送局が自動的にプリセット (記憶) されます。これらの放送局を受信すると、放送局名 (FM 放送のみ) を表示します。

- 一度オートプリセットで記憶させておくと、転居される場合や改めて全局記憶させる場合を除き、次回からオートプリセットする必要はありません。
- ミュージックアプリケーション Stage Master ステージマスター でも放送局を記憶させることもできます。

放送局を1局ずつ記憶させる (マニュアルプリセット)

- 59

放送局を記憶させなくても選局できます。詳しくは「記憶させていない放送局を聴く (オート選局、マニュアル選局)」をお読みください。

- 58

3 放送局を呼び出す (プリセットコール)

オートプリセットまたはマニュアルプリセットで放送局を記憶させている場合、**◀◀▶▶**キーを押して選局します。押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

- ▶▶キーを押すと
1 → 2 → 3 38 → 39 → 40 → 1
- ◀◀キーを押すと
40 → 39 → 38 3 → 2 → 1 → 40.....

- リモコンでは、**◀◀▶▶**キーあるいは数字キーを押して選局します。

数字キーを押す順序は

12番目なら +10, 2 20番目なら ... +10, +10, 0

受信すると「**TUNED**」
表示が点灯します。



プリセット番号
(プリセットされているとき)



放送局を自動的に記憶させる(オートプリセット)(エリア別FM放送局名自動表示)

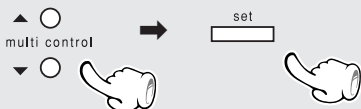
- ① Tuner/band キーを押して入力をチューナーにする



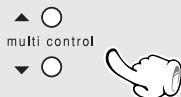
- ② mode キーを押す



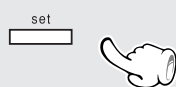
- ③ multi control キーを押して"ケンメイセツテイ?"を選び set キーを押す



- ④ multi control キーを押して、お住まいの都道府県名を選ぶ



- ⑤ set キーを押す

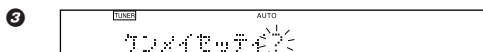


- ① オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。

放送局名表示は"エリア別FM放送局名自動表示リスト"(-57)に載っているFM放送局のみに対応しています。

オートプリセットで放送局が記憶されないときは、マニュアルプリセットで記憶させてください。(-58)

- オートプリセット中は他の操作をしないでください。



- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を設定していない場合は、"ケンメイセツテイ"と表示されます。

- ④ "トウキョウ"を選択したとき



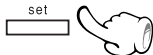
- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を設定したときは、"エリア別FM放送局名自動表示リスト"に従ってオートプリセットされます。 (-57)



- "AUTO PRESET"がスクロールして順次FM局をメモリーして、次にAM局をメモリーします。
- リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。
- 受信中の周波数の放送局名が設定されていない場合、および"TUNED"表示が点灯していない場合は、放送局名は表示しません。
- オートプリセットが終了と、一番最初にオートプリセットした放送局名が表示します。
- オートプリセットをおこなうと、今までに記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。

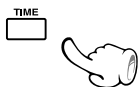
希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、setキーを押して隣接する地域(都道府県)のリストにある別の放送局名にかえることができます。押す度に切り換わります。隣接する地域(都道府県)に該当する放送局がない場合は切り換わりません。



ディスプレイ表示の切り換えについて(リモコンのみ)

オートプリセットしたFM局の表示を切り換えます。



TIMEキーを押すたびに切り換わります。

受信バンド・放送局名

TUNER AUTO (ST.) TUNED
01 InterFM

- 放送局名を表示します。

受信バンド・周波数

TUNER AUTO (ST.) TUNED
01 FM 76.1

エリア別FM放送局名自動表示リスト

2001年6月現在

放送局		表示名	放送局		表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM	中部地方	エフエム愛知	FM AICHI
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G'		エフエム名古屋	ZIP - FM
	エフエム・ノースウェーブ	north wave		愛知国際放送	RADIO-i
				岐阜エフエム放送	FMギフ
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ	近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム岩手	FMイワテ		エフエム京都	アルファStation
	エフエム仙台	Date fm		エフエム滋賀	E - Radio
	エフエム秋田	Co - much FM		エフエム大阪	fm osaka
	エフエム山形	BOY FMヤマガタ		エフエムはちまるに	FM802
	エフエム福島	フクシマFM		関西インターメディア	FM CO・CO・LO
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM	
	エフエムジャパン	J - WAVE	エフエム山陰	V - air	
	エフエムインターウェーブ	InterFM	岡山エフエム放送	FMオカヤマ	
	放送大学	ハウソウダイガク	広島エフエム放送	ヒロシマFM	
	エフエム群馬	FMゲンマ	エフエム山口	FMヤマグチ	
	エフエム栃木	RADIO BERRY	エフエム徳島	PassionWave	
	エフエム埼玉	NACK5	エフエム香川	FMカガワ	
	エフエムサウンド千葉	bayfm	エフエム愛媛	FMエヒメ	
	横浜エフエム放送	Fm yokohama	エフエム高知	FM KOCHI	
	エフエム富士	FM-FUJI	エフエム福岡	FM FUKUOKA	
中部地方	エフエムラジオ新潟	FMニイガタ	中国・四国地方	エフエム九州	CROSS FM
	新潟県民エフエム	FmPort.com		エフエム佐賀	FMサガ
	長野エフエム放送	FMナガノ		エフエム長崎	SMILE-FM
	北日本放送	KNBラジオ		エフエム中九州	FMK
	富山エフエム放送	FMトヤマ		エフエム大分	FM OITA
	エフエム石川	FM ISHIKAWA		エフエム宮崎	JOY - FM
	福井エフエム放送	FMフクイ		エフエム鹿児島	ミュ- FM
	静岡エフエム放送	K・MIX		エフエム沖縄	FM Okinawa
				NHK 第一	NHKラジオ1
		FEN 沖縄	FEN オキナワ		
		九州国際エフエム	Love FM		

記憶させていない放送局を聴く(オート選局、マニュアル選局)

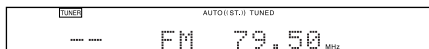
電波の強弱の状態により選局モードを選びます。

電波の状態が良いとき : オート選局モード

電波が弱く雑音が多いとき : マニュアル選局モード

- FM放送はマニュアル選局モードでは、モノラル受信となります。

オート選局のとき:



- 1 押すたびに表示が切り換わります。
 ↳ オート選局 "AUTO"表示点灯
 ↳ マニュアル選局... "AUTO"表示消灯
 (通常はオート選局にしておきます。)

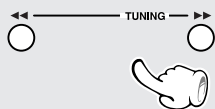
- 2 オート選局のとき:
 キーを押すごとに次々に受信します。
 マニュアル選局のとき:
 希望する放送局を受信するまで押します。

- オート選局中に止めたいときはリモコンのSTOP^{ストップ}■キー、または本体のstop^{ストップ}■キーを押します。

- 1 オート選局とマニュアル選局を切り換える(リモコンのみ)



- 2 選局をする
 周波数が下がる 周波数が上がる



放送局を1局ずつ記憶させる(マニュアルプリセット)

- 1 "記憶させていない放送局を聴く"の手順を行なって記憶させたい放送局を受信する

- 2 受信中にリモコンのENTER^{エンター}キーを押す



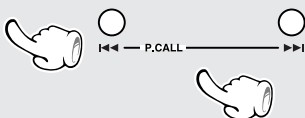
- 3 リモコンの◀◀、▶▶キーまたは数字キーで1~40までのプリセット番号を任意に選ぶ

1 2 3

4 5 6

7 8 9

+100 0 +10



数字キーを押す順序は

12番目なら +10, 2

20番目なら +10, +10, 0

- 4 ENTER^{エンター}キーを押す

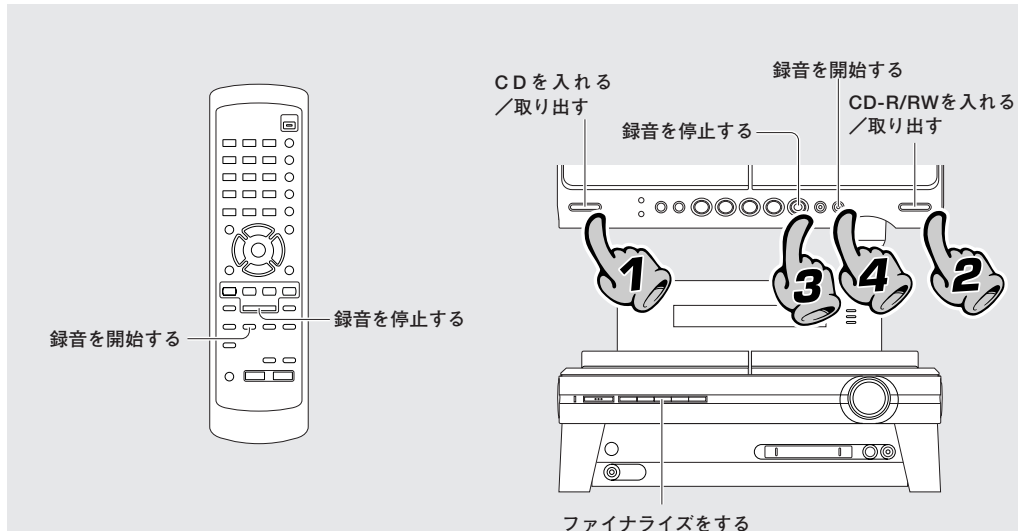


- 4
 - プリセットを続けるときは、手順①~④を繰り返します。
 - 同じ番号を重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。
 - 40を超えるプリセット番号は選択できません。操作中に約20秒放置すると、プリセットは中止されます。

CDをCD-R/RWに録音する(ワンタッチエディット録音)

CDの全曲をワンタッチでCD-R/RWに4倍速でデジタル録音(全曲録音)ができます。

今聴いている曲をワンタッチで曲の始めから録音(1曲録音)することもできます。→[62]
ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります("デジタル録音とSCMSについて"→[62])。MP3、WMA、WAVE収録ディスクからは録音はできません。
録音中はCDの再生音は聴こえません。



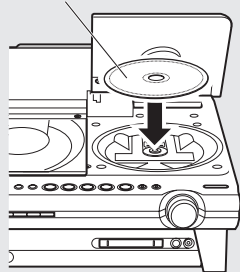
1 CDプレーヤーに録音元のCDを入れる

- 1 CDプレーヤーのカバー開閉(▲)キーを押してカバーを開ける
- 2 CDを入れる
- 3 CDプレーヤーのカバー開閉(▲)キーを押してカバーを閉める

カバーは直接手で閉めないでください。無理にカバーを閉めると故障の原因となります。

- 入力切り換えが"CD"のとき、"CD READING"^{リディング}としばらく点滅表示します。
- CD-TEXTディスクなどのテキスト情報が入っているディスクを録音するときには、テキスト情報も自動的にCD-R/RWに記録することができます。コピーするときは、CDテキストコピー機能をONにしてください。→[63]

レーベル面を上にする



録音面には、触れないでください

2 CDレコーダーにCD-R/RWを入れる

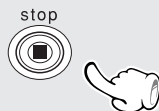
- 1 CDレコーダーのカバー開閉(▲)キーを押してカバーを開ける
- 2 録音可能なCD-RまたはCD-RWを入れる
- 3 CDレコーダーのカバー開閉(▲)キーを押してカバーを閉める

カバーは直接手で閉めないでください。無理にカバーを閉めると故障の原因となります。

- 入力切り換えが"CD-R"のとき、"CD-R READING"^{リーディング}としばらく点滅表示します。
- CD-R/RWにキズ、ホコリなどが無いが確認してください。
- CD-R/RWがすでに録音されている場合、最終トラックの最後を自動的に検索し、そこから録音を開始します。
- CD-RWを入れて"**FINALIZED CD-RW**"^{ファイナライズ}と表示されたときは録音できません。追加録音したいときは、アンファイナライズ処理をしてください。-⑩⑨

3 CDの再生状態を確認する

再生中のときは停止させる



本体で操作するときは



リモコンで操作するときは



表示部にメッセージが表示され録音できないときは-⑩⑧

4 録音を始める

- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 録音元のディスクの再生時間が録音側の録音可能な残り時間を超えている場合は、録音可能な時間だけ録音します。

録音終了後"**FINALIZE OK?**"^{ファイナライズ}と表示されたら手順④の操作を行ない録音を終了させます。表示されなければ手順④の操作は必要ありません。

ファイナライズするとき

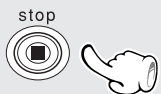
エンター
enterキーを押す



ファイナライズ処理中は、ファイナライズ完了までのおおよその時間を表示します。ファイナライズ処理が完了すると"**COMPLETE**"と表示し録音は終了します。

ファイナライズしないとき

ストップ
stopキーを押して終了する



5 録音を終了する

CDテキストコピー機能がON^{オン}のときは、ファイナライズを促すメッセージ"**FINALIZE OK?**"^{ファイナライズ}と表示されます。

コピーしたタイトルはファイナライズすることによってディスクに記録されますが、本機ではコピーしたタイトル情報を一時的に記憶する機能があります。録音終了後ファイナライズせず、つづけて他の曲を録音した後にファイナライズすればディスクにタイトルをコピーすることもできます。ただし、一時的に記憶したタイトル情報はCDレコーダーのドアを開けた時点で失われます。

- CDテキストコピー機能が"**ON**"^{オン}のときは、録音元のディスクにテキスト情報が無い場合でも"**FINALIZE OK?**"^{ファイナライズ}と表示します。


ファイナライズをすると、CD-Rは追加録音(記録)が一切できなくなりますがご注意ください。CD-RWも同様に追加録音(記録)ができなくなりますが、アンファイナライズをする(-⑩⑨)ことでファイナライズをする前の状態に戻すことができます。

録音する曲によっては、その曲の録音を始めてから74分以内に同じ曲の録音およびその曲を含むディスクの全曲録音ができない場合があります。このような場合、再び録音できるまでの時間が表示されます。

WAIT 74MIN.

録音中には振動や衝撃を加えないでください。

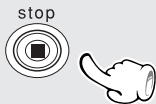
録音中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS(—)によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲は録音せず"SCMS"と表示し次のデジタル録音できる曲を録音します。



CD-RWのみ録音した曲を消去することができます。"CD-RWの録音消去"-[110](#)

録音を途中でやめるには



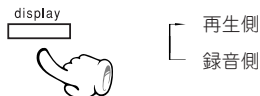
- 録音中に^{ストップ}stop■キーを押すとCDの再生も停止します。
- リモコンの^{ストップ}STOP■キーでも操作できます。

録音したCD-R/RWをファイナライズするには

-[108](#)

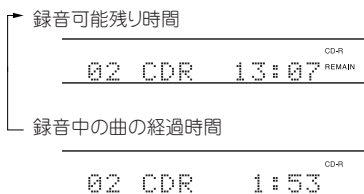
録音側の時間表示を切り換えるには

- ① ^{ディスプレイ}displayキーを押して、録音側のディスプレイ表示に切り換える



- キーを押すたびに表示が切り換わります。
- リモコンの^{ディスプレイ}DISPLAYキーでも切り換えることができます。

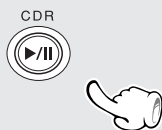
- ② ^{タイム}TIMEキーを押して、時間表示を切り換える



今聴いている曲を録音する(1曲録音)

CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初からCD-R/RWに4倍速でデジタル録音ができます。

① 録音したい曲を再生する

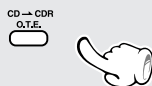


② 録音を始める

本体で操作するときは



リモコンで操作するときは



CD-TEXT ディスクなどのテキスト情報が入っているディスクを録音するときには、テキスト情報を自動的にCD-R/RWに記録することができます。コピーするときは、CDテキストコピー機能をONにしてください。→[63]

②

- 曲の途中で^{ワンタッチエディット}O.T.E.キーを押してもその曲の初めから録音が始まります。
- 録音中はCDの再生音は聴こえません。
- 録音が終了するとCDの再生は一時停止状態になり、最終曲のときは停止します。

CD-TEXTディスクなどのテキスト情報をコピーするには

CD-TEXTディスクなどのテキスト情報が入っているディスクを録音するときには、テキスト情報も自動的にCD-R/RWに記録することができます。初期値はOFF(コピーしない)に設定されています。コピーするときは、CDテキストコピー機能をONにしてください。

"ON"を選ぶと、ワンタッチエディットキーで全曲録音をしたときに、録音が終了すると"FINALIZE OK?"とファイナライズ処理を促すメッセージが表示されます。

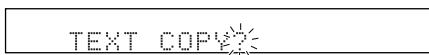
① modeキーを押す



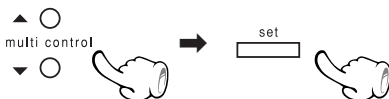
② multi controlキーで"TEXT COPY?"を選んでsetキーを押す



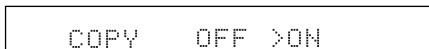
②



③ multi controlキーで"ON"を選び、setキーを押す



③ コピーする (ONを選択)



コピーしない (OFFを選択)



1曲録音、プログラム録音のときのテキスト情報について

CDテキスト機能がONのときは、1曲録音またはプログラム録音でも曲のタイトルをコピーしてディスクに記録することができます。ただし、この場合は録音が終了しても"FINALIZE OK?"は表示しませんがファイナライズすれば録音した曲のタイトルをディスクに記録します。(→108)

コピーしたタイトルはファイナライズすることによってディスクに記録されますが、本機ではコピーしたタイトル情報を一時的に記憶する機能があります。録音終了後ファイナライズせず、つづけて他の曲を録音した後にファイナライズすればディスクにタイトルをコピーすることもできます。ただし、一時的に記憶したタイトル情報はCDレコーダーのドアを開けた時点で失われます。

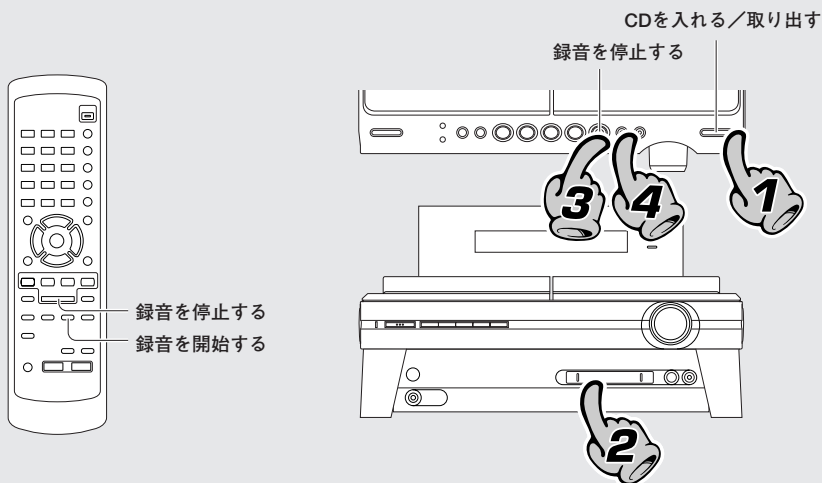


あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、権利者に無断では使用できません。

CDをMDに録音する(ワンタッチエディット録音)

CDの全曲(MP3、WMA、WAVE収録ディスクはディスク内の全ファイル)をワンタッチでMDに録音(全曲録音、全ファイル録音)ができます。

今聴いている曲(ファイル)をワンタッチで曲(ファイル)の始めから録音(1曲録音、1ファイル録音)やMP3、WMA、WAVE収録ディスクのフォルダーを選んで、選んだフォルダー内の全ファイルを録音(フォルダー録音)することもできます。-[67]
 CDの全曲や聴いている曲を倍速でデジタル録音することもできます("録音スピードを切り換える"-[68])。ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますがディスクによってはデジタル録音できないことがあります("デジタル録音とSCMSについて"-[83])。MP3、WMA、WAVE収録ディスクからは倍速録音できません。CDの途中の曲から録音するときや曲の途中から録音するときは、マニュアル録音で録音してください。-[84]



録音をする前に

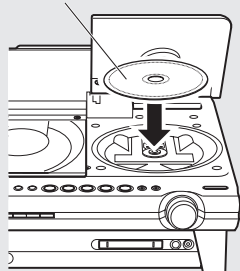
デジタル録音できない場合やアナログ録音するときは"デジタル録音、アナログ録音の切り換え"(-[70])でアナログ録音に切り換えたあと、手順⑦から操作を始めてください。

入力切り換えを"CDR"にして(-[43])、録音するディスクをCDレコーダーに入れると、現在設定されている状態が表示されます。

- 表示部に"HIGH"が点灯しているときは倍速デジタル録音に設定されています。通常速録音に切り換えてから(-[68])アナログ録音に切り換えてください。
- MP3、WMA、WAVE収録ディスクからはデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

DIGITAL	"DIGITAL"点灯	デジタル録音
	"DIGITAL"消灯	アナログ録音

レーベル面を上にする



再生面には、触れないでください

① CDレコーダーに録音元のCDを入れる

CDプレーヤーからMDにワンタッチエディット録音することはできません。

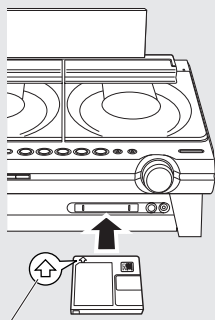
- CDレコーダーのカバー開閉(▲)キーを押してカバーを開ける
- CDを入れる
- CDレコーダーのカバー開閉(▲)キーを押してカバーを閉める

カバーは直接手で閉めないでください。無理にカバーを閉めると故障の原因となります。

- 入力切り換えが"CDR"のとき、"CDR READING"としばらく点滅表示します。

2 MDを入れる

MDの方向をよく確認して挿入してください。



矢印の方向に入れる

① 録音用MDの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする - [68]

② 録音用MDを入れる

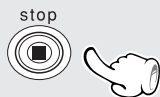
MD表示 (1) がしばらく点滅表示します。その後点灯表示にかわれば録音可能な状態になります。

- MDに長時間録音をしたいときは、録音モードを選択します。 - [69]
- 録音スピードを切り換えることができます。 - [68]
- デジタル録音、アナログ録音を切り換えることができます。 - [70]
- 全曲(全ファイル)録音のときは必要に応じて、MDグループ録音のON/OFFを切り換えます。 - [68]

電源がオフ(スタンバイ)状態のときは、MDの出し入れはできません。スタンバイ状態のときに無理にMDを入れないでください。故障の原因となります。

3 CDの再生状態を確認する

再生中のときは停止させる



- MP3、WMA、WAVE収録ディスクを録音するときは、"FOLDER"^{フォルダー}表示が消灯していることを確認してください。点灯しているときはP.MODE^{プレイモード}キーを繰り返し押して"FOLDER"表示を消灯させてください。

本体で操作するときは



リモコンで操作するときは



4 録音を始める

- CDの1曲目から録音が始まり、全曲を録音します。
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 録音元のディスクの再生時間が録音側の録音可能な残り時間を超えている場合は、録音可能な時間だけ録音します。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音(HIGH)を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

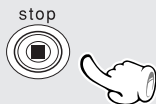
WAIT 74MIN.

続けて録音したい場合は、通常速録音(NORMAL)で録音してください。

"MD WRITING"^{書き込み中}点滅表示中は、録音や編集に関する情報をMDに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS(-)によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"SCMS"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

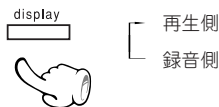
録音を途中でやめるには



- 録音中に^{ストップ}stop■キーを押すとCDの再生も停止します。
- リモコンの^{ストップ}STOP■キーでも操作できます。
- "MD WRITING"^{ライティング}が点滅し、MDに録音情報が書き込まれます。

録音側の時間表示を切り換えるには

- ① ^{ディスプレイ}displayキーを押して、録音側のディスプレイ表示に切り換える



- キーを押すたびに表示が切り換ります。
- リモコンの^{ディスプレイ}DISPLAYキーでも切り換えることができます。

- ② ^{タイム}TIMEキーを押して、時間表示を切り換える



今聴いている曲(ファイル)を録音する(1曲録音、1ファイル録音)

CDレコーダーでCDを再生しているときに、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初からMDに録音することができます。同様に、MP3、WMA、WAVE収録ディスクでも再生中のファイルをMDに録音することができます。

CDプレーヤーからMDにワンタッチエディット録音することはできません。

① 録音したい曲を再生する



② 録音を始める

本体で操作するとき



リモコンで操作するとき



- MDに長時間録音をしたいときは、録音モードを選択します。 → [69]
- オーディオCDからの録音では、録音スピードを切り換えて(→[66])録音することやデジタル録音、アナログ録音を切り換えて(→[70])録音することができます。

①

- MP3、WMA、WAVE収録ディスクでは、入力切り換えを"CD R"にして、フォルダーサーチ(→[49])またはフォルダーセレクト(→[60])でフォルダーを選んでから、◀◀、▶▶キーで録音したいファイルを選択して、再生することもできます。

②

- 曲(ファイル)の途中でO.T.E.キーを押しても、その曲(ファイル)の初めから録音が始まります。
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 録音が終了するとCDの再生は一時停止状態になり、最終曲のときは停止します。

MP3、WMA、WAVE収録ディスクのフォルダーを選んで録音する(フォルダー録音)

選択したフォルダー内の曲のみを録音することができます。

CDプレーヤーからMDにワンタッチエディット録音することはできません。

入力を"CD R"にして操作します。

- 再生中のときは停止させ、フォルダー再生モードの手順①、②で録音したいフォルダーを選ぶ → [51]



② 録音を始める

本体で操作するとき



リモコンで操作するとき



- MDに長時間録音をしたいときは、録音モードを選択します。 → [69]
- MDグループ録音"ON"にすると(→[68])、フォルダー内のファイルが1つのグループとして録音されます。

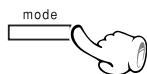
②

- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

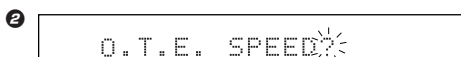
録音スピードを切り換える

録音スピードをNORMAL(通常速)とHIGH(倍速)に切り換えて録音することができます。倍速録音ではデジタル録音で録音します。録音をする前にスピードを切り換えてください。倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。MP3、WMA、WAVE収録ディスクからは倍速録音はできません、倍速録音に設定しても通常速でアナログ録音で録音します。

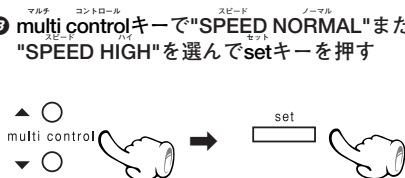
① modeキーを押す



② multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んでsetキーを押す



③ multi controlキーで"SPEED NORMAL"または"SPEED HIGH"を選んでsetキーを押す



- ③ 押すたびに文字表示部が切り換わります。
- ▶ SPEED NORMAL .. 通常速で録音する
 - ▶ SPEED HIGH 倍速で録音する(デジタル録音)

- "SPEED HIGH"を選ぶと、"HIGH"表示が点灯します。



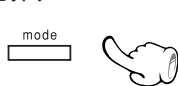
- O.T.E. SPEEDの設定ができない場合は、"X"が表示されます。

→ 41

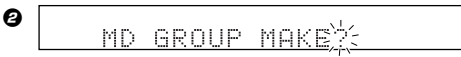
MDグループ録音ON/OFFを切り換える

グループ録音をONにすると、自動的にCDの全曲が1グループとしてMDに録音されます。MD長時間録音で複数枚のCDを1枚のMDに録音するとき便利です。グループ録音すると、グループ再生や編集などができます(→ 54・91)。初期値はON(グループ録音する)に設定されています。録音する前に切り換えてください。

① modeキーを押す



② multi controlキーで"MD GROUP MAKE ?"を選んでsetキーを押す



- ③ 押すたびに文字表示部が切り換わります。

- ▶ ONグループ録音をする
- ▶ OFF ...グループ録音をしない

ONのとき

GROUP OFF >ON

OFFのとき

GROUP >OFF ON

③ multi controlキーで"ON"または"OFF"を選び、setキーを押す



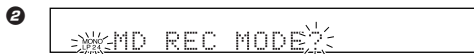
- グループ録音したMDを、グループ管理機能を搭載していない器機で編集(曲の移動、削除など)やタイトルの入力を行わないでください。

MDに長時間録音をする(MD REC MODE)

本機はMDのステレオ長時間録音に対応しています。必要に合わせて録音モードを切り換えて録音してください。録音操作をする前に切り換えてください。

また、ステレオ長時間録音(LP2、LP4)で録音するときのみ、曲のタイトルの始めの部分に"LP:"というタイトルを自動的に入力する、入力しないを選ぶことができます(MDスタンプ機能)。

- modeキーを押す
- multi controlキーを押して"MD REC MODE?"を選びsetキーを押す



- multi controlキーを押して録音したいモードを選び、setキーを押す

"STEREO"または"MONO"を選択したときは設定終了
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順④へ

- STEREO(ステレオ録音モード)
LP2(ステレオ2倍長時間録音モード)
LP4(ステレオ4倍長時間録音モード)
MONO(モノラル録音モード)

- multi controlキーを押してMDスタンプ機能の"ON"または"OFF"を選び、setキーまたはenterキーを押す

- ON ... 録音した曲に"LP:"というタイトルを自動的に入力する
OFF ... 録音した曲に"LP:"というタイトルを入力しない

MDにステレオ音声で録音する場合、長時間録音になるに連れて録音される音質が変化します。最も良い音質で録音したいときは、ステレオ録音モードで録音してください。

ONのとき
"LP:" OFF >ON

OFFのとき
"LP:" >OFF ON

レコーディング モード REC MODE(録音モード)	圧縮方式	最長録音時間 (80分MD使用時)	レコーディング モード REC MODE表示*2
STEREO(ステレオ録音モード)	ATRAC*1	約80分	消灯
LP2(ステレオ2倍長時間録音モード)	ATRAC 3-LP2	約160分	LP2
LP4(ステレオ4倍長時間録音モード)	ATRAC 3-LP4	約320分	LP4
MONO(モノラル録音モード)	ATRAC	約160分	MONO

*1 ... Adaptive Transform Acoustic Coding

*2 ... REC MODE表示は停止中または録音中は、設定されているモードを表示します。再生中はその曲の録音モードを表示します。

MDスタンプ機能について

本機でステレオ長時間録音(LP2/LP4)で録音された曲のタイトルの始めの部分に"LP:"を自動的につける機能です。"LP:"というタイトルはステレオ長時間モードに対応していない機器でステレオ長時間録音された曲を再生しているときだけ、タイトルとして表示されます。本機で再生したときには"LP:"は表示しません。

ステレオ長時間モードで録音したMDをステレオ長時間モードに対応していない機器で再生した場合

ステレオ長時間モードに対応していない機器でステレオ長時間録音した曲を再生すると再生状態にはなりませんが音は出ません(MDスタンプ機能を使っているときは、その曲のタイトルの始めの部分に"LP:"と表示されます)。これらの機器でステレオまたはモノラル録音とステレオ長時間録音された曲が混在しているMDを再生したときは、ステレオまたはモノラル録音された曲だけ音が出ます。

このようなMDを再生した場合、音が出ていないときに音量を上げすぎると、ステレオまたはモノラル録音された曲にかわったときに突然大きな音がでることになります。音量の上げすぎに注意してください。

異なる録音モードで録音した曲はMDの編集機能で制限があります。"曲をつなぐ(COMBINE)"-103

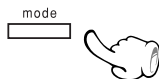
レコーディング インプット

デジタル録音、アナログ録音の切り換え(REC INPUT)

CDをCDレコーダーで再生してMDに録音するときは、デジタル信号のまま録音するデジタル録音とアナログ信号に一度変換して録音するアナログ録音を選ぶことができます。初期値はデジタル録音に設定されています。録音操作をする前に切り換えてください。

- ① CDレコーダーに録音するディスクを入れ、入力切り換えが"CDR"であることを確認する

- ② modeキーを押す



- ③ multi controlキーで"MD REC INPUT?"を選び、setキーを押す



- ④ multi controlキーで"DIGITAL"(デジタル録音)または"ANALOG"(アナログ録音)を選び、setキーまたはenterキーを押す

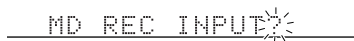


- ⑤ アナログ録音するときは、"HIGH"の消灯を確認する



- SCMS(-)によりデジタル録音できない場合があります。そのときは"ANALOG"に切り換えて録音してください。
- MP3、WMA、WAVE収録ディスクからはデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

③



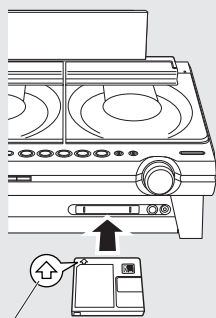
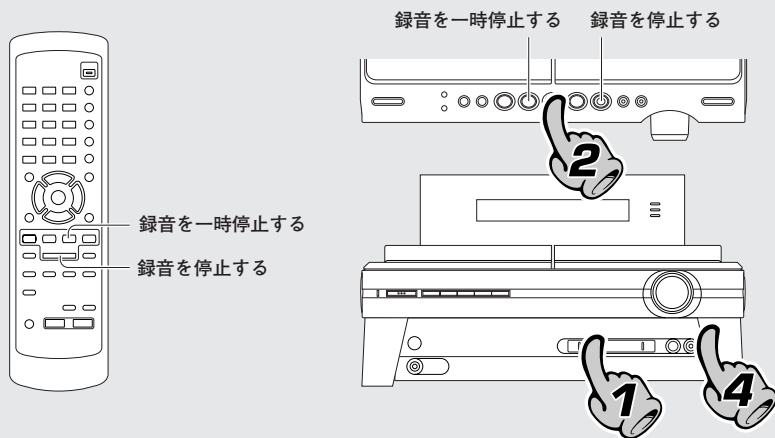
④

- "DIGITAL"(デジタル録音)を選ぶと"DIGITAL"表示が点灯し、"ANALOG"(アナログ録音)を選ぶと"DIGITAL"表示が消灯します。
- "ANALOG"(アナログ録音)を選択したときは、トラック番号の付けかたをかえることができます。
"トラック番号の設定をかえる"→[114]

⑤

- "HIGH"が点灯しているときは、倍速録音が選ばれています。倍速録音が選ばれているときは、アナログ録音に切り換えても、デジタルで倍速録音します。録音スピードを通常速録音に切り換えて"HIGH"を消灯してください。→[68]





矢印の方向に入れる

1 MDを入れる

MDの方向をよく確認して挿入してください。

- ① 録音用MDの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする - ①
- ② 録音用MDを入れる

- MD表示 (①) がしばらく点滅表示します。その後点灯表示にかわれば録音可能状態になります。
- 最長で通常の約4倍の長時間録音をすることができます。必要に応じて選んでください。(MD REC MODE)

- [69]

電源がオフ(スタンバイ)状態のときは、MDの出し入れはできません。スタンバイ状態のときに無理にMDを入れしないでください。故障の原因となります。

チューナー
TUNERを選ぶ場合

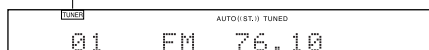
Tuner



2 録音するソース(音源)を選ぶ

- | | |
|-----------------------|------------------|
| チューナー
TUNER(ラジオ放送) | : チューナー バンドキーを押す |
| AUX(外部機器) | : aux/usbキーを押す |

選ばれた録音ソース



3 録音の準備をする

- TUNER(ラジオ放送) : 選局する → [55]
- AUX : 受信や再生などの準備をする → [112]

- "AUX" (外部機器) を選んだときは、入力 (録音) レベルを調整することができません。外部機器からの音声レベルが小さすぎる場合や大きすぎる場合など、必要に応じて調整してください。(AUX INPUT, REC GAIN → [113])

4 録音を始める



表示部にメッセージが表示され録音できないときは → [66]

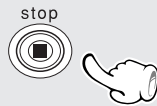
- ① MD recキーを押す (MD recインジケーターが点滅し、録音一時停止状態になります)
 - ② 準備ができていれば、もう一度MD recキーを押す (MD recインジケーターが点灯にかわり、録音が始まります)
 - ③ 外部入力の録音のときは、ソース (音源) の再生を始める
- 録音中、録音側の時間表示に切り換えることができます。"録音側の時間表示を切り換えるには" → [66]

録音を一時停止する



- MD recインジケーターが点滅します。
- 録音一時停止状態からもう一度キーを押すと、その時点から録音を再開します。このときトラック番号は"1"繰り上がります。
- リモコンのMD ▶/||キーでも操作できます。

録音を停止する



- "MD WRITING"が点滅し、MDに録音情報が書き込まれません。
- リモコンのSTOP■キーでも操作できます。

"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をMDに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

本機では、通常の再生の他に、次のような再生機能があります。用途に応じて選んでください。
再生機器によってはできない機能があります。

説明文中の **CD** **CDR** **MD** は、再生できる機器を示しています。

CD CDプレーヤー

CDR CDRレコーダー

MD MDレコーダー

曲順を並べ替えて聴くときは

プログラム再生 **CD** **CDR** **MD**

ディスクの中から好きな曲を、好きな順序で聴くことができます(最大32曲まで)。

- 74

MP3、WMA、WAVEプログラム再生 **CD** **CDR**

MP3、WMA、WAVE収録ディスクのフォルダーやフォルダー内のファイルを、好きな順序で聴くことができます(フォルダーとファイル合わせて最大32プログラムまで)。

- 76

繰り返し聴くときは

リピート再生 **CD** **CDR** **MD**

お気に入りの曲(MP3、WMA、WAVE収録ディスクはファイル)やディスクを繰り返し聴くことができます。-

78

フォルダーリピート再生 **CD** **CDR** (MP3、WMA、WAVE収録ディスクのみ)

MP3、WMA、WAVE収録ディスクのフォルダー内のファイルを繰り返し聴くことができます。

- 80

グループリピート再生 **MD**

MDのグループ内の曲を繰り返し聴くことができます。

- 81

曲順を順不同に楽しむときは

ランダム再生 **CD** **CDR** **MD**

毎回曲(MP3、WMA、WAVE収録ディスクはファイル)がランダムに選択されるので、飽きることなく楽しめます。-

82

フォルダーランダム再生 **CD** **CDR** (MP3、WMA、WAVE収録ディスクのみ)

MP3、WMA、WAVE収録ディスクのフォルダー内のファイルを、ランダムに聴くことができます。

- 83

グループランダム再生 **MD**

MDのグループ内の曲をランダムに聴くことができます。

- 83

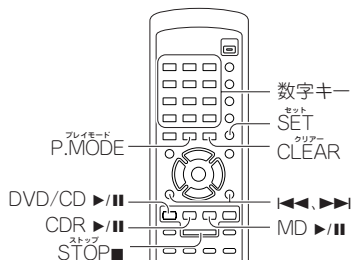
曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)

CD CDR MD

CDまたはMDの中から好きな曲を、好きな順序で聴くことができます(最大32曲まで)。

MP3、WMA、WAVE収録ディスクのプログラム再生については「曲順を並び替えて聴く(MP3、WMA、WAVEプログラム再生)」→76

CD-R/RWをCDプレーヤーで再生するときは、ファイナライズ(→79)する必要があります。



入力切り換えを再生に応じて"CD"、"CDR"、または"MD"にする→43

1 停止を確認する

再生中のとき

ストップ
STOP ■ キーを押す



2 "PGM"表示を点灯させる

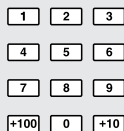
プレイモード P.MODE キーを繰り返し押しして "PGM" を点灯させる



3 聴きたい順に曲を選びプログラムする

① 数字キーで曲番号を選ぶ

20秒以内に手順②を行う



数字キーを押す順序は

12曲目なら..... +10, 2

20曲目なら..... +10, +10, 0

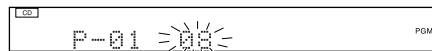
113曲目なら..... +100, +10, 3 (MDのとき)

② SETキーを押す

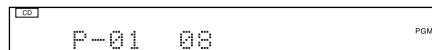


③ 手順①、②を繰り返す

① 選曲



② 確定



- 曲番号は◀▶キーでも選ぶことができます。
- 32曲まで選べます。"PGM FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 曲番号表示の点滅中にSETキーを押さないと入力した曲番号が無効になります。曲番号を選び直してください。

4 再生する

▶/||キーを押す



- プログラムで選んだ順(P番号順)に再生します。
- 再生中に◀▶または▶▶キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に◀◀キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。

曲を追加するには

停止中に操作します。

① 数字キーで追加したい曲番号を選ぶ



数字キーを押す順序は

12曲目なら +10, 2

20曲目なら +10, +10, 0

112曲目なら +100, +10, 2 (MDのとき)

② セット SETキーを押す



①



- 曲番号は◀◀、▶▶キーでも選ぶことができます。
- 32曲まで選べます。"PGM FULL"プログラムフルと表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 追加したい曲番号を選ぶとプログラムの最後に追加されます。

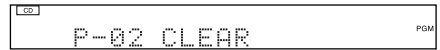
プログラムした曲を取り消すには

停止中に操作します。

① クリア CLEARキーを押す

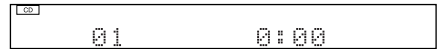


- クリア CLEARキーを押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。



プログラム再生を解除するには

① プレイモード P.MODEキーを押して"プログラムPGM"を消灯させる

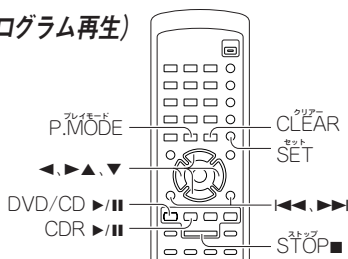


- CDとMDを組み合わせたプログラムはできません。
- 電源をオフ(スタンバイ)にする、または \blacktriangle open/closeオープン クローズ、 \blacktriangle ejectイジェクトキーを押すと設定したプログラム再生は解除されます。
- MDの録音操作をすると、MDのプログラム再生は解除されます。

曲順を並べ替えて聴く(MP3, WMA, WAVEプログラム再生)

CD CDR

MP3, WMA, WAVE収録ディスクのフォルダーおよびフォルダー内のファイルを、好きな順序で聴くことができます(フォルダーとファイル合わせて最大32プログラムまで)。



入力切り換えを再生に応じて"CD"または"CDR"にする → 43

1 停止を確認する

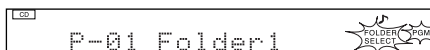
再生中のとき

ストップ
STOP ■ キーを押す



2 "PGM"表示を点灯させる

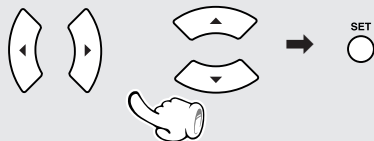
プレイモード プログラム
P.MODEキーを繰り返し押しして"PGM"を点灯させる



3 聴きたい順にフォルダー、ファイルを選びプログラムする

- ① ◀▶キーおよび▲▼キーを押して聴きたいフォルダーのタイトルを選びSETキーを押す

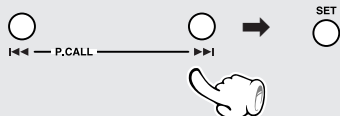
20秒以内に手順②を行う。



フォルダーの選びかたは、"◀▶、▲▼"キー操作によるフォルダーの選びかた"(- 43)をお読みください。

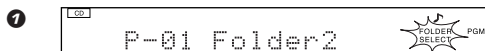
- ② ◀▶▶▶キーで選んだフォルダー内の聴きたいファイルタイトル、"FOLDER ONLY"または"FOLDER ALL"を選びSETキーを押す

20秒以内に手順③を行う。



- ③ 手順①～②を繰り返す。

手順①の操作をする前は、その時点で選ばれているフォルダーのタイトルを表示します。

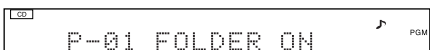


- 選択したフォルダーの中に別のフォルダーがあるときは"□"表示が点灯します。
- 選択したフォルダーの中にファイルがあるときは"▶"表示が点灯し、ファイルがないときは"NO FILE"と表示します。

- ② ◀▶▶▶キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。
ファイルのタイトル*

FOLDER ONLY フォルダー内の全ファイル
 FOLDER ALL 選んだフォルダーの下層に属する全フォルダー内の全ファイル

* ◀▶▶▶キーを押すたびにフォルダー内のファイルのタイトルを表示します。



FOLDER ONLYを選んだとき

- 選択したフォルダーの次の階層にファイルがないときは"FOLDER ALL"のみを表示し、次の階層にフォルダーがないときは"FOLDER ALL"は表示しません。
- フォルダーとファイル合わせて32プログラムまで選択することができます。

4 再生する

▶/||キーを押す



フォルダーまたはファイルを追加するには

停止中に操作します。

手順④を行い、フォルダーまたはファイルを選ぶ

プログラムしたフォルダーまたはファイルを取り消すには

停止中に操作します。

クリア
CLEARキーを押す



プログラム再生を解除するには

プレイモード
P.MODEキーを押して"プログラムPGM"表示を消灯させる



- プログラムで選んだ順(P番号順)に再生します。
- 再生中に◀◀または▶▶キーを押すと、プログラムした順にファイルを飛び越します。
- 再生中に◀◀キーを1回押すと、そのファイルの最初に戻ります。

- フォルダーとファイル合わせて32プログラムまで追加することができます。"プログラムPGM フルFULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けられません。

- クリアCLEARキーを押すたびに、最後にプログラムしたフォルダーまたはファイルから1つずつ消えていきます。



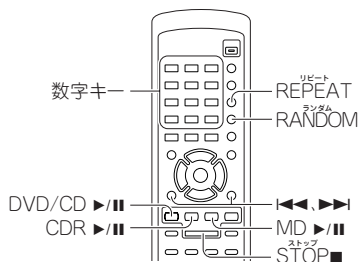
電源をオフ(スタンバイ)にする、または^{オープン}▲open/^{クローズ}closeキーを押すと設定したプログラム再生は解除されます。

繰り返し聴く(リピート再生)

CD CDR MD

お気に入りの曲(MP3、WMA、WAVE収録ディスクはファイル)やディスクを繰り返し聴くことができます。

CD-R/RWをCDプレーヤーで再生するときは、ファイナライズ(→108)する必要があります。



入力切り換えを再生に応じて"CD"、"CDR"または"MD"にする → 43

全曲を繰り返し聴く

① "FOLDER"および"PGM"表示の消灯を確認する

② REPEATキーを押して""表示を点灯させる



停止中に操作したときは：
▶/⏮キーを押して再生する



①

- 停止中、再生中にかかわらず操作できます。
- "FOLDER"または"PGM"表示が点灯しているときは、P.MODEキーを押して消灯させてください。

②

押すたびに表示が切り換わります。

- ▶ 点灯
- ▶ 点灯
- ▶ 消灯



1曲だけを繰り返し聴く

① "FOLDER"および"PGM"表示の消灯を確認する

② 数字キーまたは◀◀▶▶キーで聴きたい曲番号選ぶと再生が始まる



数字キーを押す順序は

- 12曲目なら +10, 2
- 20曲目なら +10, +10, 0
- 113曲目なら +100, +10, 3

③ REPEATキーを押して""表示を点灯させる



②

MP3、WMA、WAVE収録ディスクでは、次の操作でファイルを選び再生します。

- ◀◀、▶▶キーで聴きたいファイルを選びます。
- フォルダサーチ(→49)またはフォルダセレクト(→50)でフォルダを選んでから、数字キーまたは◀◀、▶▶キーで聴きたいファイルを選びます。

- MDのときは、グループ再生モードでも選ぶことができます(→54)。聴きたいグループを選んでから、◀◀、▶▶キーで曲を選びます。

③

押すたびに表示が切り換わります。

- ▶ 点灯
- ▶ 点灯
- ▶ 消灯







リピート再生をやめるには

REPEATキーを""表示が消えるまで繰り返し押し

- リピートをやめても再生を続けます。

選んだ曲だけを繰り返し聴く

- ① "曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順②までを行い、聴きたい曲をプログラムする→ → 
- ② REPEATキーを繰り返し押し""表示を点灯させる
- ③ /||キーを押して再生する

ランダムに繰り返し聴く(ランダムリピート)

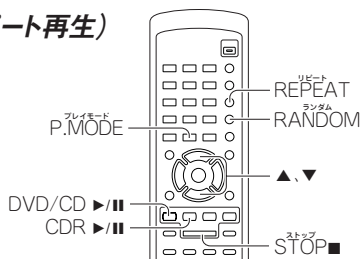
全曲リピート再生中に^{ランダム}RANDOMキーを押して"^{ランダム}RDM"表示を点灯させる

- ランダムリピートをやめるときは、^{ストップ}STOP■キーを押して"^{ランダム}RDM"表示を消灯させます。

繰り返しフォルダーを聴く (フォルダーリピート再生)

CD CDR

MP3, WMA, WAVE収録ディスクのフォルダーを選択してフォルダー内のファイルを繰り返し聴くことができます。



入力切り換えを再生に応じて"CD"または"CDR"にする → 43

フォルダーを繰り返し聴く

- ① P.MODEキーを押して"フォルダー"を点灯させる (フォルダー再生モードにする)



- ② ▲、▼を押してリピート再生したいフォルダーを選ぶ

前のフォルダーに戻る



次のフォルダーに進む

- ③ REPEATキーを押して"REPEAT"表示を点灯させる

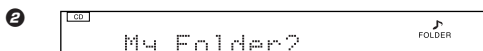


停止中に操作したときは：

▶/||キーを押して再生する

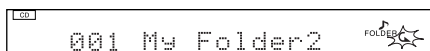


- ① ● 停止中、再生中にかかわらず操作できます。



- ③ 押すたびに表示が切り換わります。

→ ① 点灯
→ ② 点灯
消灯



フォルダーリピート再生をやめるには

REPEATキーを"REPEAT"表示が消えるまで繰り返し押す

- リピートをやめても再生を続けます。

ランダムに繰り返し聴く(ランダムリピート)

リピート再生中にRANDOMキーを押して"RDM"表示を点灯させる

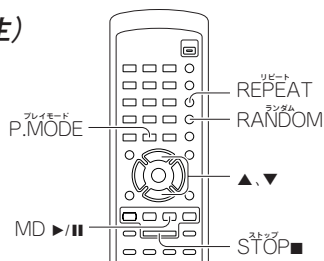
- 再生中のフォルダー内の全ファイルがランダムリピート再生されます。
- ランダムリピートをやめるときは、STOPキーを押して"RDM"表示を消灯させます。

繰り返しグループを聴く (グループリピート再生)

MD

MDのグループを選択してグループ内の曲を繰り返し聴くことができます。

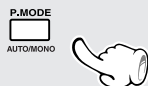
グループが登録されていない場合は、この操作はできません ("グループを登録する" - 93)。



入力切り換えを"MD"にする - 43

グループを繰り返し聴く

- 1 停止を確認する
- 2 P.MODEキーを押して"□"表示を点灯させる(グループ再生モードにする)



- 3 ▲、▼を押してリピート再生したいグループを選ぶ

前のグループに戻る



次のグループに進む

- 4 REPEATキーを押して"⌂"表示を点灯させる



- 5 MD▶/||キーを押して再生する



グループリピート再生をやめるには

REPEATキーを"⌂"表示が消えるまで繰り返し押す

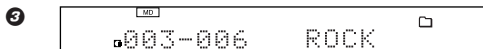
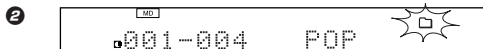
- リピートをやめても再生を続けます。

ランダムに繰り返し聴く(ランダムリピート)

リピート再生中にRANDOMキーを押して"RDM"表示を点灯させる

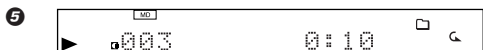
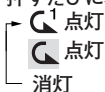
- 再生中のグループ内の全曲がランダムリピート再生されます。
- ランダムリピートをやめるときは、STOPキーを押して"RDM"表示を消灯させます。

- 1 ● 再生中のときは、STOPキーを押して停止してください。



- グループタイトルがつけられていないグループは、"GROUP.."(●は2桁の数字)と表示します。

- 4 押すたびに表示が切り換わります。

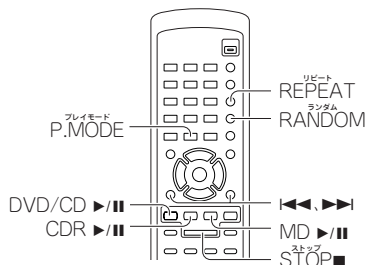


曲順を順不同に楽しむ (ランダム再生)

CD CDR MD

毎回曲がランダムに選択されるので、飽きることなく楽しめます。MP3、WMA、WAVE収録ディスクでは通常のランダム再生のほかに、選択したフォルダー内のファイルをランダムに再生することもできます。またMDでも通常のランダム再生に加えて、選択したグループ内の曲をランダムに再生することもできます。

CD-R/RWをCDプレーヤーで再生するときは、ファイナライズ(→108)する必要があります。



入力切り換えを再生に応じて"CD"、"CDR"または"MD"にする → 43

1 停止を確認する

再生中のとき

STOP ■ キーを押す



2 "FOLDER"、"□"および"PGM"表示の消灯をかめる

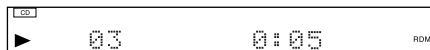
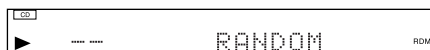
P.MODE
AUTOMONO



- "FOLDER"、"□"または"PGM"表示が点灯しているときは、P.MODEキーを繰り返し押して消灯させます。

3 ランダム再生を始める

RANDOMキーを押す



- 全曲(ファイル)の再生が1回終わると停止します。

曲の途中で別の曲を選ぶには

▶▶キーを押す



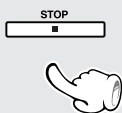
- ◀◀キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。



プログラムPGMモードでプログラムした曲(ファイル)のランダム再生はできません。

ランダム再生をやめるには

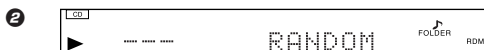
ストップ ■キーを押す



フォルダー単位でランダム再生をする (MP3、WMA、WAVE収録ディスクのとき)

① ランダム再生したいフォルダータイトルを選ぶ
フォルダー再生モードの手順①、②を行う - [51]

② ^{ランダム} RANDOMキーを押して再生する

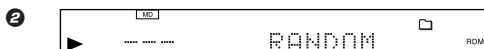


- フォルダー内の全ファイルの再生が1回終わると停止します。

グループ単位でランダム再生をする (グループ登録されたMDのとき)

① グループ再生したいグループタイトルを選ぶ
グループ再生モードの手順①、②を行う - [54]

② ^{ランダム} RANDOMキーを押して再生する



- グループ内の全曲の再生が1回終わると停止します。

ランダムに繰り返して聴く (ランダムリピート)

ランダム再生中に^{リピート} REPEATキーを押して"R"表示を点灯させる



- ランダムリピートをやめるときは、^{リピート} REPEATキーを押して"R"表示を消灯させます。元のランダム再生に戻ります。

- MP3、WMA、WAVE収録ディスクで、フォルダー単位のランダム再生をしているときは、そのフォルダー内でランダム再生が繰り返されます。
- グループ登録されたMDで、グループ単位のランダム再生をしているときは、そのグループ内でランダム再生が繰り返されます。

CDをMDに録音する(マニュアル録音)

マニュアル録音では、CDの途中の曲から録音することや曲の途中から録音することができます。CDプレーヤー、CDレコーダーどちらからでも録音できますが、CDプレーヤーを使用した場合はアナログ録音になります。

MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に(録音元にCDレコーダーを使用するときのみ)

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときは"デジタル録音、アナログ録音の切り換え"(-[70])でアナログ録音に切り換えたあと、手順④から操作を始めてください。



入力切り換えを"CDR"にして(→[43])、録音するディスクをCDレコーダーに入れると、現在設定されている状態が表示されます。

"DIGITAL"点灯 デジタル録音

"DIGITAL"消灯 アナログ録音

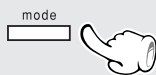
●MP3、WMA、WAVE収録ディスクからはデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

1 ディスクを入れる

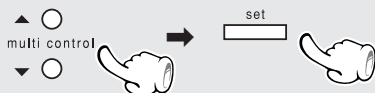
- 録音用MDをミニディスク挿入口に入れる -[65]
- CDプレーヤーまたはCDレコーダーに録音元のディスクを入れる -[45] -[47]

2 録音モードを選ぶ

- modeキーを押す



- multi controlキーで"MD REC MODE?"を選んでsetキーを押す



- multi controlキーで録音したいモードを選び、setキーを押す
"STEREO"または"MONO"を選択したときは手順②へ
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順④へ

- multi controlキーを押してMDスタンプ機能(-[69])の"ON"または"OFF"を選び、setキーを押す

3 録音する曲の準備をする

オーディオCDは、録音したい曲(トラック)のはじめで再生一時停止にする -[45] -[46]

MP3、WMA、WAVE収録ディスクは、録音したいファイルのはじめで再生一時停止にする -[47] -[48]

●録音モードを変更しないときは手順②の操作は必要ありません。手順③に進んでください。

- 押すたびに文字表示部が切り換わります。

STEREO ステレオ録音モード
LP2 ステレオ2倍長時間録音モード
LP4 ステレオ4倍長時間録音モード
MONO モノラル録音モード

●長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO"または"MONO"で録音してください。 -[69]

- 押すたびに文字表示部が切り換わります。

ON 録音した曲に"LP:"というタイトルを自動的に入力する
OFF 録音した曲に"LP:"というタイトルを入力しない

ONのとき OFF > ON OFFのとき > OFF ON

●MP3、WMA、WAVE収録ディスクは、次のいずれかの操作でフォルダーを選んでから、録音したいファイルのはじめで再生一時停止にすることもできます。

フォルダーサーチで選ぶ -[49]

フォルダーセレクトで選ぶ -[50]

4 録音を始める

① MD recキーを押す



② もう一度MD recキーを押す



③ CDを再生する



表示部にメッセージが表示され録音できないときは-

①

- MD recインジケーターが点滅し、録音が一時的停止状態になります。

②

- MD recインジケーターが点灯にかわり、録音が始まります。

③

- 録音中、録音側の時間表示に切り換えることができません。"録音側の時間表示を切り換えるには"
→ [66] ストップ
- CDの再生が終了しても、録音は停止しません。**stop** ストップ キーを押して録音を停止してください。

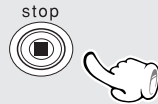
ライティング
"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

録音を一時停止する



- MD recインジケーターが点滅します。
- 録音一時停止状態からもう一度キーを押すと、その時点から録音を再開します。このときトラック番号は"1"繰り上がります。
- リモコンのMD ▶/||キーでも操作できます。

録音を停止する



- ライティング"MD WRITING"が点滅し、ミニディスクに録音情報が書き込まれます。
- ストップstop ストップ キーを押すとCDの再生も停止します。
- リモコンのSTOP ストップ キーでも操作できます。

プログラム録音(ワンタッチエディット録音)

説明文中の **CD** **CDR** **MD** は、再生または録音する機器を示しています。

CD CDプレーヤー

CDR CDレコーダー

MD MDレコーダー

(**CDR** → **MD**) は、CDレコーダーで録音元のディスクを再生し、MDレコーダーで録音することを示しています。)

CDの再生順をプログラムしてCD-R/RWに録音するとき

プログラム録音 (プログラム再生 (PGM) + O.T.E.)

CD → **CDR**

CDをプログラムした曲順でCD-R/RWに4倍速で録音できます。

- 87

- MP3、WMA、WAVE収録ディスクからは録音はできません。
- 録音元のディスクの再生時間が録音側の録音可能な残り時間を超えている場合は録音可能な時間だけ録音します。

CDの再生順をプログラムしてMDに録音するとき

プログラム録音 (プログラム再生 (PGM) + O.T.E.) (NORMAL / HIGH)

CDR → **MD**

CDをプログラムした曲順で通常速(NORMAL)または4倍速(HIGH)で録音できます。MP3、WMA、WAVE収録ディスクでは、プログラムしたフォルダーとファイル順で通常速(NORMAL)で録音できます。

- 89

- MP3、WMA、WAVE収録ディスクからは倍速録音はできません。
- 録音元のディスクの再生時間が録音側の録音可能な残り時間を超えている場合は録音可能な時間だけ録音します。

MDのワンタッチエディット録音(O.T.E.)について

MDのワンタッチエディット録音では、録音スピードや録音モードの設定をかえないで録音するときには、各録音操作において、"録音スピードを選ぶ"や"録音モードを選ぶ"操作を省略して録音操作をすることができます。各設定がどのよになっているかは以下の方法で確認することができます。

録音スピード設定の確認のしかた

"HIGH"の消灯/点灯を確認します。

"HIGH"が消灯.....通常速録音に設定

"HIGH"が点灯.....デジタル倍速録音に設定



尚、MP3、WMA、WAVE収録ディスクがCDプレーヤーに入っているときには、倍速録音に設定していても、これらのディスクからは倍速録音ができないので"HIGH"は点灯しません。

- オーディオCDを倍速録音をするときには、"HIGH"が点灯していれば"録音スピードを選ぶ"操作をする必要はありません。
- 通常速で録音するときは、"HIGH"が消灯していれば"録音スピードを選ぶ"操作をする必要はありません。
- MP3、WMA、WAVE収録ディスクを録音するときには、ディスク情報を読み取り自動的に通常速録音に切り換わるので"録音スピードを選ぶ"操作は必要ありません。

MD録音モード設定の確認のしかた

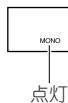
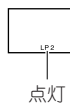
MDの停止中に録音モードの表示を確認します。

"LP(LP2、LP4)、MONO"が消灯...ステレオ録音モードに設定

"LP2"が点灯.....ステレオ2倍長時間録音モードに設定

"LP4"が点灯.....ステレオ4倍長時間録音モードに設定


"MONO"が点灯.....モノラル録音モードに設定



MDスタンプ機能のON/OFFを確認するとき、各録音操作で録音モードを選ぶ操作が必要となります。

CDの曲順を並べ替えてCD-R/RWに録音する

(プログラム再生プログラム + O.T.E.ワンタッチエディット)

CDの好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをCD-R/RWに4倍速でデジタル録音することができます。ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります("デジタル録音とSCMSについて"-)。MP3、WMA、WAVE収録ディスクからは録音はできません。

CDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

1 ディスクを入れる

① CDレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる

-  60

② CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる



-  59

2 CDの再生状態を確認する

再生中の時は停止させる



3 CDの曲順をプログラムする

入力切り換えを"CD"にし、"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順  ~  で録音する曲をプログラムする

-  74

● CD-R/RW を CD レコーダーに入れたときに "CD Rリーディング READING" がしばらく点滅表示することがあります。

● CD-TEXT ディスクなどのテキスト情報が入っているディスクを録音するときには、テキスト情報を自動的に CD-R/RW に記録することができます。コピーするときは、CD テキストコピー機能を ON にしてください。

-  63

4 録音を始める

本体で操作するとき



リモコンで操作するとき





録音する曲によっては、その曲の録音を始めてから74分以内に同じ曲の録音およびその曲を含むディスクの全曲録音ができない場合があります。このような場合、再び録音できるまでの時間が表示されます。

WAIT 74MIN.

録音を途中でやめるには


本体^{ストップ}stop■キー、またはリモコン^{ストップ}STOP■キーを押します。

(録音、再生ともに停止します。)

- 本体では次の方法でも操作することができます。
modeキーを押してからmulti controlキーで"O.T.E. MODE?"を選び、multi controlキーで"CD→CDR"を選んでsetキーを押すと録音が始まります。
- プログラムの1曲目から録音が始まり、全プログラムを録音します。
- 録音中は、CDの再生音は聴こえません。
- 再生するディスクによっては、SCMS(-)によりデジタル録音できない場合があります。 →
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

録音中には振動や衝撃を加えないください。

録音中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS(-)によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲は録音せず"SCMS"と表示し次のデジタル録音できる曲を録音します。

録音したCD-R/RWをファイナライズするには

→

CDの曲順を並べ替えてMDに録音する

(プログラム再生(PGM) + O.T.E.) (NORMAL/HIGH)

CDの好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをMDに倍速または通常速で録音することができます。MP3、WMA収録ディスクでは、フォルダーとファイルをプログラムした順で録音することができます。(通常速録音のみ) CD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります("デジタル録音とSCMSについて" - [62])。MP3、WMA、WAVE収録ディスクからは倍速録音はできません。

MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に(通常速録音のみ)

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときは"デジタル録音、アナログ録音の切り換え" - [70] でアナログ録音に切り換えたあと、手順④から操作を始めてください。また、手順②の"録音スピードを選ぶ"では"SPEED NORMAL"(通常速度で録音する)を選んでください。



入力切り換えを"CDR"にして(→[43])、録音するディスクをCDレコーダーに入れると、現在設定されている状態が表示されます。

"DIGITAL"点灯 デジタル録音

"DIGITAL"消灯 アナログ録音

● MP3、WMA、WAVE収録ディスクからはデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

1 ディスクを入れる

- 録音用MDをミニディスク挿入口に入れる - [65]
- CDレコーダーに録音元のディスクを入れる - [64]

2 録音スピードを選ぶ

- modeキーを押す
- multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んでsetキーを押す
- multi controlキーで"SPEED HIGH"または"SPEED NORMAL"を選んでsetキーを押す

3 録音モードを選ぶ

- modeキーを押す
- multi controlキーで"MD REC MODE?"を選んでsetキーを押す
- multi controlキーで録音したいモードを選び、setキーを押す
"STEREO"または"MONO"を選択したときは手順④へ
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順④へ
- multi controlキーを押してMDスタンプ機能(-[69])の"ON"または"OFF"を選び、setキーを押す

- 必要に応じて、MDグループ録音のON/OFFを切り換えます。 - [68]

● MP3、WMA、WAVE収録ディスクを録音するときは手順②の操作は必要ありません。手順③に進んでください。

- 押すたびに文字表示部が切り換わります。
 - SPEED NORMAL 通常速度で録音する
 - SPEED HIGH 倍速で録音する(デジタル録音)
- O.T.E. SPEEDの設定ができない場合は、"X"が表示されます(→[41])。この場合は手順③に進んでください。

● 録音モードを変更しないときは手順④の操作は必要ありません。手順③に進んでください。

- 押すたびに文字表示部が切り換わります。
 - STEREO ステレオ録音モード
 - LP2 ステレオ2倍長時間録音モード
 - LP4 ステレオ4倍長時間録音モード
 - MONO モノラル録音モード
- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO"または"MONO"で録音してください。 - [69]

- 押すたびに文字表示部が切り換わります。
 - ON 録音した曲に"LP:"というタイトルを自動的に入力する
 - OFF ... 録音した曲に"LP:"というタイトルを入力しない

ONのとき OFF > ON OFFのとき > OFF ON

次ページにつづく

4 CDの再生状態を確認する

再生中の時は停止させる



5 CDの曲順をプログラムする

オーディオCDのプログラム

入力切り換えを"CDR"にし、"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順①~②で録音する曲をプログラムする - [74]

6 録音を始める

本体で操作するとき



リモコンで操作するとき



設定モードで操作するとき

- ① modeキーを押す
- ② multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す
- ③ multi controlキーで"CDR→MD NORMAL"または"CDR→MD HIGH"を選んでsetキーを押すと録音が始まります

録音する曲によっては、その曲の倍速録音(HIGH)を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

WAIT 74MIN.

続けて録音したい場合は、通常速録音(NORMAL)で録音してください。

録音を途中でやめるには

本体stop■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します。

(録音、再生ともに停止します。)

- "MD WRITING" が点滅し、MDに録音情報が書き込まれます。

MP3、WMA収録ディスクのフォルダープログラム

入力切り換えを"CDR"にし、"曲順を並べ替えて聴く(MP3、WMA、WAVEプログラム再生)"の手順①~②で録音するフォルダーとファイルのプログラムをする - [76]

- プログラムの1曲目(1ファイル目)から録音が始まり、全プログラムを録音します。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- 再生するディスクによっては、SCMS(- [SCMS])によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。 - [70]
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

3

押すたびに文字表示部が切り換わります。

手順②で"SPÉÉD NORMAL"を
選んだとき、またはMP3、WMA、
HIGH"を選んだとき
WAVE収録ディスクの録音のとき

CD→CDR
CDR→MD NORMAL

CD→CDR
CDR→MD HIGH

"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をMDに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。


デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS(- [SCMS])によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"SCMS"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

編集機能のタイプを選ぶ

市販の録音用MDを使うと、録音後に各種の編集を行なうことができます。再生専用のMDは編集できません。

MDはディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。取り出し操作をしたときに、情報をディスクに書き込みます。編集後は必ずMDを取り出してください。

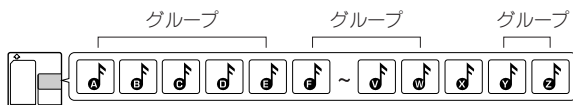
MD規格上の機能制限について

MDのいくつかの機能には、規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、「MDレコーダー部 (MD規格上の症状)」をご確認ください。 

MDの編集機能には大きく分けて、グループ編集機能および通常のトラック編集機能の2つがあります。

グループ編集機能

グループを登録する (GROUP START) → [93]



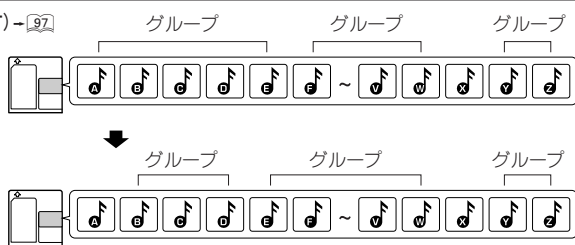
- 1曲または連続した曲番号の曲をグループとして登録することができます。(最大99グループ)

グループ登録を解除する (GROUP CANCEL) → [95]

- 登録したグループを個別にまたは一括して解除することができます。

グループエディット (GROUP EDIT) → [97]

グループエディット例

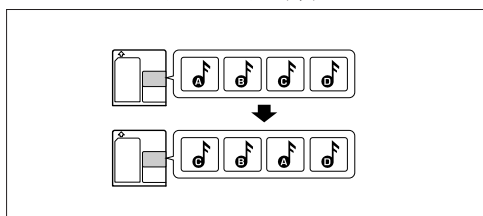


- グループ登録した曲の範囲を変更することができます。

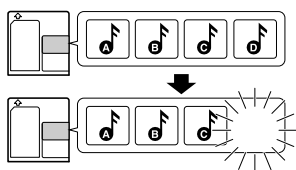


- 1つの曲を複数のグループに登録することはできません。
- グループ登録済の曲を他のグループに登録しなおすときは、次のいずれかの操作で、その曲をいったんグループ登録されていない状態に戻してください。
 グループ登録済の曲を他のグループに登録しなおすときは、次のいずれかの操作で、その曲をいったんグループ登録されていない状態に戻してください。
 GROUP CANCELでグループを解除する → [95]
 GROUP EDITでグループの範囲を変更する → [97]
- グループ登録したい曲が連続していない場合、MOVE機能で曲を移動してからグループ登録してください。
 "曲を移動する" → [99]

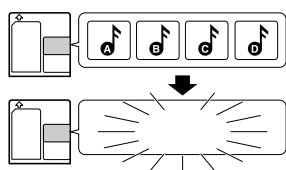
トラック編集機能

曲を移動する(MOVE) ^{ムーブ} - [99]

曲の消去

1曲ずつ消す(ERASE) ^{イレース} - [105] - [106]

曲の分割と結合

曲を分ける(DIVIDE) ^{ディバイド} - [101]曲をつなぐ(COMBINE) ^{コンバイン} - [103]MD内の曲を全て消す(ALL ERASE) ^{オール イレース} - [106]編集した内容を取り消す(CANCEL) ^{キャンセル}

- [107]

パソコンからチェックアウトした曲の編集について

Net MD機能により、音楽データをパソコンからMDに渡して(チェックアウトして)できた曲を分割(DIVIDE) ^{ディバイド}、結合(COMBINE) ^{コンバイン} や1曲消去を行うと、これらの曲は再び元のパソコンに戻す(チェックインする)ことができなくなります。本機ではこれらの編集操作を行うときに、編集実行の前に確認のために"PROTECTED OK?" ^{プロテクトド} と表示します。- [101] - [103] - [105] - [106]

パソコンからチェックアウトできる回数に制限があり、その回数を超えてチェックアウトを行うことはできません。ただし一度チェックアウトした曲を元のパソコンにチェックインすれば、そのデータのチェックアウト可能な回数は1回分戻ります。

グループを登録する (GROUP START) (リモコンのみ)

1曲または連続した曲番号の曲をグループとして登録することができます(最大99グループ)。

入力切り換えを"MD"にする。→ 43 停止中に操作してください。

1 グループ編集モードを選ぶ

① TRACK EDITキーを押す



② <<<、>>>キーを押して"GROUP?"を選ぶ。



③ SETキーを押す。



途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

①

- "PGM"または"□"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODEキーを繰り返し押しつけて消灯してください。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

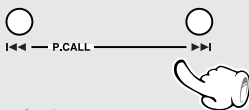
②

<<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。



2 "GROUP START"を選ぶ

① <<<、>>>キーを押して"GROUP START"を選ぶ



② SETキーを押す



①

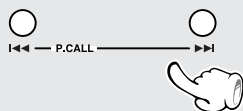
<<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。



- 全ての曲がグループ登録されているときには、"GROUP START X"と表示されます。

3 グループ登録したい曲を選ぶ

- ① ◀◀、▶▶キーでグループ登録したい最初の曲番号を選ぶ

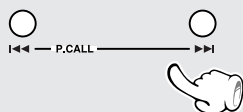


最初の曲番号の位置

- ② セット SETキーを押す



- ③ ◀◀、▶▶キーでグループ登録したい最後の曲番号を選ぶ

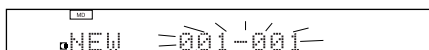


最後の曲番号 (例020)

- ④ セット SETキーを押す

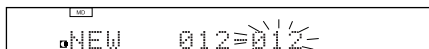


①



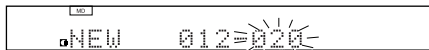
- すでにグループに登録している曲は選べません。

②



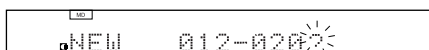
最初の曲番号 (例012)

③



- 1曲のみでグループ登録するときには、最後の曲番号を最初の曲番号と同じ番号にして手順④のSETキーを押します。

④

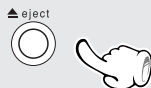


4 グループの登録を実行する



- 🎵 MDの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。 -102

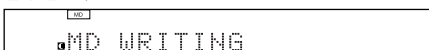
5 MDを取り出す



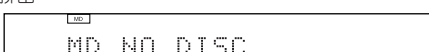
実行後の表示

エディット
EDIT NOW : 編集中
コンプリート
COMPLETE : 編集完了
キャンセル エディット
CAN'T EDIT : 編集不可能

情報を書き込み中



MDを排出



"MD WRITING"点滅表示中は、ライティング録音や編集に関する情報をMDに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

グループを解除する (GROUP CANCEL) (リモコンのみ)

登録したグループを個別にまたは一括して解除することができます。

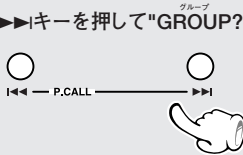
入力切り換えを"MD"にする。→43 停止中に操作してください。

1 グループ編集モードを選ぶ

① TRACK EDITキーを押す



② <|<<>>|>>>キーを押して"GROUP?"を選ぶ。



③ SETキーを押す。



2 "GROUP CANCEL"を選ぶ

① <|<<>>|>>>キーを押して"GROUP CANCEL"を選ぶ



② SETキーを押す



途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

①

- "PGM"および"□"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODEキーを繰り返し押し続けて消灯してください。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

②

<|<<>>|>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。



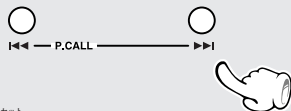
①

<|<<>>|>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。



3 解除したいグループを選ぶ

- ① ◀◀▶▶キーを押して解除したいグループを選ぶ



- ② SETキーを押す



4 グループの解除を実行する



- MDの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。 -107

5 MDを取り出す

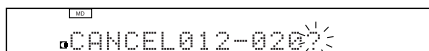


- ①

◀◀▶▶キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

CANCEL ALL 全てのグループを解除
キャンセル オール
 CANCEL 012-020 最初のグループ例
キャンセル
 CANCEL 021-058 次のグループ例
キャンセル
 ...

- ②



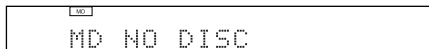
実行後の表示

EDIT NOW	:	編集中
<small>エディット ナウ</small>		
COMPLETE	:	編集完了
<small>コンプリート</small>		
CAN'T EDIT	:	編集不可能
<small>キャンシット エディット</small>		

情報を書き込み中



MDを排出



"MD WRITING"点滅表示中は、ライティング録音や編集に関する情報をMDに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

グループの範囲を変更する (GROUP EDIT) (リモコンのみ)

グループ登録した曲の範囲を変更することができます。

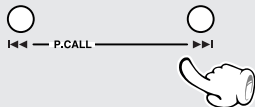
入力切り換えを"MD"にする。- 43 停止中に操作してください。

1 グループ編集モードを選ぶ

① TRACK EDITキーを押す



② <<<、>>>キーを押して"GROUP?"を選ぶ。

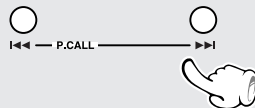


③ SETキーを押す。



2 "GROUP EDIT"を選ぶ

① <<<、>>>キーを押して"GROUP EDIT?"を選ぶ



② SETキーを押す



途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

①

- "PGM"および"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODEキーを繰り返し押し消灯してください。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

②

<<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。



①

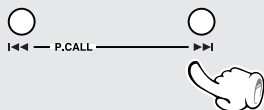
<<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。



3 曲の範囲を変更する

例：曲番号12～20に登録されているグループを曲番号3～18の登録に変更する。この変更を行うと、曲番号19と20はどのグループにも登録されていない状態になります。

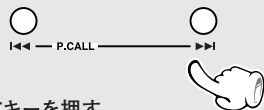
① ◀◀▶▶キーを押して変更したいグループを選ぶ



② SETキーを押す



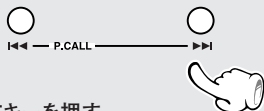
③ ◀◀▶▶キーを押してグループの最初の曲番号を変更する



④ SETキーを押す



⑤ ◀◀▶▶キーを押してグループの最後の曲番号を変更する



⑥ SETキーを押す

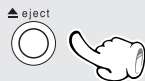


4 範囲の変更を実行する



MDの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。 -107

5 MDを取り出す



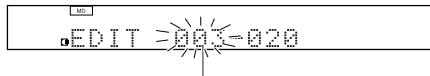
①

◀◀▶▶キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

EDIT 012-020 最初のグループ例

EDIT 021-058 次のグループ例

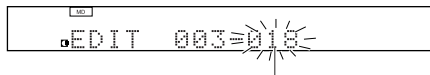
③



"012"から"003"に変更

- 最初の曲番号を変更しないときは、◀◀▶▶キー操作を行わずに手順④のSETキーを押します。
- 他のグループに登録している曲は選ばません。

⑤



"020"から"018"に変更

- 最後の曲番号を変更しないときは、◀◀▶▶キー操作を行わずに手順⑥のSETキーを押します。
- 他のグループに登録している曲は選ばません。

⑥



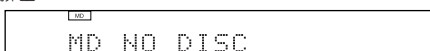
実行後の表示

EDIT NOW : 編集中
COMPLETE : 編集完了
CAN'T EDIT : 編集不可能

情報を書き込み中



MDを排出



"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をMDに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲を移動する(MOVE)

再生中の曲を、お好みの位置へ移動(挿入)することができます。移動が終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調整されます。停止中に曲を移動することもできます。-100
MOVEを繰り返し行くと、全曲をお好みの曲順に並べ替えることができます。

入力切り換えを"MD"にする。-43

1 移動したい曲を再生する

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

- "PGM"または" "表示が点灯しているときは編集できません。P.MODEキーを繰り返し押して消灯してください。

2 "MOVE"を選ぶ

1 TRACK EDITキーを押す



2 <=>キーを押して"MOVE?"を選ぶ



3 SETキーを押す



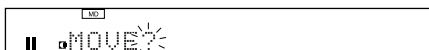
1

- 移動したい曲の再生中にTRACK EDITキーを押してください。
- 編集を始めると、一時停止になります。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

2

<=>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

DIVIDE
 COMBINE
 ERASE
 MOVE



3 移動先を選ぶ

1 曲(トラック番号)を選ぶ

トラック番号 トラック番号が戻る トラック番号が進む

I<<← P.CALL →>I

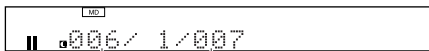


2 SETキーを押す



1

トラックNo.6とNo.7の間に移動する例



移動先のトラック番号

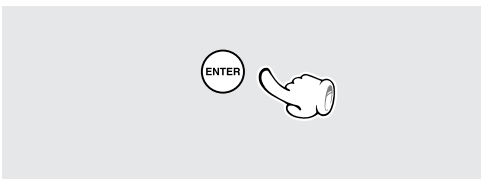
- 上図の場合、移動曲のトラック番号は次のようになります。No.1~No.5のいずれかをNo.6とNo.7の間に移動する場合は"006"にかかります。No.8以降のいずれかをNo.6とNo.7の間に移動する場合は"007"にかかります。



- 一番目の曲は"TOP"、最後の曲は"END"と表示します。一番最初に曲を移動するときは"TOP / 1/001"を、最後に曲を移動するときは、例えば"123 / 1/END"を選択します。

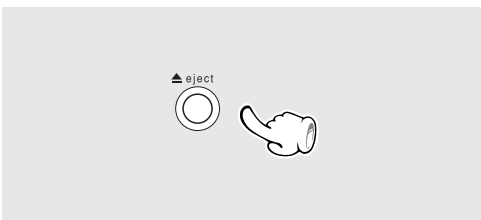
次ページにつづく

4 曲の移動をする



MDの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。 -107

5 MDを取り出す



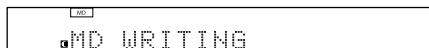
実行後の表示

EDIT NOW : 編集中
COMPLETE : 編集完了
CAN'T EDIT : 編集不可能

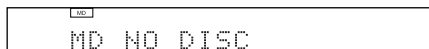
●グループについて

曲をあるグループ内の曲と曲の間に移動したときには、移動した曲はそのグループの曲となります。グループの前後に移動したときには、移動先の1つ前の曲と同じグループになります。1つ前の曲がどのグループにも登録されていないときや、最初の曲の前に移動したときは、移動した曲はどのグループにも登録されません。

情報を書き込み中

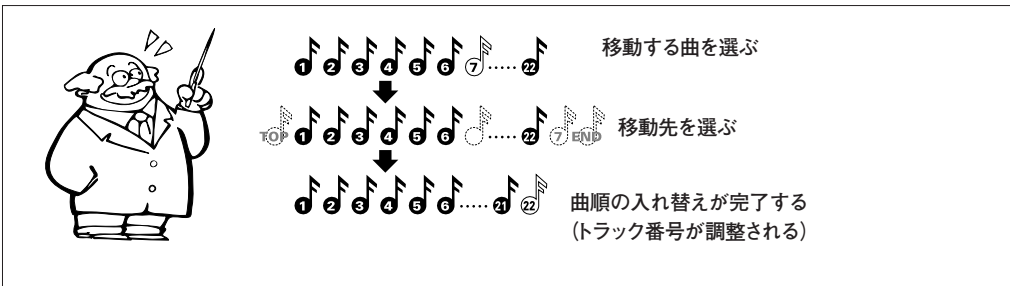


MDを排出



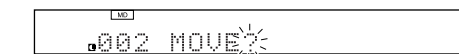
"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をMDに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲を移動するイメージ



停止中に曲を移動する

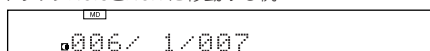
- 1 TRACK EDITキーを押す
- 2 ◀▶キーで"TRACK?"、"GROUP?"、"CANCEL?"から"TRACK?"を選ぶ
- 3 SETキーを押す
- 4 ◀▶キーで"MOVE?"、"ERASE?"から"MOVE?"を選ぶ
- 5 SETキーを押す
- 6 ◀▶キーで移動する曲を選ぶ



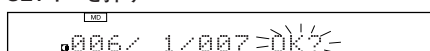
- 7 SETキーを押す

- 8 ◀▶キーで移動先を選ぶ

トラックNo.6とNo.7に移動する例



- 9 SETキーを押す



- 10 ENTERキーを押して曲の移動をする

- 11 MDを取り出す

曲を分ける (DIVIDE) ディバイド

曲の途中に曲番号(トラック番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておく、再生のとき聴きたいところにスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に調整されます。

プレビュー機能を使って、分割したいところを繰り返し聴きながら微調整ができます。

入力切り換えを"MD"にする。- 43

1 分割したい曲を再生する

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

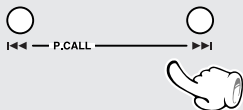
- "PGM"または" "表示が点灯しているときは編集できません。P.MODEキーを繰り返し押しして消灯してください。

2 希望の所で TRACK EDITキーを押す

① TRACK EDITキーを押す



② <<< >>>キーを押して"DIVIDE?"を選ぶ



③ SETキーを押す



①

- 分割したい曲の再生中にTRACK EDITキーを押してください。
- 曲を分割するとき、曲のはじめから約2秒以上後に分割ポイントを設定してください。約2秒より短い曲に分割できないことがあります。
- 編集を始めると、一時停止になります。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

②

<<< >>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

DIVIDE
COMBINE
ERASE
MOVE

③



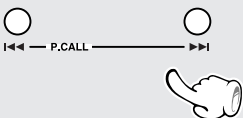
一時停止中の 分割のできる新しい
トラック番号 トラック番号

3 プレビューをするとき

① プレビューの実行



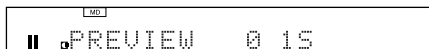
② 分割の微調整をする



③ 分割点を確定する

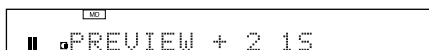


①



- 分割点から約3秒が繰り返し再生されます。

②



- 分割点の微調整は、TRACK EDITキーを押した所を0として、60ms(6/100秒)単位で-31~+31ステップ(約4秒の範囲)で可能です。

③



プログラム
"PROTECTED OK?" と表示されたら

分割を実行するときは手順②に進みます。分割を中止するときはTRACK EDITキーを押します。"パソコンからチェックアウトした曲の編集について"- 92

次ページにつづく

4 曲の分割を実行する

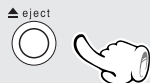


手順①～④を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。

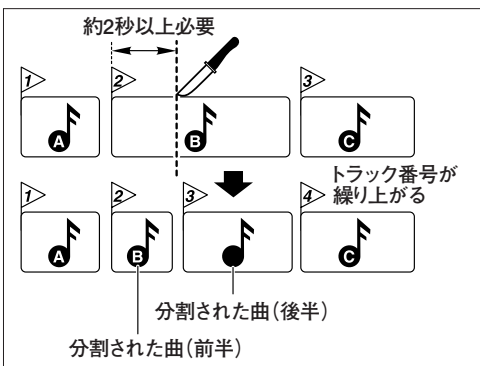
MDの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。

-107

5 MDを取り出す



曲を分割するイメージ



実行後の表示

EDIT NOW	:	編集 <small>エディット</small> 中 <small>ナウ</small>
COMPLETE	:	編集完了 <small>コンプリート</small>
CAN'T EDIT	:	編集不可能 <small>キャンント エディット</small>

- 分割してできた曲間には、無音部分がありません。
- MD規格の制限で、曲を分けられない場合があります。
- 分割して新しくできた曲のはじめで一時停止になります。
- グループについて
グループ登録している曲を分割したときには、分割してできた曲はそのグループの曲となります。グループ登録されていない曲を分割したときには、分割してできた曲はどのグループにも登録されません。

情報を書き込み中

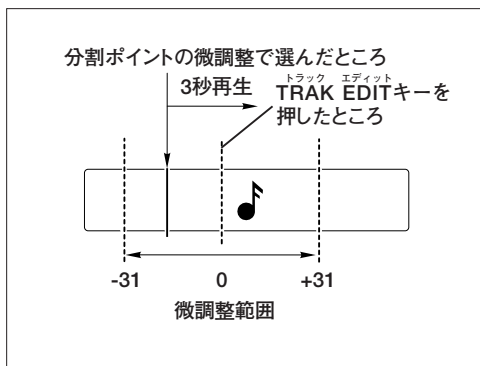
MD WRITING

MDを排出

MD NO DISC

"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をMDに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

プレビュー再生のイメージ



曲をつなぐ(COMBINE^{コンバイン})

二つの曲をつないで一つの曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。曲をつなぎ終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調整されます。

異なる録音モードの二つの曲はつなぐことができません。(例：“LP4” + “LP2” 等)

入力切り換えを“MD”にする。→ [43]

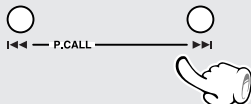
1 つなぎたい曲を再生する

2 “COMBINE”を選ぶ

① TRACK EDIT キーを押す



② ◀◀, ▶▶ キーを押して“COMBINE?”を選ぶ



③ SET キーを押す



3 つなぐ曲を選ぶ

① 曲(トラック番号)を選ぶ

トラック番号 ◯ ◯ トラック番号
が戻る ◀◀ — P.CALL — ▶▶ が進む

② SET キーを押す



“PROTECTED OK?” と表示されたら

途中でやめる場合はもう一度 ^{トラック} TRACK EDIT キーを押します。

- “PGM” または “□” 表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE キーを繰り返し押しして消灯してください。
- 例えはトラック番号2の後にトラック番号5の曲をつなぐ場合、トラック番号2の曲を再生します。

①

- つなぎたい曲の再生中に ^{トラック} TRACK EDIT キーを押してください。
- 編集を始めると、一時停止になります。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

②

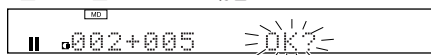
◀◀, ▶▶ キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

DIVIDE
 コンバイン
 COMBINE
 イレース
 ERASE
 ムーブ
 MOVE

③



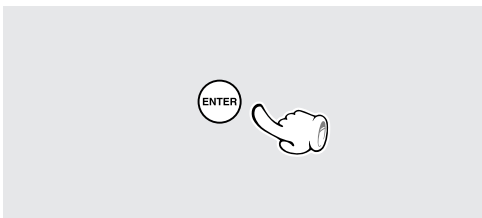
② 2曲目と5曲目をつなぐ場合




曲をつなぐときは手順②に進みます。曲のつなぎを中止するときは ^{トラック} TRACK EDIT キーを押します。“パソコンからチェックアウトした曲の編集について” → [92]

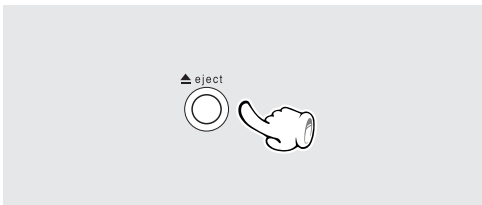
次ページにつづく

4 曲と曲の結合を実行する




 MDの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。 -107

5 MDを取り出す

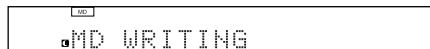


実行後の表示

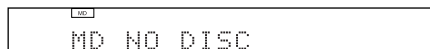
EDIT NOW : 編集中
COMPLETE : 編集完了
CAN'T EDIT : 編集不可能

- MD規格の制限で、曲をつなぐことができない場合があります。"MDレコーダー部(MD規格上の症状)"-
- 結合して新しくできた曲のはじめで一時停止になります。
- グループについて
手順⑦で再生した曲がグループ登録している曲のときは、結合してできた曲もそのグループの曲となります。手順⑦で再生した曲がグループ登録していないときには、結合してできた曲はどのグループにも登録されません。

情報を書き込み中



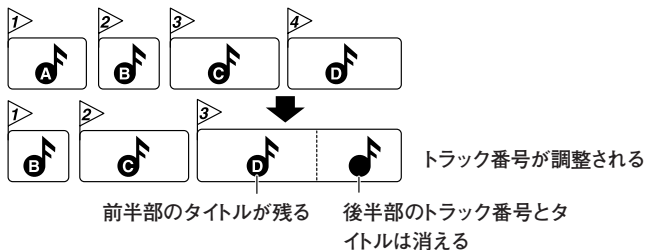
MDを排出



"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をMDに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲をつなぐイメージ

4曲目と1曲目をつなぐ場合



1曲またはディスクの全曲を消す (ERASE)

消したい曲を選び、その1曲のみを消すことやディスクの全曲を消す(-106)ことができます。

1曲を消すときは、消す曲を再生して確認して消す、または消す曲のトラック番号選んで消す(-106)、の2つの方法があります。1曲を消したときは、その曲以降のトラック番号は調整されます。

入力切り換えを"MD"にする。-43

再生して確認し1曲ずつ消す

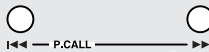
1 消したい曲を再生する

2 "ERASE"を選ぶ

① TRACK EDITキーを押す



② <<、>>キーを押して"ERASE?"を選ぶ



③ SETキーを押す



"PROTECTED OK?" と表示されたら

3 消去を実行する



MDの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。-107

4 MDディスクを取り出す



途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

- "PGM"または"□"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODEキーを繰り返し押して消灯してください。

①

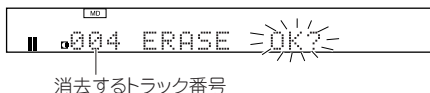
- 消したい曲の再生中にTRACK EDITキーを押してください。
- 編集を始めると、一時停止になります。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

②

◀▶キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

DIVIDE
 COMBINE
 ERASE
 MOVE

③



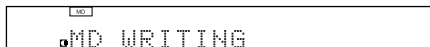
消去を実行するときは手順③に進みます。消去を中止するときにはTRACK EDITキーを押します。"パソコンからチェックアウトした曲の編集について"-92

実行後の表示

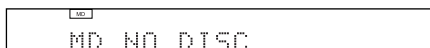
EDIT NOW : 編集中
 COMPLETE : 編集完了
 CAN'T EDIT : 編集不可能

- グループについて
消去後にグループ内に曲がなくなったときは、そのグループも消去されます。

情報を書き込み中



MDを排出



"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をMDに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

ディスクの全曲またはトラック番号を選んで1曲を消す

1 停止中を確認する

2 "ERASE"を選ぶ

① TRACK EDITキーを押す



② <<<、>>>キーを押して"TRACK?"を選び、SETキーを押す

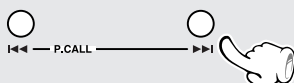


③ <<<、>>>キーを押して"ERASE?"を選び、SETキーを押す



3 消したい曲を選び消去する

① <<<、>>>キーを押して消したい曲を選ぶ



② SETキーを押す



"PROTECTED OK?" と表示されたら

4 消去を実行する



MDの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。-107

5 MDを取り出す



"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をMDに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

①

- "PGM"または"□"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODEキーを繰り返し押し続けて消灯してください。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

②

<<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

TRACK
GROUP
CANCEL

③

<<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

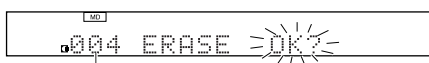
MOVE
ERASE

①

<<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

ALL ERASE ミニディスクの全曲を消去
001 ERASE 1トラック目を消去
002 ERASE 2トラック目を消去
...

②



消去するトラック番号

消去を実行するときは手順②に進みます。消去を中止するときにはTRACK EDITキーを押します。"パソコンからチェックアウトした曲の編集について"-92

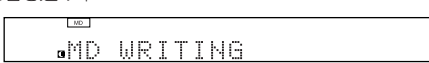
実行後の表示

EDIT NOW : 編集中
COMPLETE : 編集完了
CAN'T EDIT : 編集不可能

● グループについて

消去後にグループ内に曲がなくなったときは、そのグループも消去されます。

情報を書き込み中



MDを排出



編集した内容を取り消す(CANCEL^{キャンセル})

停止中に次の操作を行うと、ディスクを入れてから現在までに行った編集を取り消すことができます。万一、編集後にMDを取り出したり、他の録音をしたりと、取り消すことができなくなります。

入力切り換えを"MD"にする。→ 43 停止中に操作してください。

停止中に操作します。

① TRACK EDITキーを押す



② ◀◀▶▶キーを押して"CANCEL?"を選ぶ



③ SETキーを押す



④ 編集を取り消す



②

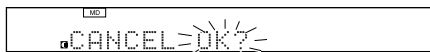
◀◀▶▶キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。



- "CANCEL X"が表示された場合は、それまで行われた編集を取り消すことができません。

"CANCEL"できない場合としては、①編集後MDを取り出した後の場合や、録音操作した場合②"UTOC ERROR" (→ 43)が表示された後に編集した場合などです。

③



④

- 取り消し実行中は"CANCEL NOW", 完了すると"COMPLETE"と表示します。

録音したCD-R/RWを本機のCDプレーヤーでも再生できるようにします。

ファイナライズ処理をすると、録音したCD-Rは他のCDプレーヤー*で、またCD-RWはCD-RW対応機器で再生できるようになります。CD-RWは一般のCDプレーヤーでは再生できません。

*.....ピックアップ等の違いにより、一部のCDプレーヤーや、DVDプレーヤーで再生できない場合があります。

ファイナライズ処理後、CD-Rは追加録音(記録)が一切できなくなりますのでご注意ください。
CD-RWも同様に追加録音(記録)ができなくなります。アンファイナライズ処理をする(→109)ことでファイナライズ処理をする前の状態に戻すことができます。

入力切り換えを"CDR"にする。→43 停止中に操作してください。

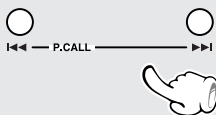
リモコンのみ

① ファイナライズ処理をするディスクをCDレコーダーにセットする →60

② TRACK EDITキーを押す



③ ◀◀、▶▶キーを押して"FINALIZE?"を選ぶ



④ SETキーを押す



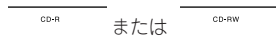
⑤ ENTERキーを押してファイナライズ処理を始める



ファイナライズ中は電源プラグを抜かないでください
ファイナライズ中に停電などで電源が切れたり、電源プラグを抜いた場合、データが破損し、再生することができなくなる可能性があります。

⑦

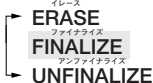
- ディスクにキズおよびほこりがないことを確認してください。
- "CD-R"または"CD-RW"表示が点灯します。



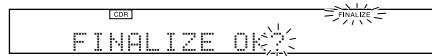
"CD"または"FINALIZED CD-RW"表示が点灯した場合は、ファイナライズ処理済みのディスクです。

③

◀◀、▶▶キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。



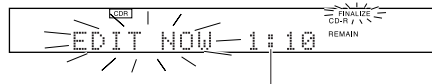
④



- 中止するときはTRACK EDITキーまたはSTOP■キーを押します。

⑤

ファイナライズ処理中は"FINALIZE"表示が点滅します



ファイナライズ完了までのおおよその残り時間

- ファイナライズ処理中は他の操作をしないでください。
- ファイナライズ処理が完了すると"COMPLETE"と表示します。

ファイナライズ処理済のCD-RWをファイナライズ処理する前に戻し、再び追加録音および書き換えができるようにします。CD-Rをアンファイナライズ処理することはできません。

他のオーディオ用CDレコーダーなどで、テキスト情報(ディスクや曲のタイトルなど)を記録したディスクを本機でアンファイナライズ処理すると、これらの情報はディスクから消去され、元に戻すことはできなくなりますのでご注意ください。

入力切り換えを"CDR"にする。- [43] 停止中に操作してください。

リモコンのみ

- ① アンファイナライズするCD-RWをCDレコーダーにセットする - [45]

- ② TRACK EDITキーを押す



- ③ <<、>>キーを押して"UNFINALIZE?"を選ぶ



- ④ SETキーを押す



- ⑤ ENTERキーを押してファイナライズを行う



アンファイナライズ中は電源プラグを抜かないください
アンファイナライズ中に停電などで電源が切れたり、電源プラグを抜いた場合、データが破損し、再生することができなくなる可能性があります。

- ①

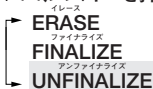
- ディスクにキズおよびほこりがないことを確認してください。
- "FINALIZED CD-RW"表示が点灯します。



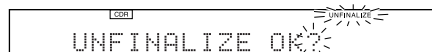
"CD-RW"表示のみが点灯した場合は、ファイナライズされていないディスクです。

- ③

<<、>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。



- ④



- 中止するときはTRACK EDITキーまたはSTOP■キーを押します。

- ⑤



アンファイナライズ完了までのおおよその残り時間

- 消去処理中は他の操作をしないでください。
- 消去処理が完了すると"COMPLETE"と表示します。

主にパソコンやDAO(ディスク・アット・ワンス)方式*に対応したレコーダーで録音されたCD-R/RWの場合は、"DAO DISC"が表示されます。この場合は、本機ではアンファイナライズ処理できません。

* ディスク・アット・ワンス方式(DAO方式) 録音(記録)方法の一種で、リードイン、データ、リードアウトの順に、一気に全ての情報の書き込みを実行します。データの追記(ディスクの未使用領域にデータを追記記録すること)はできません。

録音可能(ファイナライズ処理されていない、またはアンファイナライズ処理された)なCD-RWの録音(記録)内容を消去することができます。

消去方法には次の2つの方法があります。

- CD-RWに録音した最後の曲だけを消去する。
- CD-RWに録音した全ての曲を消去する。

入力切り換えを"CDR"にする。→ [43] 停止中に操作してください。

最後の曲を消去する

リモコンのみ

例: 15曲録音したディスクの最後の曲(15曲目)を消去する

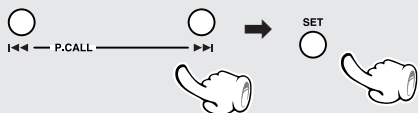
① 録音可能なCD-RWをCDレコーダーにセットする

→ [60]

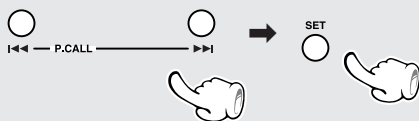
② TRACK EDITキーを押す



③ ◀▶▶▶キーを押して"ERASE?"を選び、SETキーを押す



④ ◀▶▶▶キーを押して"ERASE 15?"を選び、SETキーを押す



⑤ ENTERキーを押して消去処理を行う



一度消去した曲や情報の内容は元に戻すことはできません。

①

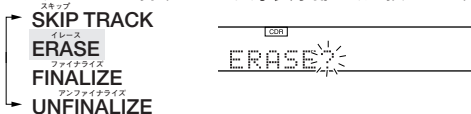
- ディスクにキズおよびほこりがないことを確認してください。
- "CD-RW"表示が点灯します。

CD-RW

"FINALIZED CD-RW"表示が点灯した場合は、ファイナライズされているディスクです。

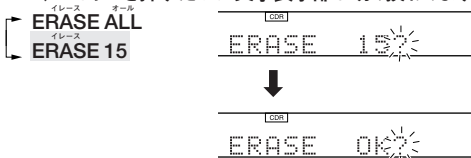
②

◀▶▶▶キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。



③

◀▶▶▶キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。



- 中止するときはTRACK EDITキーまたはSTOP■キーを押します。

④

- 消去処理中は他の操作をしないでください。
- 処理中は"EDIT NOW"表示と処理完了までのおおよその時間を表示し、消去処理が完了すると"COMPLETE"と表示します。

消去を繰り返すには

手順②～⑤を繰り返す。

- 手順④では"ERASE XX"を選びます。"XX"はそのディスクの最後の曲のトラック番号を示します。

消去処理中は電源プラグを抜かないでください

消去処理中に停電などで電源が切れたり、電源プラグを抜いた場合、データが破損し、再生することができなくなる可能性があります。

入力切り換えを"CDR"にする。→ [43] 停止中に操作してください。

すべての曲を消去する

リモコンのみ

例: 15曲録音したディスクの全ての曲を消去する

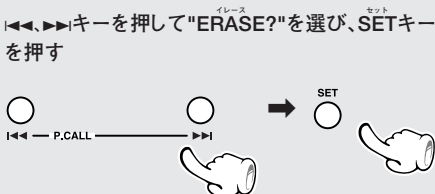
① 録音可能なCD-RWをCDレコーダーにセットする

→ [60]

② TRACK EDITキーを押す



③ <<<、>>>キーを押して"ERASE?"を選び、SETキーを押す



④ <<<、>>>キーを押して"ERASE ALL?"を選び、SETキーを押す



⑤ ENTERキーを押して消去処理を行う



①

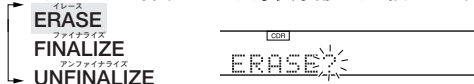
- ディスクにキズおよびほりがないことを確認してください。
- "CD-RW"表示が点灯します。

CD-RW

"FINALIZED CD-RW"表示が点灯した場合は、ファイナライズされているディスクです。

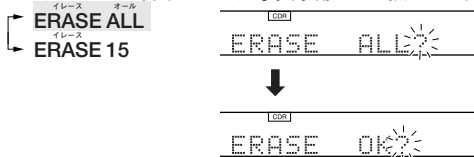
②

<<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。



③

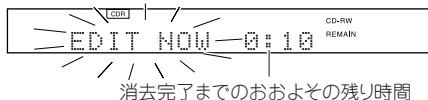
<<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。



④

- 中止するときはTRACK EDITキーまたはSTOP■キーを押します。

⑤



- 消去処理中は他の操作をしないでください。
- 消去処理が完了すると"COMPLETE"と表示します。

消去処理中は電源プラグを抜かないでください

消去処理中に停電などで電源が切れたり、電源プラグを抜いた場合、データが破損し、再生することができなくなる可能性があります。

アナログ出力を備えているカセットデッキなどを本機に接続して聴くことができます。

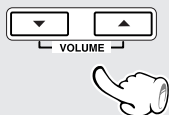
"他の機器(市販品)との接続"(-115)を参照して、あらかじめ接続を済ませてください。

① AUX/USBキーを押す



② 外部アナログ機器の演奏を始める

③ 音量を調整する



外部機器の入力レベルを調整する

外部機器の音量が、本機のCDやMDの音量の大きさと比べて異なる場合など、同じ音量で聴こえるように調整します。

① aux/usbキーを押す。



② modeキーを押す



③ multi controlキーで"AUX INPUT?"を選び、setキーを押す



④ multi controlキーを使って好みのレベルに調整する

● -9~+2の範囲で調整ができます。



⑤ setキーを押して確定する



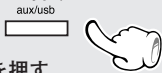
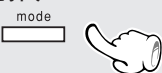

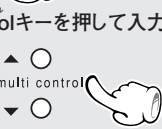

入力レベルを調整すると、AUX入力端子に接続された外部機器からの録音の入力レベルも変化します。

外部機器の入力(録音)レベルを調整する (AUX INPUT、REC GAIN)

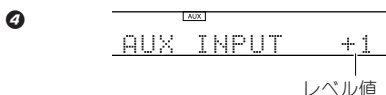
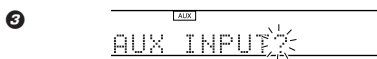
カセットデッキなどの外部機器の音声レベルが小さすぎる場合や大きすぎる場合、適正な録音レベルで録音されない場合があります。このような場合は、録音レベルの調整を行ってから録音してください。始めに次のAUX INPUTの調整を行ってください。

外部機器の入力(録音)レベルを調整する (AUX INPUT)

外部機器からの音声で、本機で再生するCD、MDなどの音声と同じレベルで聴こえるように調整します。


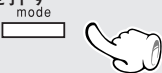



- 1 aux/usbキーを押す

- 2 modeキーを押す

- 3 multi controlキーを押して"AUX INPUT?"を選び
setキーを押す

- 4 multi controlキーを押して入力レベル(-9~+2)を調整する

- 5 setキーを押して確定する


- 1
- 入力"AUX"が表示されます。



- この調整で入力レベルを+2(最大)にしても、外部アナログ機器の音声がいちじるしく小さい場合や、調整後録音した音声がいちじるしく小さい場合には、次の録音入力レベルの調整 (REC GAIN) を行ないます。

外部機器の録音レベルを調整する (REC GAIN)

- 1 aux/usbキーを押す

- 2 modeキーを押す

- 3 multi controlキーを押して"REC GAIN?"を選び
setキーを押す

- 4 multi controlキーを押して"REC GAIN HIGH"を選ぶ

- 5 setキーを押して確定する


- 1
- 入力"AUX"が表示されます。



- この調整を"HIGH"に設定することにより、録音レベルが高くなりすぎると、音がひずむ場合があります。この場合は、上記の手順を行い"HIGH"から"NORM."に戻します。
- "REC GAIN"を調整しても、本機の再生音声レベルは変化しません。

トラック番号の設定をかえる

トラック番号(曲番号)は、再生中に曲の頭出しをするときや、プログラムするときを使用します。MDレコーダーで録音するときに自動的にトラック番号を付けるか、手動でトラック番号を付けるかを選ぶことができます(MD TRACK MARK/AUTO TRACK)。

入力ソース(音源)がCD、CDRまたはAUXからの録音ではAUTO(自動)とMANUAL(手動)を選ぶことができます。入力ソース(音源)がTUNERからの録音ではAUTO ON(自動)とAUTO OFF(手動)を選ぶことができます。初期値はAUTO(AUTO ON)に設定されています。録音操作をする前に切り換えます。

- トラック番号は自動、手動にかかわらず録音を停止または一時停止したのちに再び録音を開始すると、「1」繰り上がり録音が始まります。
- CDレコーダーで再生してMDに録音するとき、REC INPUTがデジタル録音に設定されている場合は、MANUALを選んでもTRACK EDITキーでトラックマークをつけることはできません。この場合は、AUTOを選んだときと同じように自動的にトラック番号が付きます。

入力ソース(音源)CD、CDRまたはAUXのとき

AUTO(自動):

通常の録音時はこのモードにしておきます。

入力ソース(音源)がCD、CDRからの録音の場合:

録音元の音源と同じように自動的にトラック番号が付きます。

入力ソース(音源)がAUXからの録音の場合:

信号が2秒以上一定のレベル以下になって、次にそのレベルを超える信号が入ってくるのを検知してトラック番号を自動的に「1」繰り上げて付きます。クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、2秒以上一定のレベル以下と検知してトラック番号が「1」繰り上げて付く場合があります。このような音楽の場合は、「MANUAL」で録音してください。

MANUAL(手動):

自動的にトラック番号を繰り上げない状態で録音します。録音中(リモコンのTRACK EDITキーを押す*)にトラック番号を「1」繰り上げ付けることができます。ライブ演奏や極端にレベルの低い音が続くクラシック音楽などのディスクを録音するときなどに便利です。

入力ソース(音源)TUNERのとき

AUTO ON(自動):

約10分ごとに自動的にトラック番号が付きます。

AUTO OFF(手動):

自動的にトラック番号を繰り上げない状態で録音します。録音中(リモコンのTRACK EDITキーを押す*)にトラック番号を「1」繰り上げ付けることができます。

入力ソース(音源)と設定について

MD TRACK MARKのAUTO、MANUALの設定は、CD、CDR、AUXの各入力ソースごとに設定することはできません。AUTOに設定した場合、CD、CDR、AUXのいずれの入力においてもAUTOの設定となります。設定を変えるときは入力切換えをCD、CDR、AUXのいずれかにしてからトラック番号の設定操作(→⑧⑨)を行ってください。

AUTO TRACKのON、OFFの設定を変えるときは、入力切換えをTUNERにしてから操作してください。

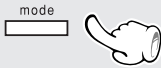
入力	CD	CDR	AUX
TRACK MARK	AUTO/MANUALの切り換え		

入力	TUNER
AUTO TRACK	ON/OFFの切り換え

トラック番号の設定を選ぶ (MD TRACK MARK/AUTO TRACK)

トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

① modeキーを押す



② multi controlキーで"MD TRACK MARK?" (入力がTUNERのときは"AUTO TRACK?")を選び、setキーを押す



③ TRACK MARKの設定のとき:

multi controlキーで"AUTO"または"MANUAL"を選びます。

AUTO TRACKの設定のとき:

multi controlキーで"ON"または"OFF"を選び選びます。

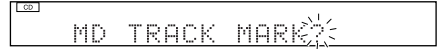


④ setキーまたはenterキーを押す



- TRACK MARKの設定は入力切換えをCD、CDR、AUXのいずれかにしてからmodeキーを押してください。
- AUTO TRACKの設定は、入力切換えをTUNERにしてからmodeキーを押してください。

②



③ 押すたびに文字表示部が切り換ります。

TRACK MARKの設定のとき:

- "AUTO" 録音時、トラック番号を自動的に付けて録音する
- "MANUAL" ... 録音時、トラック番号を手動で付けて録音する

AUTO TRACKの設定のとき:

- ON 録音時、トラック番号を自動的に付けて録音する
- OFF 録音時、トラック番号を手動で付けて録音する

ONのとき

```

  TRACK
  -----
  AUTO OFF >ON
  
```

OFFのとき

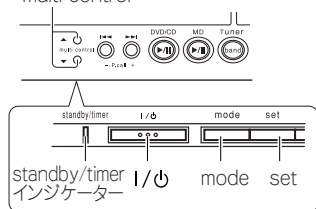
```

  TRACK
  -----
  AUTO >OFF ON
  
```

CD (CD-R/RW)、MDの再生、ラジオ放送の受信や録音を指定した時間帯に自動的に行うことができます。おやすみ前に設定すると自動的に電源がオフ(スタンバイ)になるSLEEPタイマーおよび二つのプログラムタイマーがあります。

プログラムタイマーが設定されていると、①または②が点灯します。また電源をオフ(スタンバイ)にしたときは、standby/timerインジケータがオレンジ色に点灯します。

multi control



"時刻合わせ"を済ませてから、タイマーを設定してください。→[42]

プログラムタイマー再生 (AI タイマー再生)、タイマー録音

2系統 (PROGRAM 1、PROGRAM 2) の24時間タイマーです。

PROGRAM 1、PROGRAM 2 には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて動かせるか、動かさせないかを選べます。タイマーは1回だけ動かせるか毎回動かせるかを選べます。

- タイマー予約は、PROGRAM 1とPROGRAM 2の2系統を、同時に予約できます。
- PROGRAM 1とPROGRAM 2の動作する時間は重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。
- プログラムタイマーはミュージックアプリケーションStage Masterでも設定することができます。
- PC-LINK状態ではタイマーは働きません。

1 タイマー録音をするときはあらかじめ準備しておく

録音をする

録音するMDを入れる→[65]

- タイマー録音は、ラジオ放送 (TUNER)、外部機器 (AUX) からの録音ができます。

2 聴きたい、または録音したいソースを選び、音量を設定する

CDを聴く

ディスクをセットする
(通常の再生のみ) →[45] →[47]

- CDプレーヤー部、CDレコーダー部のどちらでも再生できます。CDプレーヤー部でCD-R/RWを聴くときは、ディスクをファイナライズ処理してください。

ラジオ放送を聴く、または録音する

放送局をプリセットしておく
→[56] →[58]

MDを聴く

MDをセットする(通常の再生のみ)
→[52]


外部入力機器を再生、または録音する

AUX入力端子に接続された機器の再生、または録音の場合は"他の機器(市販品)との接続"を参照し接続を済ませおく。→[15]



- 関連システム機器を接続するとき、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。

3 タイマー予約モードにする



1 モード modeキーを押す



2 マルチ multi controlキーを押して"**TIMER SET?**"を選んで**set**キーを押す

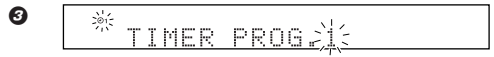
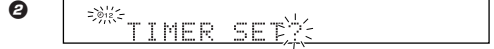
 → 

3 マルチ multi controlキーを押して、"**PROG.1**"を選んで**set**キーを押す

 → 

プログラム PROG.2に予約するときは、"**PROG.2**"を選択します。


プログラム PROG.1 で午前 10:15 から午前 11:30 までラジオ放送を受信するときの例




- 間違えたときはモードmodeキーを押して解除し、手順**3**のはじめからやり直してください。
- すでに予約されているときは、新しい設定内容にかわりません。

4 タイマーをオンに設定する

1 マルチ multi controlキーを押して"**ON**"を選ぶ



2 セット setキーを押す






- タイマーをオフに設定する場合は、"**OFF**"を選びます。




- 間違えたときはモードmodeキーを押して解除し、手順**4**のはじめからやり直してください。

5 タイマーの種類を設定する

1 マルチ multi controlキーを押してタイマーの種類を選ぶ



2 セット setキーを押す



1 押すたびに文字表示が切り換わります。

- ▶ ワン ONE TIME.... 設定後1回だけタイマーが働きます。
- ▶ エブリデー EVERYDAY... 設定に従って毎日タイマーが働きます。

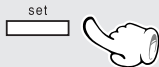
- 間違えたときはモードmodeキーを押して解除し、手順**5**のはじめからやり直してください。

6 オン時刻を設定する

1 multi controlキーを押してオン時刻を設定する

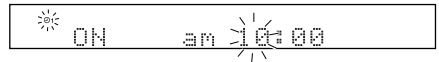


2 setキーを押す

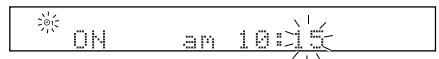


3 ①、②の手順を行ない"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力する

1 "時"を設定



2 "分"を設定



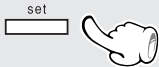
- 間違えたときはmodeキーを押して解除し、手順③のはじめからやり直してください。

7 オフ時刻を設定する

1 multi controlキーを押してオフ時刻を設定する

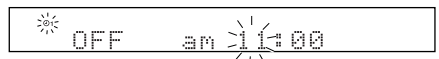


2 setキーを押す

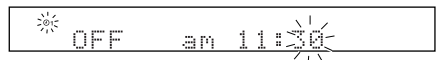


3 ①、②の手順を行ない"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力する

1 "時"を設定



2 "分"を設定

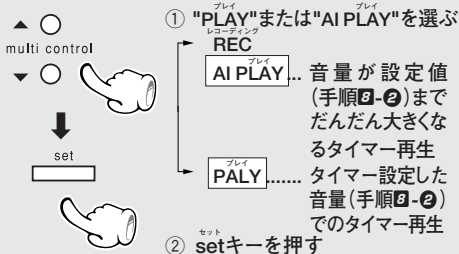


- 間違えたときはmodeキーを押して解除し、手順③のはじめからやり直してください。

8 希望の予約を設定する

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき

1 multi controlキーを押してタイマーモードを選ぶ

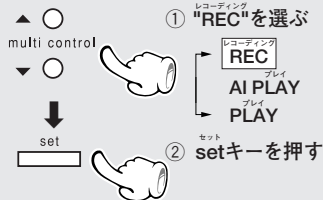


2 multi controlキーを押してタイマー再生するときの音量を調整する(現在聴いている音量はかわりません)

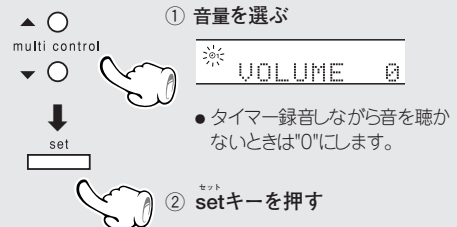


タイマー録音をするとき

1 multi controlキーを押して録音モードを選ぶ



2 multi controlキーを押して録音するときのモニター音(再生音)を調整する(現在聴いている音量はかわりません)



③ 入力ソースを選ぶ

- ▲ ○ multi control
▼ ○
- ① TUNER... ラジオ放送
 - CD CDプレーヤーで再生
 - CDR CDレコーダーで再生
 - MD MD
 - AUX (外部機器)



- ① 何を聴くか選ぶ
② setキーを押す
TUNERを選択したとき以外は、
①が点灯に変わり、通常表示に戻ります。

④ 放送局を選ぶ (TUNERを選択したときのみ)

- ▲ ○ multi control
▼ ○
- ① プリセットチャンネルを選ぶ
- 



- ② setキーを押す
①が点灯

①が点灯に変わり、通常表示に戻ります。

③ 入力ソースを選ぶ

- ▲ ○ multi control
▼ ○
- ① 何を録音するか選ぶ
 - TUNER (ラジオ放送)
 - AUX (外部機器)



- ② setキーを押す

"AUX"を選択したときは手順⑤へ

④ 放送局を選ぶ (TUNERを選択したとき)

- ▲ ○ multi control
▼ ○
- ① プリセットチャンネルを選ぶ
- 



- ② setキーを押す

⑤ 録音モードを選ぶ

- ▲ ○ multi control
▼ ○
- ① STEREO.. ステレオ録音モード
 - LP2..... ステレオ2倍長時間録音モード
 - LP4..... ステレオ4倍長時間録音モード
 - MONO... モノラル録音モード



- ② setキーを押す
①が点灯に変わり、通常表示に戻ります。

● MD録音モードで"LP2"、"LP4"を選んだときのMDスタンプ機能は、現在設定されている状態で機能します。

9 電源をオフ(スタンバイ)にする

タイマー設定が済んだら、電源をオフ(スタンバイ)にする
standby/timerインジケーターがオレンジ色に点灯し、
タイマースタンバイ状態になります。

standby/timer
□ 点灯

- タイマーオン時間になると自動的に電源がオンし、タイマー再生またはタイマー録音が始まります。
タイマーオフ時間になると自動的に電源がオフしスタンバイ状態になります。

以上でプログラムタイマー予約は終了です。PROG.2にプログラムタイマー予約をする場合も同様の手順をおこなってください。

タイマーの実行を解除するには

手順③、④を行い、タイマーをオフに設定する

⏴₁ 消灯
⏴₂ 消灯

- 予約内容は記憶しています。

- 予約内容は、削除できません。内容を変更することにより、以前の内容が消されます。
- タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、standby/timerインジケーターがオレンジ色に点滅します。この場合はもう一度時刻合わせをやり直してください。 → [42]

設定した内容のタイマーを再びセットする

手順①～④を行い、タイマーをオンに設定する

- 手順④-②ではsetキーのかわりにenterキーを押します。

⏴₁ 点灯
⏴₂ 点灯

音楽を聴きながら眠る(SLEEPタイマー)(リモコンのみ)

何分後に電源をオフ(スタンバイ)するか設定します。

CD(CD-R/RW)、MD再生中またはラジオ受信中などにSLEEPキーを押す



- SLEEPキーを1回押すと残り時間の確認ができます。
- 設定したタイマー時間が過ぎると、自動的に電源がオフ(スタンバイ)になります。

- 1回押すごとに10分ずつ増加していきます。最大約90分まで設定できます。

10 → 20 → 30 70 → 80 → 90 → OFF(解除)

SLEEP 10

解除するには

電源をオフ(スタンバイ)にするか、またはSLEEPキーを"OFF(解除)"になるまで繰り返し押す

本システムは、スリープタイマーの動作中は表示部の明るさが自動的に暗くなるように設定されています。(オートディマー機能)



メンテナンス

セットのお手入れ

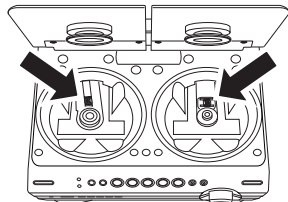
前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶぎします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

レンズのお手入れ

レンズの汚れは、再生ができなくなるなど、故障の原因となります。市販のカメラ用レンズブローなどを使って、レンズをクリーニングしてください。機器を傷めることがありますので、レンズには手を触れないでください。また、市販のレンズクリーナー、ディスククリーナーなどは使用しないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を变形させることがあります。



参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときには、下記の操作を行ってください。

1. 電源をオンにします。
2. CDプレーヤー、CDレコーダー、MDレコーダーから全てディスクを取り出します。
 - CD▶/III、CD▶/III、MD▶/IIIキーを押したとき、表示部が図の表示になったことを確かめてください。

NO DISC

3. 電源をオフにします。
 - 電源がオフ(スタンバイ)になるまでは、電源プラグはコンセントから抜かないでください。

MD-Clipデータについて

MD-Clipデータ(静止画等)を書き込んだディスクは、本機で録音・編集を行わないでください。Clipのデータ内容が失われることがあります。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容：

時計表示

- SLEEPタイマーは解除になります。

電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容：

アンブ部

電源の状態(オンまたはスタンバイ)、バランスの設定、トーンコントロール値(BASS、MID、TREBLE)、入力切り換え、AUX INPUTのレベル値、REC GAINの設定、SOUNDの設定

チューナー部

オート、マニュアル選局の設定、タイマーの設定内容

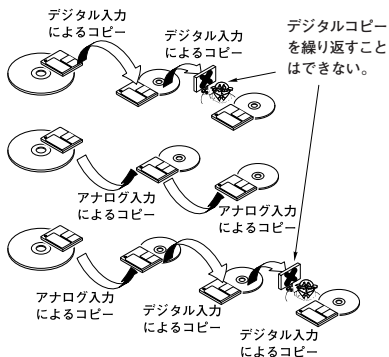
- オートパワーセーブの設定はOFFになります。

著作権について

あなたが録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

デジタル録音とSCMS (Serial Copy Management System) について

シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。



あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、右記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号

東京オペラシティタワー11F

電話 (03) 5353-0336 (代表)

FAX. (03) 5353-0337

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ドルビーラポラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品

修理のため、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口に、セットをお持ちになるときは、お買い上げのセット全部をお持ちください。(スピーカーを除きます。)

MD DATAディスクについて

本機は、MD DATAディスクのご使用はできません。

ディスクの取り扱いかた

CD、CD-R/RW、DVD-ROM、CD-ROM

ディスク取扱上のご注意



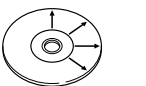
取り扱い
再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

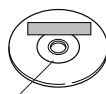
異常なディスクは使用しない

ディスクはプレーヤー内で高速回転します。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて



クランピング
エリア

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

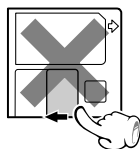
MD

MDの取り扱いかた

MDのディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。

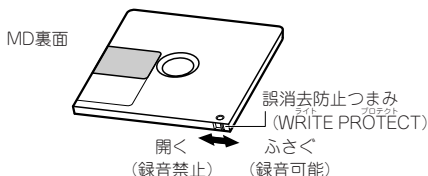


お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについてたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、MDの誤消去防止つまみ(WRITE PROTECT)を開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。



置き場所について

極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

セットの中では、MDのシャッターは常に開いています。従ってMDにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにMDをセットから取り出してください。

ディスクアクセサリーについて

レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

カートリッジラベルについて

ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。また、ラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

故障かな?と思ったら... (オーディオを単独で使用したとき)

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、ディスプレイの誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試しください。

マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源プラグをコンセントから抜き、^{マルチ} multi control (^{コントロール}▲) キーを押しながら、差し込みます。



アンプ部・スピーカー部

症 状	処 置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● "接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 → [12] - [13] - [14] - [15] ● 音量を上げる。 → [44] ● MUTEをオフ(解除)にする。 → [44] ● ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く。 → [44]
^{スタンバイ} ^{タイマー} "standby/timer"の表示が赤く点滅し、音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● スピーカーコードがショートしている。電源を切ってスピーカーコードを接続し直す。 → [13]
^{スタンバイ} ^{タイマー} "standby/timer"の表示がオレンジ色に点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 時刻合わせをやり直す。 → [42]
ヘッドホンから音がでない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 → [44]
スピーカーの片側から音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● "スピーカーの接続"をみて正しく接続し直す。 → [13] ● 左右のバランスを調整する。 → [44]
時刻表示が、ある時間で止まっている。	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在時刻をもう一度合わせる。 → [42]
タイマーが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● "時刻合わせ"をみて現在時刻を合わせる。 → [42] ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を正しく設定する。 → [118] ● プログラムタイマー (⊕₁、⊕₂) 表示を点灯させる。 → [117] - [120]



チューナー部

症 状	処 置
放送局が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナを接続する。 → [14] ● 放送バンドを合わせる。 → [55] ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。 → [55] - [58]
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。
プリセットしたあと、◀◀、▶▶キーを押しても受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 受信できる周波数の放送局をプリセットする。 → [56] - [58]









リモコン部

症 状	処 置
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい電池に入れ換える。 → [39] ● 操作範囲内で操作する。 → [39]

CDプレーヤー部

症状	処置
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●レーベル面を上にして、正しく入れる。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 -  ●"結露にご注意"を参照し、露を蒸発させる。 -  ●CD-R/RWはファイナライズ処理をする。 - 
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●DVD/CD ▶/IIキーを押す。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 - 
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 -  ●振動のない場所に設置する。
MP3、WMA、WAVE収録ディスクを入れたとき再生ができるようになるまでの時間が異常に長い	●MP3、WMA、WAVE収録ディスクは、確認のため再生できるようになるまで時間がかかります。

CDレコーダー部

症状	処置
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●レーベル面を上にして、正しく入れる。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 -  ●"結露にご注意"を参照し、露を蒸発させる。 -  ●録音済みディスクを入れる。
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●CD-R ▶/IIキーを押す。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 - 
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 -  ●振動のない場所に設置する。
録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 -  ●録音可能なディスクに入れかえる。 -  ●ディスクをアンファイナライズする。(CD-RWのみ) -  ●"SCMS"と表示されたときは、デジタル録音できません。 - 
雑音が大きいです。	●電気器具、テレビなどから離す。
まだ録音可能時間があるのに" TNO FULL "と表示される。	●100曲以上(トラック番号100以上)は録音できません。(トラック番号99未満でも録音できないことがあります。)このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、" 0:00 "になります。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がCD-R/RW全体の記録時間(74分)と一致しない。	●4秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
CD-R/RWを入れたとき再生または録音ができるようになるまでの時間が異常に長い。	●未使用のCD-R/RWや、アンファイナライズしたCD-RWを入れた場合は長くかかります。
MP3、WMA、WAVE収録ディスクを入れたとき再生ができるようになるまでの時間が異常に長い	●MP3、WMA、WAVE収録ディスクは、確認のため再生できるようになるまで時間がかかります。

CDプレーヤー、CDレコーダーの動作音について

本機のCDプレーヤー、CDレコーダーは高速動作可能なパソコン用のドライブを使用しています。その特性上、一般のオーディオ用CDプレーヤーより動作音が大きく聞こえますが故障ではありません。

MDレコーダー部 (MD規格上の症状)

症 状	原 因
まだ録音可能時間があるのに" ^{ディスク} DISC FULL"と表示される。	● 256曲以上(トラック番号256以上)は録音できません。(トラック番号256未満でも録音できないことがあります。)このとき、表示部の全体の残り時間表示は、"0:00"になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	● MD全体の残り時間が12秒*1未満の場合は、表示部の全体の残り時間表示は、"0:00"になります。消去された曲の合計時間が12秒*1を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ● 編集を繰り返したMDの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	● 編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。 ● 異なる録音モード*2の曲同士はつなげません。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間(60分、74分、80分)と一致しない。	● 2秒間*3を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	● 録音したソース(CDIほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
MDを入れたとき録音ができるようになるまでの時間が異常に長い。	● 新品の録音用MD(全く録音されていないもの)を入れた場合は、長かかります。

*1 録音モードが^{ステレオ}STEREOモードの場合(LP2/MONOモードの場合):24秒(LP) LP4モードの場合:48秒

*2 ^{ステレオ}STEREO(ステレオ録音モード)、LP2(ステレオ2倍長時間録音モード)、LP4(ステレオ4倍長時間録音モード)、^{モノラル}MONO(モノラル録音モード)




*3 録音モードが^{ステレオ}STEREOモードの場合(LP2/MONOモードの場合):4秒(LP) LP4モードの場合:8秒

MDレコーダー部 (その他の症状)

症 状	処 置
MD ▶/■キーを押しても音が出ない。	● 録音済MDまたは再生用MDを入れて、MD ▶/■キーを押す。
録音ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能なMDに取り換える。 -  ● AUX入力レベル(AUX INPUT, REC GAIN)を調整する。 -  113 ● 入力切り換えを録音したいソースにする。 -  71 ● "SCMS"と表示されたときは、デジタル録音できません。 -  102
音がひずむ。	● AUX入力レベル <small>インプット レコーディング ゲイン</small> (AUX INPUT, REC GAIN)を調整する。 -  113
雑音が大きい。	● 電気器具、テレビなどから離す。
外部アナログ機器からの録音でトラック番号が繰り上がらない、または正しく繰り上がらない。	<ul style="list-style-type: none"> ● AUX入力レベル<small>インプット レコーディング ゲイン</small>(AUX INPUT, REC GAIN)を調整する。 -  113 ● トラックマーク<small>トラック マーク マニュアル</small>(TRACK MARK)を"MANUAL"に設定する。 -  115
グループ登録ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● すでにグループ登録されている曲をグループ登録しようとした。 ● 100以上のグループを登録することはできません。

メッセージ表示の一覧

共通

ディスプレイ表示	意味	処置
SCMS	● SCMS (— )によりデジタルコピー禁止の曲を、デジタル録音しようとしている。	● アナログ録音に切りかえて録音する。 — 
<small>リーディング</small> READING	● TOC情報*やその他のディスク情報を読んでいる。	● 故障ではありません。
OK?	● "処理を実行してもよろしいですか?"という確認のメッセージ。	● <small>エンター</small> ENTERキーを押すと、処理が実行されます。
<small>プログラム</small> <small>セイン</small> <small>トラックナンバー</small> PGM SAME TNO	● 一つの曲を2回以上プログラムして4倍速、倍速録音しようとしている。	● 一つの曲を2回以上プログラムして録音することはできません。プログラムし直して録音してください。
<small>チェック</small> <small>ディスク</small> CHECK DISC	● ディスクのキズ、汚れや特性などにより再生、または録音ができない。	● ディスクを取り出して、入れなおす。 ディスクを清掃する。 ディスクを入れかえる。
<small>キャン</small> <small>チェンジ</small> CAN'T CHANGE	● モードの設定などで変更できない設定に変更しようとしている。	● 故障ではありません。
<small>ブレース</small> <small>ウェイト</small> Please wait	● 準備中です。しばらくお待ちください。	● 故障ではありません。
<small>ドライブ</small> <small>エラー</small> DRIVE ERROR	● 不具合が発生した。	● マイコンをリセットする。 — 
<small>オンリー</small> CDDA ONLY	● オーディオCD以外のディスクをCD-R/RWに録音しようとしている。	● 故障ではありません。

* TOC すべてのCD-R/RWには音声信号以外にTOC (Table of Contents) という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

CDプレーヤー関連

ディスプレイ表示	意味	処置
CD NO DISC <small>ノ ディスク</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクが入っていない、または正しく入っていない。 ● ファイナライズしていないディスクを入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● レーベル面を上にしてディスクを入れる。 ● ファイナライズしたディスクを入れる。
PROTECTED <small>プロテクト</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● 著作権が保護されたWMAファイルである。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 著作権が保護されたWMAファイルは再生できません。
CAN'T PLAY <small>キャント プレイ</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生できないファイル形式である。ファイルの拡張子が正しく付けられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障ではありません。
NO FILE <small>ノ ファイル</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● MP3、WMA、WAVE収録ディスクで、ファイルがないフォルダーを選択した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障ではありません。

CDレコーダー関連

ディスプレイ表示	意味	処置
CDR NO DISC <small>ノ ディスク</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクが入っていない、または正しく入っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● レーベル面を上にしてディスクを入れる。
PROTECTED <small>プロテクト</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● 著作権が保護されたWMAファイルである。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 著作権が保護されたWMAファイルは再生できません。
CAN'T PLAY <small>キャント プレイ</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生できないファイル形式である。ファイルの拡張子が正しく付けられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障ではありません。
NO FILE <small>ノ ファイル</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● MP3、WMA、WAVE収録ディスクで、ファイルがないフォルダーを選択した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障ではありません。
DISC FULL <small>ディスク フル</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音可能な残りエリアがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音可能なディスクに入れかえる。
PRO. DISC <small>プロ ディスク</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● 音楽用CD-R/RWではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 音楽用CD-R/RWに入れかえる。 → 30
PCA FULL <small>フル</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● OPC処理をするエリアPCA*1 がディスクに残っていないため、追加録音はできない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音可能なディスクに入れかえる。
OPC ERROR <small>エラー</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● OPC処理中に*1、不具合が発生した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクを入れ直す。 他の録音可能なディスクに入れかえる。
PMA FULL <small>フル</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● TOC情報*2を一時的にディスクに書き込むエリアPMA*3が残っていないため、追加録音はできない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音可能なディスクに入れかえる。 (CD-RWの場合は、ファイナライズとアンファイナライズを行うと、追加録音できる場合があります。)
TNO FULL <small>トラックナンバー フル</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● 100曲目を録音しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一枚のディスクには100曲以上録音できません。
BUFFER OVER <small>バッファ オーバー</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● 74分以内にCDから200曲以上を録音しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 表示されている時間が経過してから録音をはじめます。
WAIT xxMIN. <small>ウェイト ミニッツ</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● CDの録音をはじめてから、74分以内に同じ曲を録音しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 表示されている時間が経過してから録音をはじめます。

*1 OPCとPCA 本機はそのディスクに最適なレーザー照射強度と時間を計算するために試験的にディスクの特定エリアに書き込みを行います。この処理をOPC(Optimum Power Control)といい、書き込みを行うエリアをPCA(Power Calibration Area)といいます。

*2 TOC すべてのCD-R/RWには音声信号以外にTOC(Table of Contents)という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

*3 PMA 未ファイナライズのCD-R/RWはTOC情報を一時的にディスクの特定エリアに書き込みます。この書き込みを行うエリアをPMA(Program Memory Area)といいます。録音、スキップ設定を行うたびに情報を追加書き込みを行います。

CDレコーダー関連 (つづき)

ディスプレイ表示	意味	処置
ファイナライズド ディスク FINALIZED DISC	●ファイナライズされているディスクにファイナライズ、または録音しようとしている。	●ファイナライズしたCD-Rは、録音できません。CD-RWを録音するときは、アンファイナライズしてから録音する。"CD-RWのアンファイナライズ" - [109]
プレイ オンリー CDR PLAY ONLY	●再生専用のディスクである。	●録音用CD-R/RWと入れかえる。
ディスク DAO DISC	●他の機器でDAO方式*で録音したディスクをアンファイナライズ処理しようとしている。	●このディスクは本機ではアンファイナライズ処理できません。
ノー ファイル NO FILE	●データディスクなど本機では対応していないディスクを入れている。	●故障ではありません。
レコーディング エラー REC ERROR	●録音中に不具合が発生した。ディスクのキズ、汚れや特性などにより録音ができない。	●録音可能なディスクに入れかえる。ディスクを取り出して、入れなおす。ディスクを清掃する。
ブランク ディスク BLANK DISC	●何も録音されていないCD-R/RWである。	●再生するときは、録音済みのCD-R/RWに入れかえる。
レコーディング オンリー CDR REC ONLY	●CD-Rを消去しようとしている。	●CD-Rは消去操作できません。

*DAO DAO (Disc At Once)。録音(記録)方法の一種で、リードイン、データ、リードアウトの順に、一気に全ての情報の書き込みを実行します。データの追記(ディスクの未使用領域にデータを追記記録すること)はできません。

MDレコーダー関連

ディスプレイ表示	意味	処置
MD NO DISC <small>ノー ディスク</small>	● MDが入っていない。	● MDを入れる。
BLANK DISC <small>ブランク ディスク</small>	● 何も録音されていないMDである。	● 再生するときは、録音済みのMDに入れかえる。
NO TRACK <small>ノー トラック</small>	● 曲は録音されていないが、ディスクタイトルが書かれている。	● そのまま録音して問題ありません。
CAN'T EDIT <small>キャンット エディット</small>	● 長さが短すぎる曲など、制限を越えて編集しようとしている。	● 故障ではありません。
UTOC ERROR <small>ユートック エラー</small>	● UTOC*の内容が異常である。	● "ALL ERASE"を行う(→106)。それができないときはMDを入れかえる。
PROTECTED <small>プロテクトド</small>	● MDが"録音禁止"されている。	● "録音可能"にする。 - 106
PLAY DISC <small>プレイ ディスク</small>	● 再生専用のMDである。	● 録音用MDと入れかえる。
DISC FULL <small>ディスク フル</small>	● 録音可能なエリアがない。	● 録音可能なMDに入れかえる。
BUFFER OVER <small>バッファ オーバー</small>	● 74分以内にCDから200曲以上を倍速録音しようとしている。	● 表示されている時間が経過してから倍速録音をはじめるか、通常速録音で録音する。
WRITING <small>ライティング</small>	● ディスクに情報を書き込んでいる。	● 故障ではありません。
WAIT xxMIN. <small>ウェイト ミニッツ</small>	● CDの倍速録音をはじめてから、74分以内に同じ曲を倍速録音しようとしている。	● 表示されている時間が経過してから倍速録音をはじめるか、通常速録音で録音する。
NOT AUDIO <small>ノット オーディオ</small>	● 本機で対応していないオーディオ信号などが記録されているディスクを録音しようとした。	● 故障ではありません。
CAN'T REC <small>キャンット レコーディング</small>	● ディスクの不具合により録音ができない。	● "ALL ERASE"を行う(→106)。それができないときはMDを入れかえる。

*UTOC トック TOC以外に録音用MDに特有な情報をユートック UTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

保証書 (別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品の、製造打ち切り後8年保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。

付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッド神奈川中央サービスセンターにお問い合わせください。

神奈川中央サービスセンター

電話(046) 256-9681 〒228-0012 座間市広野台2-8-21
営業時間 月曜日～金曜日(土曜、日曜、祭日及び当社
休日を除く) 午前10時から午後6時まで
名称・所在地・電話番号は、変更になることがあります。

修理を依頼される時は

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または上記のケンウッド神奈川中央サービスセンターにお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンターが修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている時は

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 送料: 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

お買い上げ店名

電話 () -

本体部

[アンプ部]

実用最大出力(EIAJ規格)	20 W + 20 W (6 Ω)
入力感度/インピーダンス	
AUX	200 mV / 47 kΩ
出力レベル/インピーダンス	
AUX OUT (CD再生時)	1.2 V / 100 Ω
サブウーファーリアウト	1.6 V / 620 Ω
周波数特性	
AUX	63 Hz～45 kHz (0 dB, -3dB)

[デジタル部 (CD再生時)]

D/Aコンバーター	1 ビット
オーバーサンプリング	8 fs (352.8 kHz)
周波数特性 (EIAJ規格)	20 Hz～20,000 Hz

[CDプレーヤー部]

読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー)
ワウ・フラッター (EIAJ規格)	測定限界以下

[CDレコーダー部]

読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー)
記録方式	非接触光学式
ワウ・フラッター (EIAJ規格)	測定限界以下

[MDレコーダー部]

読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー)
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式	ATRAC、ATRAC 3
D/Aコンバーター	1 ビット
ワウ・フラッター (EIAJ規格)	測定限界以下

[チューナー部]

FMチューナー部	
受信周波数範囲	76 MHz～90 MHz
アンテナインピーダンス	75 Ω
AMチューナー部	
受信周波数範囲	531 kHz～1,629 kHz

[電源部、その他]

電源電圧・電源周波数	AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力 (電気用品安全法に基づく表示)	110 W
PC接続時*の最大消費電力	150 W

(* PC-LINK状態)

ACアウトレット

最大外形寸法

プレーヤー部	幅 332 mm
	高さ 179 mm
	奥行 285 mm

CDプレーヤー(レコーダー)カバーを開けたときの高さ:270 mm

アンプチューナー部	幅 105 mm
	高さ 270 mm
	奥行 220 mm

質量(重量)

プレーヤー部	5.1 kg (正味)
アンプチューナー部	4.5 kg (正味)

スピーカー部

エンクロージャー

スピーカー構成

ウーファー	55 × 130 mm 長円コーン型
ツイーター	19 mm ドーム型
インピーダンス	6 Ω
最大入力	30 W
最大外形寸法	幅 105 mm
	高さ 270 mm
	奥行 248 mm

質量(重量)

2.4 kg (1本)



- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い(水が凍るような)場所では、十分に性能を発揮できないことがあります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター東京 電話(03) 3477-5335 FAX(03) 3477-5334 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
カスタマーサポートセンター東京 営業時間
月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前9時から午後6時まで
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または神奈川中央サービスセンターにご相談ください。
神奈川中央サービスセンター 電話(046) 256-9681 〒228-0012 座間市広野台2-8-21
神奈川中央サービスセンター 営業時間
月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前10時から午後6時まで

サービス窓口の名称・所在地・電話番号は、変更になることがあります。